

総合研究

第 11 号

2023 年 3 月

講演録

- 2022年の日本を展望する
— 日本の国の姿は、間違いなく変わる — 福岡 政 行
- 新しい日本 新しい秋田 新しい生き方
— コロナで日本は変わった！どうする日本だ — 福岡 政 行
- 岸田政権と夏の参議院選
— 日本の三大危機 — 福岡 政 行
- 小さな神たちの祭り — 震災から12年の今
(東北放送制作テレビドラマより) 内 館 牧 子
- 参議院選後の政局・経済・外交 福岡 政 行
- どうなる岸田政権 橋 本 五 郎

研究論文

- 『鬼滅の刃』における生命観 橋 元 志 保
- じゃんけんにおける事前の宣言が
対戦相手の出し手に関する推測へ及ぼす影響 瀧 澤 純

研究ノート

- 大学生の散文理解における知識利用
— 誤信念理解検査における後知恵の効果 — 光 田 基 郎
- メッシュ別将来推計人口データを用いた
秋田県人口の空間分布に関する考察 越 智 士 郎

目 次

講演録

2022年の日本を展望する

— 日本の国の姿は、間違いなく変わる — …………… 福岡 政 行 (1)

新しい日本 新しい秋田 新しい生き方

— コロナで日本は変わった！どうする日本だ — …………… 福岡 政 行 (13)

岸田政権と夏の参議院選

— 日本の三大危機 — …………… 福岡 政 行 (23)

小さな神たちの祭り

— 震災から12年の今（東北放送制作テレビドラマより）…… 内 館 牧 子 (37)

参議院選後の政局・経済・外交 …………… 福岡 政 行 (59)

どうなる岸田政権 …………… 橋 本 五 郎 (71)

研究論文

『鬼滅の刃』における生命観…………… 橋 元 志 保 (93)

じゃんけんにおける事前の宣言が

対戦相手の出し手に関する推測へ及ぼす影響…………… 瀧 澤 純 (113)

研究ノート

大学生の散文理解における知識利用

— 誤信念理解検査における後知恵の効果 …………… 光 田 基 郎 (123)

メッシュ別将来推計人口データを用いた

秋田県人口の空間分布に関する考察 …………… 越 智 士 郎 (133)

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「2022年の日本を展望する
— 日本の国の姿は、間違いなく変わる —」

講師 白鷗大学 名誉教授
ノースアジア大学 総合研究センター客員教授 福岡 政 行

司会 ノースアジア大学 総合研究センター長
ノースアジア大学 法学部教授 道 端 忠 孝

日時 令和3年11月27日 午後1時00分～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館271教場

道 端

こんにちは。これより、ノースアジア大学総合研究センター主催の講演会を開催いたします。本日はお足元の悪い中、お越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日司会を務めます、総合研究センター長の道端と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本日は、福岡政行先生をお迎えしております。福岡先生は白鷗大学名誉教授で、本学総合研究センターの客員教授でございます。政治評論家としてご活躍されますとともに、ボランティア活動でも尽力なされております。本日の演題は「2022年の日本を展望するー日本の国の姿は、間違いなく変わるー」です。菅内閣から岸田内閣へ変わりまして、わが国がどのように変わるか、福岡政行先生からお話を賜りたいと思います。先生、どうぞよろしくお願ひいたします。

福 岡

私はヤクルトスワローズの熱狂的ファンです。石川雅規投手は、秋田商業高校出身ですよ。来年には42歳ですが、元中日の山本昌さんを目標に、50歳までやるそうです。彼の頑張りを見て、ぜひ応援したい気持ちです。日本ハムファイターズの栗山英樹元監督とは長い付き合いです。10年程前、大谷翔平選手が日本ハムに入団した時、サインボールをもらいました。私はチャリティに出品して、そのお金でボランティア活動をするんですけども、彼はそれを知ってか、チャリティオークションに出してくださいと2個送ってくれました。栗山英樹さんが言うには、大谷選手が入団する時に、既に二刀流にこだわっていた。「やらせたらおもしろいかもしれない、ぜひやってくれ」と頼んで、結果日本ハムに入団しました。どこかで既成概念、殻を破ることを人間は求められているような気がします。いつまでも同じようなことをやるよりも、商売等を含めて、何か大胆なことをすることが大事なかなと思います。

2022年の日本は、新型コロナの変異株がかなりの感染力で、アフリカを含めてエジプトまで広がっている状況です。来年がどうなるかはコロナ次第です。先日の第49回衆議院議員総選挙について触れます。岸田文雄は私の大学の後輩であり、広島県で盲導犬運動をしている時に、彼もいっしょに活動してくれました。非常に実直で、まじめな人間です。私は広島県立大学とRCC（中国放送）の仕事を2年前までしていました。「赤坂自民亭」で酔っぱらった岸田総理の写真が出ました。ちょうどその日は、広島の中豪豪雨被害で大変な日でした。私はテレビ番組に出演していて、司会者にその問題に

ついて聞かれたので、「選挙区であるふるさとが集中豪雨で大変な時に、夜であろうと東京から広島まで車なら10時間くらいかかるかもしれませんが、飛んで帰るのが政治家の最低限の責務である。政治家失格だな」とテレビで言ったら、翌月くらいに広島県立大学の学長から「先生、今年いっぱい結構です」と言われました。ただ、岸田総理が今一生懸命頑張っているのは事実です。

今回の選挙では、本当なら投票率が60%くらいまで行ってほしかったのですがあまり上がりませんでした。やはりコロナがあってなんとなく人と触れにくい状況が前提にあったのかなと思います。前回の講演会でも触れましたが、橋下徹さんは何であんなにテレビに出るんだろうと、選挙に出るからだと思ったくらいです。ところが今もテレビに出ていますよね。私の大学の同級生でもあり、テレビのコメンテーターの大谷昭宏が、「維新の会はお金がないので、彼がバックアップしている」と。橋下徹さんと吉村大阪府知事はすごい人気だそうですが、関西はスターを作り上げるのがうまいので、この二人で大阪では圧倒的な数字を獲得しました。ただ、関東はそこそこ獲りましたが弱いのです。そこで、国民民主党の玉木を使って小池都知事を誘いこみ、これでもって来年の参議院選、勝負をかけたいのが橋下維新といったところで、今後、小池百合子さんが参戦してくるかどうかです。困窮家庭で最も困っているのはひとり親家庭とシングルシルバーです。真っ先にパート・アルバイトをクビになって、お米などの配給物をNPOへもらいに来る姿を見ていると、ここまで来ているこの状況は深刻であり、そこを重点的に支援すべきというのが、私達の考え方であります。なぜ自民公明が勝ったのか、あるいは立憲民主党が駄目だったのかというのは、コロナが大きく影響したのだと思います。

続いて拉致問題について。筑紫哲也さんは私より10歳くらい年上で、小学生の時に群馬県に疎開していて、戦争のさなか食べるものがなくて、木の根っこを食べたと。なんとなく納得しましたが、栄養があるそうです。今の北朝鮮は、飢餓に見舞われ木の根っこありません。とにかく、お米が全然取れない。私は20年前の8月に行った時、その頃ならたわわに稲穂が垂れているのかと思ったら、青いものが少しついている程度、これは栄養の問題ですよ。あるいはお米の品種の問題。北海道の友人が、「緯度は同じくらいだから、北海道の何らかの品種を持って行って作ればもっと獲れるよ」と

言うので、「じゃあやろうよ」と言ったら、右翼からものすごい誹謗中傷で事務所の電話が鳴りやまない状態でした。そういうことをあまり言うべきではないですね。言いづらいますが、日本国はネット右翼がかなり活発で、岸田政権もかなりネットで批判を受けています。北朝鮮の食糧不足は、想像以上に深刻であることをお伝えいたします。

レジュメ1番目、総選挙につきましては、自公政権は強いと思いますが、岸田政権の中に公明党創価学会が嫌だというグループがいます。それだったら、維新の会と組みたいと。野党共闘の場合、立憲民主党も駄目ではありますが、共産党が駄目だということよりも、枝野のスケールの小ささが気になるし、結構自分勝手です。関心はないと思いますが、立憲民主党の代表選は、やっと4人の名前が挙げられるかなという程度です。泉健太は立命館大学、山井和則という政治家の学生秘書をしていました。山井和則は私の政経塾の秘蔵っ子で、非常に明るくて、テンポの良い子です。おそらく、国会議員票は彼が一番獲得するような気がしています。ニセコ町の元町長である逢坂誠二は、町長時代に何回か足を運び、大学にも来てくれました。非常に才能豊かな人間ですが、トップリーダーになれるかどうかはちょっと疑問です。むしろ、彼はナンバーツーで輝くタイプだと思います。小川淳也はなかなかの論客で切れ者で秀才ですが、ちょっと敵が多いので、泉健太が代表になって、小川淳也が書記などの役職でテレビに出るのが理想的だと思います。しかし小川淳也は自分が一番だと思っていますので、譲れるかどうか、良いアドバイザーがいるかどうかです。西村智奈美さんは、あまり目立つ女性ではないですが、候補者には女性も必要ということで推されたようです。結果的には、決戦投票になってその場でどう組むのか。泉健太、逢坂誠二、小川淳也あたりでしようが、どういった決断になるか、水面下での争いになると思います。

レジュメ2番目、岸田政権の今後につきましては、彼は普段から、小さなノートにメモをしています、メモ魔なんですね。広島県が選挙区ですが、一度も住んだことがありません。お父さんの関係で行ったことはありますが、故郷意識は正直なところ全くないと思います。ノートにメモをとってはいませんが、実行力がない。今回のばら撒きについて実行したことは、給料を一律3万円あげるということでした。秋田県で給料を3万円上げられる企業は、ノースアジア大学以外はないと思います。やはり全社員に一律3万円というのは、現実的にあり得ない。これはトヨタのような超優良企業ならいいです

が、トヨタの正社員45歳の場合、年収880万円くらいです。50歳を超えると、現場の作業員でも1000万円を超えますから。「新しい資本主義」という、ケインズ主義を超えるようなこの表現はいずれ壊れると思います。ですから、成長と分配の好循環と言っても、やはりそれなりの企業であって、中小企業で黒字なところは数えるくらいしかない。

今は非正規労働者、パート・アルバイト、契約社員で38%を占め、どんどん増えています。この前ある法人会で、公認会計士に依頼されて講演会に行った時に、その後5人程度で食事会がありました。その席で公認会計士の友人が、「テレワークの状況はまずいぞ。皆やはりテレワークの会社に入力や経理業務は任せてしまって、社員を削減する状況だ」と。ホテル経営をしている不動産屋の友人がいます。どんどん駅前にテレワークルームが増えていると。

それを見たシステム系企業が、外注を受けるためにどんどん業務を拡大して、システムに強い人材をたくさん集めている。これにより、おそらくリストラが進んでいくだろうし、駅前でテレワークルームを利用する、そういう会社が増えていくと思います。実際に東京首都圏や近郊のマンションがものすごく売れています。テレワークルームの利用、週末は家で過ごし、平日はホテルに泊まって仕事をするといったような、ライフスタイルがガラッと変わった印象を受けました。

岸田総理にはいいブレーンがいません。今付いているのは、おそらく総理官邸の補佐官が何人かという状態です。岸田総理は、来年夏まではおそらくばら撒きのような、民衆に受けることをやります。顔もなかなか格好いいですから、支持率もおそらく上がりますが、崩れ始めると一気に下がりそうな印象です。今までは、3A（安倍、麻生、甘利）、甘利さんは今回の落選と比例復活で大変です。安倍晋三さんも、怒って派閥を作りましたが、あまり出てきません。高市早苗が全面に出っていますが、彼女は松下政経塾の教え子です。なかなかやり手で聡明で、神戸大学卒の非常に優秀な方ですが、ちょっと出すぎるかなという印象です。どこかで足を引っ張られるし、敵が多いです。その点で言えば、茂木幹事長は東大、ハーバード卒の非常に優秀な人間です。頭の回転も速いし英語もペラペラで、野心もあります。ただ人望がない。このあたりが、高市政調会長も茂木幹事長もトップになれるかという疑問です。そうなると、岸田総理が間違えなければ長くなるが、彼を本気で支える人がいません。林芳正外務大臣が一番の懐刀ですが、外務大臣になって中国へ行き、ロシアとの話も、一つ間違えると北方領土やウクライナ、あ

るいは彼が中国に行って変な発言をすると、中国が喜んで台湾近辺の有事の問題は、北京オリンピックが終わったらどうなるかわかりません。私のように長年永田町を見てきた人間からすると、少し怖いのが、人の話を聞いて何か考えるような人間がない。困った時に、普通なら相談しますよね、そういう人間が若い連中にはいないです。そういうことをすることが格好悪いと思っているのかもしれませんが。私達なら、困った時はどんな時でも先輩に聞きますが、聞く耳がない印象です。安倍さんも甘利さんも駄目、結果的に麻生と茂木と言われていますが、茂木は竹下派を継いで茂木派を作りました。しかし彼にも腹心がいないので、その後誰がまとめられるのかを考えると、やはり駄目かなと思っています。ダークホースは、むしろ50歳前後の若手の中で面倒見の良い人間が、この1年で頭角を現してくるのではないかと思っています。

レジュメ3番目、日米関係はほぼバイデンの言いなりです。沖縄の思いやり予算も予想以上に増えています。これももう一声、アメリカもお金がないので、「沖縄の在日米軍駐留経費等、日本側にちょっとあげてくれるよう、言ってあげた方がいいよ」という経緯で出しています。ですからガソリンの問題も全てアメリカ側から言われています。安保同盟のもちろん基軸ですので、そのような方向で動いていて、外務省も基本的に安心しています。しかし何か新しいことをやりたい場合には、岸田さんではできないのかなと。それよりも、中国の問題はオリンピックにテニスの選手が出場するのかどうか。もしかすると北京オリンピックには選手団は送っても、IOCやJOC等の役員、政治関係者を行かせないというボイコットがあって、選手にとっては出たいですから、オリンピックは開催できると思います。しかし外国のリーダーで行くのは、プーチンだけの様な感じがあります。もちろん中国から支援を受けているようなアフリカの国々に行くと思いますけれども、それとコロナの問題があり、おそらく寂しい外国の来賓になるかと思っています。もちろん人はたくさんいますけれども、中国はあのテニスプレーヤーだけではなくて、ちょっと何か発言して消えた人は10数人います。

私は天安門事件の時に、TBSの報道特集で現地に行ったのですが、戦車の前に立ち上がった若者たちの姿を、その場で見ていました。私はその場に留まろうとしたけれども、周りに止められて、ホテルに連れ戻されました。やはり中国という国、香港の問題もそうですが、自由に何も言えません。私は北京大学に1ヶ月行きましたが、少しでも批判的なことを言うと、授業後

に共産党の方が来て「先生、ここの文脈が少し不自然ですよ」と言われました。なぜこういう風になったのかと言うと、恒大集団という不動産屋が潰れました。今のところ資金繰りはやっていますが、東京都港区の100棟以上ある一等地のマンションを75億円で買ってくれないかと、私の知り合いの不動産屋に相談したそうです。そのぐらい目先の資金繰りに苦しんでいて、まだまだ終わりません。それにより不満が出てきたのか、あれだけの高層マンションを作っておいて、以前は満室でしたが今では空きが出てきました。それは、貧富の差が激しすぎて、貧しい人は本当に貧しいし、国民の2、3割は共産党や軍人関係、商売をしている人、14億人の3割でも4億人いますから。だけでも依然として、極めて貧しい生活をしている人は半分近くいます。

あのテニスプレーヤーの話は、中国の人は全く知りません。このような言論統制をしていってもやはり口コミで伝わるし、スマホを持っているのは極稀です。私が平壤に入った時も、入国時に携帯電話を没収されました。だけでも2つ持っていましたから、1つは鞆に入れておいて、ホテルの部屋ではNHKの国際放送が映るから観ます。そんなことは平壤の人でも、皆知っていてやっているし、中国はもっと豊かですから、ほとんどの人がやっています。いずれこの問題は、抑えても抑えきれない14億人の民、そしてテレビで映らない情報も明らかに映るようになってきている。香港を弾圧し、台湾海峡で何らかの問題が生じたとしても、私は北京オリンピックが終わったら、国内の不安を1回で解消する方法は、戦前の日本がやった戦争ですから。外に出て戦うということを知っている中国のリーダー達は歴史で学んでいますので、台湾海峡での戦いとなったら、船だけで済むのか、ヘリコプターを出すのか、万が一戦闘機が飛んでくることはあり得るのか等、その時に日本の自衛隊や米軍と沖縄の基地を使ってどういうシミュレーションをしているのか。沖縄の新聞社にゼミ生がいますので調べると言っていますが、おそらくトップシークレットでいろいろやっているし、やっていなければ私はとんでもないことが起きてしまうと思いますので、あらゆるシミュレーションを作っておくべきだと思います。どうやってヨーロッパが介入し、国連が仲介に入るか、アメリカがどこまで行動を起こすかということは、オリンピック後に大きなことになるかもしれません。

バイデンは相当足腰が弱っている印象がありますが、やる気は満々です。女性のハリス副大統領はとてもレディで頭が聡明で、バイデン自身もやはり副大統領と大統領は違うということを十分に知っています。彼はあちこちに

行き、チャンスがあれば日本にも来たいと思っているようですが、年を取ってくると、時差が割とこたえます。バイデンも、ヨーロッパや遠方に行くと疲れが出ているのかなという印象です。

続いてレジュメ 4 番目、これからの日本経済と私達の生活です。先程触れたテレワークですが、あんなに便利なものはありません。ホームテレワークもできるが、外出したくなるのが人間の本能です。それだったら、あまり歩きたくなくて渋谷や新宿、東京周辺で大きな複式ビルの中で、そしてホテルに 3 泊 4 日くらいで泊まって、火曜から金曜仕事をするような生活は、サラリーマンで仕事できるような人は苦ではないです。夜には銀座や渋谷で遊べるし、週末は家に帰って子供と遊べるし、残った仕事はタブレットやパソコンで十分任せられます。週に 1 回、20 人程度集めて会議すれば毎日やる必要はないですよ。阿吽の呼吸があるから、テレワーク・テレストアディのみでは難しいかなとは思いますが、こんなことが平然と、都会の中で話されていて、これが今の現状です。そう考えると、パソコン 1 台での仕事と新商品の開発というのは全くの別問題です。

1 点だけ、ユニクロの柳井正が私の後輩で、ユニクロの社長室に入ったことがあります。真ん中に 20 人程度が座れる丸テーブルがあって、端にテーブルがありパソコンがのっていました。一応先輩ですから、「柳井、あれがお前の机か？」と聞くと「そうです、パソコンあればあとはここで会議ができるし、新しいヒートテックやフリース等の新商品の開発、あとはプレゼンター 3 人くらい置いて、20 人規模の会議をしています。新商品を考えなければ、企業は成り立ちませんから」と言いました。

本にも書きましたが、『人生は“出会い”』：GNO（義理・人情・恩返し）で生きてきた！』というタイトルで電子書籍で来週出版します。

柳井のところ、彼がヒートテックを作った時に、赤坂で新年会をやった時に、先輩面して「来週ゴルフあるんだけど、暖かいみたいだしヒートテックくれよ」と言うと、「先輩すみません、もう完売で在庫がないです」と。柳井はその当時、「次が勝負です」と言っていました。ユニクロは今でも次々と新商品が出ていますよね。

アイリスオーヤマの大山健太郎会長曰く、「新商品のニーズは売り場ですよ」と。アイリスオーヤマの社員が、売り場に立っているんです。お客さんが売り場で商品を見ているのを見て、「何をお探しですか？」と聞きながら、「こんなものが欲しいのよね」というやりとりをしている。そういう現場の声を

メモして、商品開発につなげ、そしてアイリス本社で新商品のプレゼンをするんです。新商品を追求し続けていくような企業が元気に伸びていくのかなと思います。

冒頭に触れたひとり親、年金収入のみのシルバーシングル世帯についてですが、どんどん物価が上がってきて、年金もわずかですが削減が始まりました。さらに医療費も上がってきています。今後さらに物価が高くなると、限られた年金収入の方は基礎年金のみなら1人7万程度、夫婦なら14万円前後となればなかなか厳しいです。最低限の収入としては、東京でも家賃を除いて10万円くらいだと思います。自治体の生活保護を担当している人は体感しているかと思いますが、今はコロナなので、相当数になっています。1週間くらい前に、子供2人が放火の犠牲で死にました。犯人はその母親のお兄さんで、生活保護を受けていたが面倒臭いし、いろいろ言われて嫌になってしまって、おそらく誰もいなくなった時に、その小学生に馬鹿にされたのかどうかはわかりませんが、それでもう1回戻ってきて、油をまいて火事にしたという状況でした。40代になっても生活保護を受けたいと言う人がいます。それをどうにかして働いて収入を得るような状態に向けていくアドバイスをする必要があります。残念ながら、自治体の生活保護担当者はいません。生活保護を受けさせるか受けさせないか、ということだけの担当者しかいない。自治体によっては「こういう技術を取得してみてもはどうですか」とアドバイスや支援をしてくれるところもあります。

生活スタイルが変わってきて、これでコロナが解禁したとしても、なんとなく外飲みのお酒気ではないです。仲間4、5人と飲むのが、最近では億劫になって月一程度で、なんとなく飲み歩きをしないし、しても2時間もかからないし、皆がのってこない。外出がおっくうになったような気がします。

レジュメの結びですが、これからは間違いなく、SDGsの問題になります。サステナブルという言葉が、世界的にごく当たり前になっています。環境活動家のグレタ・トゥーンベリをはじめとする運動は、ヨーロッパでものすごい勢いで広がっています。日本でもあと2、3年くらい、2030年を待たずしてカーボンフリーはかなり広がっていくと思います。秋田県はあまり大きな問題はないですが、風力発電はいろいろなものに変えていく必要が出てくるのかなと思っています。自然再生エネルギーで、風力火力と太陽光パネルについては、おそらくこれから新築の建物は、屋上だけではなくて、南側の

斜面にかなり薄い太陽光パネルを貼ることができます。2、3階建ての新築の家は、早ければ恐らく2、3年以内に太陽光パネルを設置しなければ建設を認めないというような事態になるかもしれません。福島県富岡町という原発に近い町ですが、ぜひ一度行ってみてください。東京ドーム何個分の太陽光パネルが南斜面に広がっています。秋田でも出始めているとは聞いていますが、これが実を言うと岩手県でも随分増えてきました。静岡県では、亀井静香先生が始めました。買取電力の金額が30数円だったのが、今では10数円にまでなりました。この金額を20円台まで戻したら、確実に太陽光パネルが普及する。これを下げさせたのは、私の知る限りでは電力会社であります。

福島第一原発の中にこれからロボットを入れてみる計画があります。そのロボットに放射能を遮るようなものを二重につけて、来年1月から第一原発に導入するようですが、取り出したものをどこに置くのでしょうか。結局、あの脇の雑草のところに置いてあります。北海道神恵内村に、フィンランドのように廃炉になったデブリを入れる実験場を作っていますが、そんなことは絶対に地元の人には許さない、だったら旭川の北側100キロは、人を住めないようにするか、でもそんなことはできない。デブリを置く場所のない島国で、置いてあるのは原発からちょっと離れたところに今でも置いてあります。取り出してきたものをどこに置くのですか、鉛の缶に入れて埋める？そんなことは国際社会が絶対に許さない。

カーボンフリー、なおかつ脱原発の問題は大きいのかな、と思います。テキサスの映像を先日ご覧になった方もいるかもしれませんが、ジェームス・ディーンの映画で、テキサスは昔は石油エネルギーが主でしたが、太陽光発電と風力発電が長い間映っていました。テキサスはすでにそういう所なんですよ。秋田も風力発電は多いと思いますが、昨日ちょうど雪が降りそうだった時に着陸したのでよく見えませんでした。できるなら、南側の斜面に太陽光パネルを設置する、でも冬はこのような天気ですからね。やはり太平洋側の地域の方が太陽光パネルは有効であると言えますね。アメリカのテキサスでももうエネルギーは石油資源ではない時代であるということです。

最後に、地震大国の日本ですが、10月7日の夜に震度5の揺れがありました。茨城県の後輩がいて、この数カ月で震度3以上の地震が7回起きているそうです。地震も頻回になってきていて、なかなか大変なことになって

いるなと思います。

質問を受けた後、時間があれば来年の参議院選について触れたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「新しい日本 新しい秋田 新しい生き方
— コロナで日本は変わった! どうする日本だ —」

講師 白鷗大学 名誉教授
ノースアジア大学 総合研究センター客員教授 福 岡 政 行

司会 ノースアジア大学 総合研究センター長
ノースアジア大学 法学部教授 道 端 忠 孝

日時 令和4年3月12日 午後1時00分～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館271教場

道 端

こんにちは。これより、ノースアジア大学総合研究センター主催の講演会を開催いたします。この講演会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日司会を務めます、総合研究センター長の道端と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症予防として、マスクを着用いたします。皆さまにおかれましても、講演会中はマスクの着用をお願い申し上げます。

今日は、福岡政行先生をお迎えしております。まずは大きな拍手をお願いいたします。福岡先生は白鷗大学名誉教授で、本学総合研究センターの客員教授でございます。政治評論家としてご活躍されますとともに、ボランティア活動にもご尽力なされております。本日の演題は「新しい日本 新しい秋田 新しい生き方ーコロナで日本は変わった！どうする日本だー」でございます。お手元のレジュメをご覧ください。ロシアのウクライナ侵攻にも触れております。本当にやりきれない思いでございますが、福岡政行先生からお話をお伺いしたいと思います。先生、どうぞよろしくお願い申し上げます。

福 岡

まず、ロシア・ウクライナについて。プーチンという人間についてですが、現在 69 歳です。ソビエト・ロシアの平均年齢は、20 年くらい前までは 50 代でした。最近健康志向が進んできました。プーチンは柔道を含めて運動をしておりますので、今のところ体調に問題はないように見えます。彼の心のトラウマ、それはベルリンの壁です。壁が崩壊する約 30 年前、彼は東ドイツの KGB（旧ソ連国家保安委員会）にいました。その時、ベルリンが崩壊していく姿を見て、彼は相当のショックを受けました。その後クレムリンに行き、エリツィンの下でペレストロイカによりソビエトが崩壊する、これは 1999 年のことです。これら 2 つの出来事が、プーチンの頭の中にありますので、簡単に引き下がりません。私は以前「プーチンに逃げ場を作ってやらないと、核戦術、おそらく小型のミサイル核をキエフに打ち込むこともあり得る」と言ったことがあります。最近生物兵器のことも言われていますが、こんなことをウクライナでやっている理由は全くありません。しかし、そう言われているのは、どこかで細菌兵器をロシア・プーチンにまいてしまう、それはどんなに恐ろしいことかということを含めて、このプーチンの頭の中には、ロシアが潰されたら大変なことになるという考えがあるから、絶対に引かない。この気持ちだけは相当強いので、テレビでいろんな専門家が「プーチンを追い込め」と言っていますが、そうではなくて「プーチンに逃げ場を作ってやるべきだ。そうやって戦争を収めない限り、彼は最後に死に

物狂いで何をしだすかわからない」と少し触れたら、賛同する人も多くいましたが、「お前、プーチンを許すのか」と、反論する人間もいます。この点はぜひご了解いただきたいと思います。

プーチンは、不信感や不安感が強い人です。ですから新聞記者や側近でも、少しでも逆らったり疑われるとすぐ干されてしまう。かなりの数の人間が辞めている、消えているという指摘があります。また、パラノイア（偏執病）、こだわりが強い人間です。大統領を20年近くやっていると、だんだんこだわりが強くなってきて、その分不安感も出てくる。一説によると、核シェルターにずっと隠れているのではないかという話があるくらいで、そう考えるとプーチンがどこかで核を使うということは避けて通れないのではないか。「それはおそらく、原発をある程度管理して、キエフやチェルノブイリなどから放射能が漏れれば人が住めなくなる。つまり、ウクライナ全体が非武装地帯になるというか人が住めなくなる。そんなことまで本気で考えている」という内容です。反発もありますが、そうかもしれない、それで今原発を抑え込んでいるというのが正解ではないか。兵隊についてはほとんどわかりませんし、原発をチェックしているのは、もちろんウクライナの原発担当者ですが、なかなか交代ができないので皆さん食事もままならない状態で働いています。ウクライナで万が一原発に何か起こった場合、ポーランドだけではなく、ヨーロッパはフランスやドイツまで被害が及ぶのではないかと考えていますので、この問題は相当深刻であります。

私がこの問題で、あえてプーチンに逃げ道を作ってほしいと言っているのは、原発だけを襲ったり、原発の研究所をいろいろやっているのは、明らかにどこかで細菌兵器、生物兵器も含めますが、それらの兵器か戦術核を爆発させて、ウクライナ自身のものなんだということで、ウクライナそのものを人が住めないようにしてしまう。だから逃げ道を作って、彼のために平和会議を開く。これはフランスのマクロンが大統領選やトルコが、一生懸命やっています。魂胆はどうであれ、マクロンがパリにバイデンとプーチンを呼んで、あるいはドイツのメルケル前首相とプーチンは仲良しなので、習近平も交え、そしたら外交の専門家が「プーチンがパリに行くわけないだろう、どうするんだ」となる。それはフィンランドや近隣の国など、ウクライナ国内ではできないから、とにかくバイデンと習近平とプーチンを呼んで、非武装・中立・ウクライナ、その代わり国連軍を10万人導入し、その内の半分は中国から、お金は国連が出し、残りはフランス・ドイツ、その代わりウクライ

ナは軍事力を持たず、非武装で中立で、NATOにも加盟しない、このような方向で、プーチンには大統領だけ辞めてもらう。亡命したければ、スイスに子どもと一緒に亡命する。そのくらいのことをやらない限り、私はこの数日間、キエフにロシア軍が入ろうとしても、戦車が並んで入って、戦車を一発で飛ばせて、持ち運びできるロケットがあるそうですが、あれだけ衛星写真で撮っていてわかっていますから、ウクライナの人々は祖国を守るために死に物狂いで戦っていますからね。これが4, 5日であまく行かなかったら、おそらく原発を破壊するようなことを含めて、キエフに戦術核を打ち込んだらこれは大変なことになる。NATO軍は、それで動けません。あれだけの核を持っている国に、NATOが動いた瞬間にプーチンは平気で核戦争を辞さない。ですからバイデンも及び腰というか、言葉だけでヨーロッパに行こうともしない。これが現在の大きな問題です。

フィンランドでもベラルーシでもいいです。会議を開いて、お互いが嫌いでも握手をして、プーチンのプライドを保たない限り、彼は誰の意見も聞かない、不信感の塊のような人間だそうです。その当時、東ドイツの人はヨーロッパの音楽を聞いていました。それを聞いて、「いいなあ、こういう自由があって」と思ったことでしょうか。もちろん、その中にはビートルズもあったかと思います。チェコスロヴァキアに“レノン・ウォール”というジョンレノンの壁があって、そこにさまざま書かれています、これは歴史の中では避けて通れないことでもありますので、この件について時間をかけてしまいました。ウクライナ問題は、これから1週間くらいが世界にとっても正念場です、我が日本の総理大臣は、国内的にはコロナの面で後手後手後手、やることなすこと遅いです。そして海外では、外交は追随外交、バイデンが言ったように、経済制裁であると。

昨日、津軽海峡をロシアの艦隊が通過しました。しかし、それをわかっていて自衛隊は何もしません。襟裳岬沖で爆弾を打ったという話もあります。これは何なのか、このようなことが平然と行われ、自衛隊は何もできないのだったら、全軍国土防衛隊、解除するくらいのことを言わないと。とにかく、我が国日本は、やることなすこと全てが難しい状態であるということです。

レジュメ1番目のウクライナ問題の補足はこれくらいにします。ただ、バイデン大統領はどうしていいかわからない。とても無力というか、アメリカ

側のスタッフを見ても、皆考え込んでいる。口先で文句を言って経済制裁をするというやり方なので、せめてパリかドイツに出向いて、NATOの幹部と協議するというような動きすらない。あるいは、日本に来るなどの行動がない。バイデン周辺や、岸田総理大臣周辺、下手に関わることはできないという雰囲気があるということです。

レジュメ 2 番目、日本経済は暗いですが、一千兆円を超える国債の残高で、日本の GDP が 500 何十兆円ですから、約 2 倍の借金で何となく動いている。それだけではわからないので、予算の収入である歳入は 106 兆円の内、約 3 分の 1 である 35 兆円を国債でまかなっています。対して歳出は 106 兆円の内、25 兆円は借金である国債の返済です。ですから、3 分の 1 借金して、4 分の 1 を自転車操業でやり過ごしています。これはいつまでも続かないけれども、ただちょっとしたきっかけでインフレになります。それから、ベネッセホールディングスの福武総一郎は、私の大学の同期です。今から 20 年以上前、白鷗大学のゼミ生が、ベネッセに入りたいと言うので、本社のある岡山まで連れていきました。当時、介護は数千人規模で始めていたので「あまりその方面で働いてくれる人間がないから、ぜひお願いしたい」となり、現在 40 代後半になりましたが、ベネッセ 1 万 5,000 人の社員の中でトップ 10 に入っています。

その後も、同じくベネッセに行きたいという子がいたので、話をし、即採用となりました。現在 4 年目の女性ですが、いろいろな資格を取っていて、「先生、ヨレヨレになったらベネッセの介護施設に入って下さいね」と言われたのを思い出します。

日本の今後は、介護と老人医療。私も後期高齢者です。平均年齢でいうと男性でも 80 歳超、女性は 90 歳近くと元気なんです。特に団塊の世代は争って生きてきているから、すごく元気で、その世代は後期高齢者です。後で秋田県についても触れますが、2020 年に生まれた赤ちゃんは 4,499 人、年々減っています。1 年間で 4,500 人、平均年齢が 80 歳だとしても、今日生まれた赤ちゃんは、80 年後の 2100 年にはほとんどいないです。秋田県は現在 90 万人台の人口が 30 万人台になると言われていて、それはかなり大変です。人口が減って豊かになった国はないと言われていますが、その状況になってきているということです。2047 年、つまり 25 年後には人口 1 億人を切るそうです。そうなると、日本も秋田もかなり厳しい状況になっていきます。こ

れからは、年間で100万人以上減っていき、赤ちゃんは84万人、亡くなる人が150～160万人程と、ますます寂しい状態になる。この状況を何とかしなければいけないと思っています。

レジュメ3番目の岸田政権については、話してもつまらないのではありません。彼は、早稲田大学法学部出身です。記者会見を見てみるとわかるように、名門校を出ていますが、中学高校野球部で、早稲田大学の後輩曰く、何かボーっとしています。岸田総理の仲間の一人が、松野官房長官です。見てわかるように、何かポワンとしています。千葉県出身だったと思いますが、官房長官として記者会見をやっても、目が泳いでいるくらいの印象です。日本の戦後最大の危機の時に、やっていけるのかどうか心配です。

それから、岩手県出身の財務大臣、鈴木俊一は鈴木善幸さんの息子さんですが、岩手県が大好きなのか、全く外に出ません。閣僚の中で、ピンとくるような人間がほとんどいない。野田聖子も、やる気満々ですが脇が甘い印象で、堀内大臣も、見ていて何か違うなという感じがします。そんなことを含めて、岸田政権は夏の参議院選までもたないかもしれない。今、あっさり辞めた菅義偉が、何かもう一回チャレンジをしたいということでいろんな方々と会っています。実を言うと、キングメーカーとして裏にまわりたいようです。岸田とは合いませんが、永田町は夜の世界が少しずつ賑やかになってきました。岸田政権の野党についてはコメントしません。泉健太は立命館大学卒だと思いますが、私の教え子の立憲民主党員の秘書をしていました。私はほとんど面識はありませんが、立命館大学のゼミ生に報道記者や番記者がいますが、彼らが言うには、元気が良くて、人前で話すのも平気だけど、今ひとつ勉強不足だと言っていました。問題は、与党でも野党でもなく、国民民主党は、労働組合連合や小池百合子と組んで、さらに、小池百合子は東京選挙区ではなくて、比例代表選で出てくるのではないか。その時に、国民民主と小池百合子が一緒になって、新しい政党を作って全国で戦っていくという考え方を持っています。

与党で言うと、橋下徹さんとは、実はある件で彼と大喧嘩をして、会うことができません。何を言ったかわかりませんが、一時期彼のTwitterでボロクソにやられて、彼は大学の後輩ですが、同じく早稲田ラグビー部の森喜朗さんに「お前ら喧嘩しないで、話をしろ」と言われたことがあります。私は、向こうが頭を下げない限り会う気もありません。橋下さんが、朝でも昼でも夜でもテレビに出ている理由は前回言ったように、コメンテーターで同級生

でもある大谷昭宏が、維新の会にはお金がないから彼が稼いでいると。維新の会は、この前の選挙でかなりの数が当選して、特に関西ではすごいです。この参議院選に出れば、関西の比例代表選で爆発的な票を取る、その時に全面に吉村大阪府知事をたてるような話が関西から漏れてきています。しかし、それではテレビを使った選挙運動をしているようなものです。ただコロナが関西で収まらないし、亡くなる人の数が東京より多いくらいです。府民の中に不満が生まれていることをぜひチェックしていただいて、玉木国民民主党と小池百合子、橋下維新、これがどういう形で7月の参議院選に出てくるのか、次回の講演会が6月くらいですから、選挙直前の時期、ある程度方向が見えているといいですが、ちょっと今年の夏は大変になるかなと思っています。ウクライナ・チェルノブイリに万が一のことがあった時、これはやはり原発の怖さを日本人が一番大事にしなければいけないということでもあります。

秋田県についてですが、レジュメ4番目に入ります。2000年の秋田の人口は119万人で、2020年の国勢調査は96万人と、20年間で23万人減りました。そして、30年後の2050年、これは人口統計研究所の数字で70万人と書いてありますが、私達の新しい計算では、60～65万人と出ており、つまり2000年の半分近い数字になる。28年後の2050年、本日50歳前後の方はまだご存命かと思いますが、70歳以上の方はほとんどいませんから、大丈夫かなと思っています。せめて1億人、秋田も80万人くらいで人口減を止められる対策を本気で考えない限り、秋田県は山形県と合併になる。青森、岩手かもわかりません。そういう危機感が秋田県民にない感じがするので、ちょっと心配だなと感じています。

大曲の花火は何回か見ましたが、見事ですね。秋田には温泉や美味しい物も沢山ある。この2、3年間でノースアジア大学で、秋田再生、新しい秋田を創る研究をやったらいいのではないかな。思い切った発想の転換が必要であると思います。そして、百人とか数百人規模の雇用ができるような何かを作り上げる。秋田県の人口減、人口の一番少ない鳥取県と一緒にやってみようでしょうか。鳥取県の米子には温泉街があって、野坂昭如さんに呼ばれて、講演会で2回程行きました。秋田県と同じく、鳥取県にも温泉は、いくつかいいところがありました。とにかく鳥取県と変わらない、このままでは人口最少県になると思います。

私がかつて、秋田県の人口100万人を切りますよ、と言いました。それ

が今はもう 90 万人を切るところまで来ていて、ずっと右肩下がりです。赤ちゃんが二人目産まれたら県から支援・助成金として、200 万円出したらどうですか？三人目産まれたら、お母さん頑張ってくださいと 300 万円。私はいろんなところでその話をしました。三人目の子供は、教育費・医療費無料にするという、スウェーデンと同様の形式にする。フランスのように、三人目が産まれたら教育費・医療費を安くするよう助成する。

秋田駅前を歩いていたら、保育園児募集の貼り紙。東京の保育士との給与の差を見て愕然としました。

日本人は新しい生き方をできるのかということですが、「ポツンと一軒家」というテレビ番組があって、地図上にある一軒家をめがけていくというのですが、二桁の 10% 超えで視聴率が高いそうです。番組を観てみると、何でこんな山の中に家があるのか、この前は大分県で、私のよく知っているところだったので観ていましたが、そこで自給自足や太陽光パネルを使って、練炭・木炭を使って 2, 3 人で暮らしていました。農耕民族の日本人は、生まれ育った家から離れられない。二反三反程の田畑をやって、全部炊く。必要なものだけ、山を下りて車でスーパーへ買いに行く。そのような暮らしは、私はどう考えてもできない。怖いし寂しいし、皆の中でガヤガヤ生きていたい。だけでもそういうことが苦にならない日本人は、農耕民族故にいます。

私はかつて、上小阿仁村の人が仲間について、どんどん人口が減っている村ですが、お医者さんが来ても年収が低く、嫌味を言われていなくなってしまうという話を聞きました。

収入の少ない町や村ほど、地方交付税が多く出るようになっていきます。地方交付税の補助金がないのは、東京都や豊田市のように、自治体で収入の多いところはもちろんありません。しかし、貧しくとも収入がなくとも、助成金である地方交付税が収入に応じて出るという、このなかなか良い制度ですが、使い方次第ではないかと思います。これにおんぶにだっこではだめです。

そこで、10 年後の秋田について。

人口は 75 万人くらい、産まれる赤ちゃんはおそらく年間 4,000 人だと予測されています。保育園児はいないし、小学校は合併、母校がなくなる人はきつといっぱいいます。ノースアジア大学は残るが、大学も厳しいと思います。大学受験の高校生は、ほぼ国公立大学を受けます。広島県立大学に行ってい

る学生ですごい優秀な子がいて、自分達で就職活動をし、早々に就職を決めています。授業料が安いこともあってか、気の利いた学生達は国公立に来て、TOEIC を 800 点、漢字検定も一級あたりを合格しています。子供の数が減っても、国公立大学の定員は増えている状況です。東京の早慶上智 MARCH、関関同立のようなところでは奨学金制度も入り、東北福祉大学の介護、秋田栄養短期大学の栄養士資格といったように、個性のない私立大学は厳しいと思います。介護士や栄養士も、今では専門学校がどんどん増えています。私は白鷗大学で、公務員講座を作りました。1 学年で 2、30 人、警察消防を除いて、自治体の一般行政公務員、栃木県庁、厚生省中級、宇都宮市庁、小山市役所を含めてやはり受験生が増えました。私は何も教えられませんが、弟子を何人かここにも呼んで、徹底的に公務員講座をやってみたいと思うんです。お母さんおじいさん達は、ノースアジア大学に行ったら、秋田市役所に行ける、由利本荘市役所に行ける、体力と志がある人間は秋田県警に入れる。さらに運動能力の優れた人間は、消防士になればもっと良い。私の教え子で消防士になった子がいて、鬼怒川が氾濫した時に、「ヘリコプターに乗って救助していたのが僕ですからね」とわざわざメールが来ました。それは心配が半分で、すぐに返信しました。

さらに問題は、シングルシルバー、ひとり親で、これが今一番頭の中にあります。たとえコロナ禍であっても、人は人とのふれあいが必要です。

今、日本中でパート・アルバイトの人が真っ先に解雇されています。雇用の促進を政治家に訴えても、システムが確率していないと。そんなの、持続化給付金だけではなくて、生活支援金として 3 万円でも 5 万円でも出してあげれば良いと思います。政治家には、そういう瞬時の判断をできるようにしてもらいたい。困窮家庭という言葉、今まではなかったですね。

私もコロナ禍で仕事のキャンセルが続き、週 4 日、公園を歩いています。散歩はいいです。皆さん何も言ってくれませんが、体重は 8 kg 減って、72kg になりました。新しい本も書き始めました。

BS 放送で“吉永小百合と歌をうたおう”という企画。そんな夢のような企画を考えたりしています。

以上です。長時間のご清聴どうもありがとうございました。

道 端 ありがとうございました。この後はゼミナールを開催しますので、ご質問

のある方はそちらでお願いいたします。申し訳ありませんが、質問は以上で終わらせていただきたいと思います。福岡政行先生、どうもありがとうございました。皆様、福岡先生に大きな拍手をお願いいたします。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「岸田政権と夏の参議院選 — 日本の三大危機 —」

講師 白鷗大学 名誉教授
ノースアジア大学 総合研究センター客員教授 福岡 政 行

司会 ノースアジア大学総合研究センター長
本学法学部教授 道 端 忠 孝

日時 令和4年6月4日 午後1時00分～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館271教場

道 端

これより、ノースアジア大学総合研究センター主催の講演会を開催いたします。この講演会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日司会を務めます、総合研究センター長の道端と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、福岡政行先生をお迎えしております。福岡政行先生は、白鷗大学名誉教授で、総合研究センターの客員教授でございまして、政治評論家としてご活躍なされているとともに、ボランティア活動にもご尽力なされております。本日の演題は「岸田政権と夏の参議院選」でお話を賜りますけれども、本県からは5名の出馬が予定されております。この夏の参議院選がどのようになるのか、今日は福岡政行先生からお話を賜りたいと思います。福岡政行先生、どうぞよろしくお願い申し上げます。

福 岡

こんにちは。私自身、約2ヵ月ぶりの講演となります。さまざまな用件がコロナ禍で中止になっている中で、今月はあと3つくらい仕事が入ってきましたので、世の中が少しずつ変わるのかなという印象です。レジュメは、手書きの方から始めます。講演の1週間前にレジュメを作成しましたが、世の中の動きが非常に激しいので、昨晚ホテルに着いてから書いたものを、今朝職員の方にお渡ししました。レジュメの右側、〈どうしようもない、そしてやるせない事件〉について始めてまいります。

まず、納税者として頭にくるのは、国税庁の職員が、コロナの給付金詐欺に関わっていた件です。スナックをやっている人と話していて、お店を休業すると休業給付金がもらえます。店を閉めていたほうが、売り上げよりもいいと言っていました。経産省や中小企業のやることも、とんまな印象なので、この問題は大変おろかな制度であると冒頭で触れておきます。

レジュメ2番目、埼玉県本庄市で、ある子供が児童相談所から担ぎ込まれて、死ぬ事件がありました。その子供に対する本庄市長のコメントがとても許せない、職員も含めてですが、3年前の話です。選挙も終えたばかりなので、次の本庄市長選に後輩の教授をたてようと思っています。子供の命や、子供への思いのない人間が知事や市長など、首長をやっていることが非常に許せない。私は77歳になりますが、最後の戦いだと思って、3年後、本庄市に転居してでも戦ってみようかなと、思ってしまいました。3歳の子供が母親に両足を折られて、その母親には交際相手がいって、子供を1ヵ月以上ほったらかしで、衰弱死してしまった。このような事件はなんとも許せない気持ち

です。以前にも話したことがあったかと思いますが、イギリスでは親子の虐待があった場合は、まず引き離します。ちょっとした傷であっても、児童相談所や保健所が児童を確保して、別々に生活させます。ところが日本は、親権が強いので、そんなことをしたら裁判沙汰になると、児童相談所や保健所は何も対応しない。それよりも、私は子どもの命が一番大事であると思っています。

レジュメ3番目、異常気象についてです。昨日、羽田空港に向かう時に、雷がすごく、霰（あられ）も降っていました。飛行機は1時間くらい遅れましたが、到着の遅れは30分程度で済みました。大阪女学院の中高一貫校で体育祭をやって、約30人の女子中高生が熱中症になり、その内1人が重症だったというニュースが出ました。朝礼は座ってやっているそうです。この数日は異常気象そのものでした。

レジュメ4番目、ウクライナの問題だけで1時間かかってしまうくらいですが、ウクライナに対して、元々ロシアとは兄弟国で仲良くやってきました。オリンピックの選手でも、元々ウクライナでロシアの代表だった人間がいるくらいです。ウクライナ出身の女性が仙台にいて、ウクライナがチェルノブイリの件がどんなに大変だったか、気の利いた方々は小さな子供をロシアに送った、そして自分はウクライナ経由で日本に来たという話だそうです。それほど、仲が良かった国なのにこのような状況になっているのは、バイデンの弱腰と、ワシントンにいる後輩記者曰く、バイデンも失言も多いようです。今回、台湾についてはかなり踏み込んだ発言をしましたが、バイデンの頭の中はウクライナについては関わらない、NATOに任せたい、今は武器を援助する形となりましたが、基本的には台湾有事、中国の習近平がどの段階で台湾に入ってくるのか、香港はご案内の通り、ほとんどもう自由がなくなりました。結果的には、中国にしてやられている状況です。このことをバイデンは強く思っていて、ウクライナ・ヨーロッパには入らないが、もし中国、習近平が台湾に、南沙諸島に入ってくる時は、かなりはっきりと軍事的に戦う、それは、日本の日米同盟が関わってきます。まだ大きなニュースにはなっていませんが、軍事的な関心がある方やアメリカサイドからは“台湾有事”の漢字四文字がどこかのタイミングで出てきます。習近平が踏み込むかどうか、しかし踏み込まないといけない状況になってきました。

そして問題はプーチンですが、彼は癌だと言われていますが、小康状態と

どうか、今は落ち着いているのだと思います。あの肌のつやといい、がたいも良さそうに見えています。メンタルは相当良くないかもしれませんが、プーチンの狂気、クレイジーの部分は、彼が40代の時にベルリンの壁の崩壊を、東ドイツ側で見ていたと言います。そのことが彼にとっては大変なトラウマになって、「ああこうやって共産主義、東ドイツが変わってくると、世の中は360度まるっと変わってしまうんだ」と感じたようです。そのことが実を言うと、プーチンという人間の意志決定、狂気の部分を決めていると言われていています。ここに来て、クレムリンを含めたロシア内部でクーデターがあるのではないかと。これはなかなか難しい問題ではありますが、推奨することは大学の講義ではできませんが、とにかくプーチンが変われば、ロシアが変わると思っている人は、支持者の中にも相当いると思います。プーチンのためには死にたくない、一説にはそんな若者が7万人程死んでいると言われていています。やはりNATOの兵器と、アメリカの80km先から打つ兵器が見事に戦車に当たるそうですが、彼らはスマートフォン等でニュースは見ているので、クーデター説があるとのことで、内部ではこの1、2週間大混乱で、慌てて外務大臣がトルコに行くとか、プーチン自身が行きたがっているというのが、バイデンがあえてプーチン自体に問題はない、彼の命の保障をするというのはそういうことなのかなと思います。その背景に、戦術核を使うという話が1カ月程前から出てきていますが、使うことを本気でプーチンは話し出している。でもチェルノブイリでいうと、30年経った今でも動かないままです。半径50km以内では影響が出てきます。例えば、福島は範囲で50kmとなると、仙台や山形は範囲内で、秋田は離れていますが、茨城県はかかり、東京の近くまで迫ってきます。このウクライナ問題は、戦術核の問題と、東部にある原子力発電所の問題、これらが無事におさまることを各国の専門家達が密に連絡を取り合っているのが事実であります。それにより、プーチンに核を使わせない、だから彼の命を保障するような話をすれば袋叩きになりますが、しかしそれが本音であろうと思っています。台湾有事の問題とプーチンの核の問題、この2点がこれから2、3週間の中で劇的に変わるのではないかと考えております。

知床遊覧船事故についてですが、あの社長は儲け主義で、財務内容はこの3年くらいは赤字です。それで焦ったのか、去年5月に事故を起こして1年ぶりにKAZU Iが出航しました。人の命を軽く見ているのかと考えてしまいます。船底や船体脇等の穴の状態を、海上保安庁がチェックしています。

海上保安庁にも問題がありますけれども、危険性を顧みるよりも、儲けの方が大事だという風潮が我が日本国の中にある。今はどこの企業も行き詰まっています。営業成績も下がっている。内部留保がたくさんあるような企業は良いですが、大手である JTB でさえ、たくさんの店舗を閉めました。儲け優先で、コロナ禍でこの後、物価がどんどん上がりますし、すぐには終わりません。さらに上がっていった時に、収入が減っていく中小零細企業、後で触れますが、テレワークで完結できる仕事については、これから優良企業は全部下請け、委託に出します。私の後輩が、テレワーク対応のパソコンの会社をやっていますが、人数が足りません。とにかく 20 代でスキルのある人間はどんどん採用しますが、正社員ではありません。テレワークで、パソコンがあれば業務ができます。

アメリカの有名な自動車会社の社長が、「やはり人が集まって、皆で議論しないと、良い新商品が出てこない。」と言いましたが、そちらの方が正解なのかもしれません。「週 40 時間、出勤しない者はクビにする。」と、テスラの社長が発言しましたが、私は週休 3、4 日なら良いと思います。でも、例えば週 3 日出勤の内、3 時間程度で 2 回会議で集まるとした場合、これをどうやって日本の中でやっていくのか。大学にもよりますが、早稲田大学で言えば、今でもパソコンでのオンライン授業が多いようです。案の定生徒達もボーっとしている印象です。私が大学にいた時は、レジュメの出来が悪いと、レジュメをぶん投げる先輩がいました。「何だ、このレジュメ、読めないぞ」と言うんです。そのレジュメを書いた人間は、修士課程を経て朝日新聞に入社し、重役にもなりましたがけれども、「当時の厳しさがあったから、俺はあそこまでできたんだよな」と言っていました。それが今ではまったくゆるい、これはいろんな意味で、日本の明日は厳しいのかなと思ってしまいます。

33 年前、天安門事件の時、終わって 2 週間程経った 6 月末、私は「報道特集」という TBS の番組の関係で天安門に入りました。天安門広場を 15 分程歩きました。途中で、現地北京の記者が、「これ以上いると先生捕まるから帰ってください」と言われました。天安門にはまだ血の臭いが残っているような状態で、とにかくだだっ広い広場でした。あの時の映像でご記憶があれば、戦車が何台か学生のデモ隊に突っ込んできて、バリケードに乗り上げてなおかつ学生達を轢いて、普通の交通事故ではないです。後に北京大学に

教えに行った時に、大学の先生から、その場の様子を詳細に聞きました。

天安門広場を遠目に見ながら、昨日のニュースを見て、中国という国の歴史について、今だってウルグアイの弾圧にしても大変なものがあります。今、3人の独裁者である、プーチン、習近平、金正恩は共に核を保有している。核を持っている以上、戦争はできません。捨て身になったら、核を撃つだけ撃って、おそらくプーチンは戦術核だけではなくて、今の原発を何らかの形で爆破させても、ロシアは広いですから、ずっと東の方に逃げて行けば済んでしまいます。しかし、そんな簡単なことではないということです。

3年程前に、日本有数の貿易会社の重役が、ウクライナ・チェルノブイリ近くに行ってバーベキューをやったそうです。日本に戻ってきて、甲状腺の数値が悪化し、癌になりました。それが今の実態です。

強権を発動して、軍隊を要請し、台湾周辺の軍事力を拡大する、尖閣諸島なんて問題じゃない。南沙諸島まで船を入れる等、どうやっていくのか、これらは非常に大きな問題であると思っています。天安門事件、まだまだの状況です。北京大学で世話になった方が、東大に来て、急性心不全で亡くなりました。その方には、北京大学にいた時に万里の長城にも連れて行ってもらいました。中国という国は、なかなか難しいという印象を受けました。

阿武町を例えとし、人口減少、限界集落についてお話しします。阿武町は山口県の萩市と隣接しております。海のそばで、人口は3,000人を切りました。税収は3億円弱で、町の歳入歳出が約30億円、その内15億円は地方交付税です。ですから、大都市で集めたいろいろな税金も、昔は国税三税の3割と決まっていたましたが、今はたばこ税とか消費税等さまざまな種類があり、なおかつ2割になったり、細かくはわかりませんが、とにかく半分の15億円、依然として国からもらっているけどまだ10数億円足りません。国庫支出金、いわゆる補助金です。山口県からの支出金の合計で7億円、そこに、固定資産税等を含めて、人口3,000人の町で3億円、ただ、生活困窮で住民税を払っていない方が、1,000超の世帯の内400世帯くらいと、ほとんど収入のない、65歳以上の方が多いです。

島根県津和野町にある永明寺が、東北福祉大学の萩野学長のご実家のお寺ですが、そこに行った時に山口県経由で萩市を経由し、阿武町も通りました。お米がとれるし、いろいろあるところだけれども人口が減っていく。

来月に山形県の県会議員の講演会に呼ばれていて、地方自治も話してほし

いと言われたのでいろいろと調べていますが、秋田県も同じです。昨日の夜も今日の午前中もやりました、町自体が消滅集落になったというところで、子供2人を含めた家族から話を聞きましたが、しかしそれは、生きていく上ではなかなか大変であります。「ポツンと一軒家」という番組は、ものすごく視聴率が高いそうですが、なぜこんな所に住んでいるのかな？面倒くさくなくて一人で住めれば、自然を守り、山を守ることができる。私はネオンサインが光っているところじゃないと住めないのでもできませんが。阿武町は歳入構造、予算を見るとゾッとするようなことがあちこちにあります。じゃあ合併したら？となるけど、阿武町は町会議員が7人もいますので、絶対に合併しない。合併したら萩市になるのかもしれないけれど、そうなれば1人出るかどうかになってしまうので、自分の延命のためにやっているようなものです。

レジュメのプラスワンですが、今日の朝刊を読んだら、日本の去年の出生数は81万人で、予想以上にハイペースで100万人をきり、6年連続で下がり続けています。合計特殊出生率は1.30ですがこれも下がっていて、秋田県は去年の出生数が4,335人、出生率1.22と、都道府県別でも下位で、かなり少ないです。4,000人×平均寿命80歳とすると、80年後の2100年には32万人と考えられます。現在で90万人台ですから、約3分の1です。秋田県で人口を増やすためのフォーラム等開催しているようですがけれども、何か本気で考えないと、ノースアジア大学はともかく、国立の秋田大学、公立の秋田県立大学、国際教養大学もおそらく残るでしょうけれども、地元に残る人は1人か2人、いるかどうかでしょう。そういうことを考えていくと、やはりふるさとのことを本気で考える、優秀な子ほど東京の大学に行って、やはり就職先もたくさんある東京で就職してそのまま、秋田へは帰ってこないというのが今の現実です。

当初のレジュメに戻って、最後に参議院選の話をしたと思います。

日本の三大危機、まず経済の危機は、国民皆が出不精になったことです。引きこもりという訳ではないですが、私は5月に数回、食事のために赤坂や銀座に出かけました。行って帰ってくると、すごく疲れています。帰りはタクシーですが、電車でもなんでも乗り物に乗る時は人のいない方へ行く。新幹線の場合も、1番前にいつも席をとります、風は前から後ろに抜けますからね。その方が、コロナ対策となっているような気がしますが、やっぱり疲

れます。それくらい、コロナ禍で人が近くに寄ってくるとなんだか疲れてしまう。現状、私と同じように感じている人が多いのではないかと思います。そうなってくると外食しなくなってしまう。

エコバッグの推進とともに、ポリエチレン袋の使用も増えていて、無駄に感じます。あとはストローですね、これも大きな問題で、スターバックスなどでは紙ストローに転換しています。SDGsという言葉、サステナブルも含めて1年前ではほぼ無反応でした。日本経済は簡単には戻らないし、物価は5,000品目程上がるそうです。私は車を運転しませんが、ガソリン、燃料費に加えて、電気、ガス、水道とインフラ全てが高騰しています。

外交の危機については、先ほど触れたウクライナは、もちろんのこと、台湾の問題であるとお考えいただきたいです。

岸田政権については、戦争があると、時の内閣の支持率は上がります。今は60%台の支持率です。官邸番の記者に2人、ゼミのOBが入っていますが、「先生、何で岸田さんの支持率が高くなるのでしょうか？」と連絡が来るから、「戦争がある時は、なんとなく時の総理の支持率は高くなるものなんだよ。」と話しました。「だけど岸田さんはやる気ないし、全部画面（原稿）見て話していますから。テレビに映らない時は、ヨレヨレで歩いていますよ」と言っている。

今日の円は130円で、こうなると、来週月曜の株がどうなっているか、難しいところではあります。とにかくボーっとしていたら生きていけないような時代ですが、岩手県の財務大臣もなんとなくのんびりしているかなという感じですし、官房長官が松下政経塾出身で、応援に行ったことがあります。彼は千葉県出身で、同じくのん気な印象です。

大臣クラスの中で、ピリっとしたのは、性格にちょっと問題ありですが、林芳正外務大臣です。鳥根県出身の細田衆議院議長とは、何回かパーティですれ違ったことはあります。年齢は80歳前後だと思います。一応、品格を重んじる衆議院の議長ですからね。「100万円の給料しかもらえない」という発言をした時に、何を考えているのか。永田町も大変だなと思っています。

1番目のコロナ禍の日本経済については、これまで触れてきましたので、企業の持っている内部留保金、つまり儲けで貯めたお金、これは資本主義経済なので当然ですが、400兆円にもものぼるそうです。それを、岸田さんは社

員に分配しろと言うんですね、「新しい資本主義」だと。それはいいけども、大企業や優良企業が内部留保金を社員に分配するということは、そういう企業の社員は給料が上がるかもしれないけれど、一般の人はどうでしょう。逆に、そういう企業の経営者は、テレワーク等の委託を多めにして、正社員を減らす。正社員一人採用するのも、その人の年金の半分を会社が負担しなければならない。大学の教員であれば年金の半分は大学が、公務員の場合は半分は税金からです。アメリカのように、何万人規模の会社で正社員が30人程度というパターンもありますし、そのようにだんだんなくなってくるとお考え下さい。

2番目のウクライナ問題は、すでにお話をしましたのでこれ以上コメントはしませんが、小麦の問題だけ話します。ウクライナは車で数時間走っただけなので認識はほとんどありませんが、世界の食料庫といわれる程の大変な穀倉地帯で、高さ2～300m級の低い山しかありません。いわゆる小麦畑が広がっていて、ソフィアンローレンの「ひまわり」という映画の舞台になった所です。小麦の3割はウクライナで作っているほどです。そう考えると、その生産がストップするとなると、パンも値上がりになる可能性が高いですよ。さらにこの後は簡単には戻らないし、穀物を入れている倉庫の中に鳩が入ってしまったとか、あちこちでいろいろと指摘が出ています。

レジュメ3番目、円安が130円まで来ています。かつては1ドル360円、それが80円台までなって、大体100～110円くらいでおさまっていたのが、この半年、1年未満で120～130円まで上がってきました。こうなって来ると、輸出企業は儲かりますが、輸入企業は大変です。一時的に儲かっている企業は、輸出により助かっていますが、そう簡単なことではありません。そのことも含めて、コロナ後を見据えて、岸田政権が参議院選の後にはどのような展開になるかということを入れて、参議院選挙の問題に移りたいと思います。

手書きのレジュメ、「第26回参院選の分析」に戻ります。高い内閣支持率ですが、ガソリンや食料品が値上がり、でも給料が横ばいとなると、今後どうなるかわかりません。今のところ各社の予想は、大体前回以上だと言われていますが、あえて秋田県については触れません。1人区では、山形県で言うと、舟山氏という国民民主党の非常に優秀な女性があります。まだ50代

の方で、元農水省だったと思います。この人と争って、前回僅差で敗れたNHKの記者でおそらく50代の女性の方とまた一騎打ちになると思います。共産党も立憲民主党も、舟山の応援で一騎打ちだと思えます。ここはいつも大激戦です。何もなければ自民党は現状においてはかなり有力です。秋田県も自民党は元野球選手の石井氏だと思えますが、野党から3、4人も出れば現職が有利になります。全国各地からいろいろな情報をもたらしていますが、1人区で激戦になるというのは、山形県や大分県とか、もちろん沖縄県もそうですが、10カ所もないと思えます。そうすると、このまま進んでいくと自民党が1人区で20議席以上勝って、野党系は4、5人、2人区は1人1人、東京はバラバラという構図になると、岸田続投で自民党安泰となりますが、参議院選挙は衆議院と違って遊び心があります。それは、政権は交代しないけど総理大臣が変わるだろうと、本能的に日本国民は思っています。

次に述べる3つは皆さまのご記憶にあるかと思いますが、一番近い2007年、安倍晋三さんが小泉純一郎さんに言われて、官房長官から総理大臣になりました。当時はまだ若くして50代の総理大臣です。総理になって1年近く経った7月は大敗しました。それは彼自身が潰瘍性大腸炎という病気になって、なんとなく安倍晋三という人間に疑問を持ち始めました。そして野党側が選挙協力をし、その時に私もアドバイスしてしまいましたが、1人区で自民党は6勝23敗という事態が起きました。安倍さんは1年足らず、10カ月で辞めてしまいました。それで、何年か前に再び出て来たということで、これが2007年の自民党大敗でした。その前のケースでは1998年、橋本龍太郎さんが、選挙で消費税を上げる上げないと、訳のわからないことを街頭演説や遊説カーの上でやって、マスコミに叩かれて結果的に投票率がぐっと下がりました。自民党が惨敗し、橋本龍太郎さんは強気な人なのに、総理大臣を投げ出してしまいました。彼の性格なら仕方ないかな、と思えます。さらにその前ですと1989年の宇野宗佑は、負けて当たり前、2ヶ月くらいでリクルート事件や消費税の導入があって、さらに、神楽坂の芸者に指3本を立てて、「300万円で俺の愛人になれ」と言った件があったのですが、それをわかってサンデー毎日に出演して、誰もが負けると言ったのがこれら3つです。

こういうものは、深層心理として日本人には入っていて、このまま選挙が無事に終わるかなと思っていても、何千品目もの値上げがあって、ガソリンも電気代も7月にはかなり上がるらしいですから。ちょうどクーラーを使う

時期ですが、岸田もハッキリ物を言わない。そうなる तो ちょっと遊び心で、次のことなんか考えず、野党では困るけど、泉健太では何を考えているかわからない。彼は立命館大学卒で、福山哲郎は私の教え子でしたが、彼の秘書をしていました。性格の明るいとても良い子ですが、何か持っているようなタイプではありません。参議院選の遊び心が出てくるとちょっと先が読めません。これが今の流れであります。これらのことを考えると、これからの参議院選はまだまだわかりません。公示は6月22日、投開票は7月10日と期間が短いので、普段から注意して見ていてください。

続いて、無気力な野党についてです。山形選挙区がどうなるか、というところで、さくらんぼ大使もやっていたし、取材も兼ねて天童温泉に泊まりに行こうかなと思っています。国民民主党の玉木代表は、悪い人ではないけれど、東京大学卒の霞ヶ関の官僚です。自分ではイケメンだと思っている、小池百合子とさまざまな活動をしています、とにかく判断が鈍いです。けれども、山形県では舟山氏を勝たせなければいけない雰囲気があるので、ここはなんとかなるかもしれませんが、自民党も今回は必死ですし、注目の選挙区であると思っています。

問題は、あれだけテレビに出ている橋下徹さん、なぜ出ているのか。前回の講演会で話したと思いますが、大学の同期でテレビコメンテーターの大谷昭宏に聞いたら、一応表向きは維新はお金がないからだ。でも、朝から夜までずっと出ていて、彼は座り続けているようなタイプではないです。以前にある番組で、2時間番組を3カ月程やりました。その番組内で喧嘩をしたこともあり、以前私はTwitterでボロクソにやられたこともあったりもしましたが、今では仲直りしました。この人があれだけ出て、例えば突然、来週あたりに選挙に出ますと言った場合、近畿関西地区では、参議院選挙は各県ともに強くなるし、比例票も増えると思います。この状態を考えると、やはり私はまだわかりません。国会議員になったとして、年収は手取りで1,500～1,600万円です。政策秘書、第一・第二秘書を入れても、彼らは弁護士だからそこからお金は取れません。維新は、昨年の衆議院選挙を含めて、借金はおそらく返したと思います。彼がテレビのタレント弁護士を続けるか、あるいは出馬してくるか、候補者が3人の場合は、当選すれば6年やれます。これは、ずるそうな政治家は参議院の方がいいよね、仕事もないから楽で、国会でボタンを押すだけです。最近、私は国会の本を監修しましたが、その中で押しボタンのことも書きました。

小池百合子さんについては、彼女はオリンピックの時に着物を着て、行く時は最高潮でしたが、本気でうつるかもしれません。彼女自身も、もう都知事をやっている意味がないと思っています。先日も女性の会をやっていて、お金を集めていますし、まだ何か新しいことをやりたいという気持ちがある程度強く持っている。橋下徹と小池百合子、この二人の動向をぜひ注目してください。そして、私の関係していた原発ゼロの会は、小泉純一郎さんが全く気力をなくしてしまって、原発ゼロの会は、誰も立候補しません。弁護士や医者等、いろいろやっていましたが、出ません。元東京都知事の猪瀬直樹は、維新で出馬します。でも受かるかわからないし、彼が出馬すると分かってから、いろんな記者や評論家から、「先生、誰か良い人いませんか?」と言われていました。私の返事は、「ちょっと秋田に行くから、一週間考えさせて」です。2、3人有名人の名前が挙がれば、ある程度の影響力を持つかなと思っています。

レジュメに戻って、「ポスト岸田」についてお話します。河野太郎については、最近が目立ちたがりなだけで、協調性がないということが、自民党の中でわかってきました。だから、彼についていくという人は、正直なところあまりいないかもしれません。小泉進次郎とは、神奈川県というところだけで仲が良いですが、進次郎が結婚してから、全くもってやる気が見えません。綺麗な奥さんとかわいいお子さんと、彼女が飼っていた犬の方が人気があって、進次郎の名前だけでは、人が集まらなくなりました。だから、河野太郎や小泉進次郎の時代ではなくなってしまった。そうすると、今の内閣では林芳正くらいかな、英語もペラペラだし、やる気もまあまあ。自民党が許さないだろうか。ただ、自民党内でいろいろ見ていったら、他にいないだろう、そうなった時は、1%の可能性で林芳正が出てくる。外務大臣だけではなく、経済もわかっています。彼には、良いブレーンもたくさんいます。これらのことも含めて、野党はやりにくいだろうと思うし、野党の関係者に言ったら驚いていました。

野党の協力は、おそらく二日あれば簡単にできます。それを今、野党の関係者が「福岡先生に聞いてみれば?」と言っている人がいるらしく、時々メールが来ても、「今は東京にいませんから」と逃げ回っています。

6月22日まで2週間足らずですから、まだ様子はどうなるかわからないです。

コンビニやスーパーマーケット、最近では Suica 等で、キャッシュレス決済が当たり前ですよ。スマホのバーコードや Suica でパパッと買い物をしています。近所のスーパーマーケットでは、有人レジが 5 ヶ所、無人レジ（セルフレジ）が 10 ヶ所程あり、かなりの人件費が削減できている。それから防犯カメラが、さまざまな場所に設置されると、犯罪の未然チェックはできないし、治安には役立つが、自由な行動ができない。私の事務所は駅から徒歩 10 分かからないくらいですが、友達と一緒に歩いているだけでも、カメラが何ヶ所も設置されているのがわかります。

このコロナ禍で日本の国は、2 割くらい小さくなると思います。節電により、おそらく 7 月中には電気の使用を控えるよう東京電力が言って、それでも足りないから原発を作るという方向にすると、東京電力周辺から聞いています。そうやって、原発の再稼働に一気に動くと思っています。

結論として、参議院選挙で、岸田さんの続投は今は 5 割以上ですが、私はこれからの 2 週間くらいで物価高を含めて状況が変わってくることと、野党がここに来て 1 人区でも選挙協力と言い出したことを含め、今月の 15 日前後に、劇的な変化が起きるかもしれないということをお話して、講義を終わりにいたします。この後、質問があればぜひどうぞ。ご清聴ありがとうございました。

道 端 福岡先生、どうもありがとうございました。この後は、場所を移動してゼミナールを開催いたします。まだお話したいことがある、質問があるという方はぜひご参加ください。最後にもう一度、福岡先生に大きな拍手をお願いいたします。どうもありがとうございました。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「小さな神たちの祭り
－震災から12年の今(東北放送制作テレビドラマより)」

講師 脚本家

ノースアジア大学 教育諮問会議委員

ノースアジア大学 総合研究センター客員教授

内 館 牧 子

司会 ノースアジア大学総合研究センター長

本学法学部教授

道 端 忠 孝

日時 令和4年6月18日 午後1時00分～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館271教場

道 端

これより、ノースアジア大学総合研究センター主催の講演会を開催いたします。この講演会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日司会を務めます、総合研究センター長の道端と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

内館先生は本学教育諮問委員で本総合研究センターの客員教授でございます。ご存じの通り脚本家として、また作家としてご活躍しております。私達秋田人にとっては魁新聞の「明日も花まるっ!」というコラムで楽しませてもらっております。本日のテーマは「小さな神たちの祭りー震災から12年の今（東北放送制作テレビドラマより）」ということでございますが、このテレビドラマの放映後、内館牧子先生は同名の「小さな神たちの祭り」という本を書かれております。本日、どのようなお話をさせていただけるか楽しみでなりません。どうぞ、内館牧子先生よろしくお願いたします。

内 館

よろしくお願いたします。内館でございます。ここ最近ずっとコロナのせいで来られませんでした。今日は本当に久々なので楽しみにお話をしようと思ってまいりました。ソーシャルディスタンスで大変でしょうけれども、たくさんお集まりいただいて良かったです。

今日はここに書かれている通り、「小さな神たちの祭り」というテーマです。これは東北放送からある時突然うちの事務所にプロデューサーと監督が見えまして原稿を書いてくれないかという話が来たのが切っ掛けなんです。何かと思いました、東北放送のドラマって書いた事がなかったんですね。なぜなら東北放送でドラマを制作するのは22年ぶりだっていうんです。向こうが考えているのは2時間スペシャルで放送日も決まっている。条件は何もないので、好きなように2時間ドラマを書いてくれと言う事で、東北放送のテレビ放送が始まって60年の記念だって言うんです。大変なものだなと思ったのですが、お話を聞いてたら条件はただ一つだけお願がありますって言うんですね。で、それはなんだろうかって伺ったら震災に触れて欲しいって言うんです。2011年の3月からちょうど私が依頼を受けて放送があった時が8年目ぐらいの秋でした。2019年の秋に放送は決まっているので、絡めて書いてもらいたい。

で、私はその時ふと思ったのはやっぱりすぐ風化しつつある時期だったんですね。あの震災でさえもやっぱり風化しつつある時期と思いました。で、風化とは別に一つ書きたい話があったわけです。私はすぐに「書きたい話があります、多分これは東北放送の企画を通らないでしょう」って言ったん

ですね。テレビドラマというのは連続ドラマでも大河ドラマでも、全部テレビ局の企画会議を通します。その企画会議を通して初めて、スポンサーがついたり、お金が入ったり、主役をどうするかとかあるわけですから、企画が通らないとテレビドラマってできないんですね。

で、私は今回自分が書きたいドラマはあったんですけども、これを60周年の22年ぶりの仙台の東北放送が制作するドラマとして扱うには、企画が通らないだろうなって言う思いは強くありました。ですけども一応書きたい話はあるんですけど言う事をお話したんです。それは、震災に限らず亡くなった人っていうのはどこか、今の場所じゃないところで生きているんじゃないかっていう話を書きたいって言ったんです。そうしたらプロデューサーも監督も「えっ？」って言う顔をしたんですけども、これは決して怪奇だとか猟奇だとか、オカルトではないんですね。

私は50代に入ってから東北大学の大学院で宗教学を勉強しました。で、その時は3年間仕事を休んで仙台に拠点を移しまして東北大に通って、みんな裏口から入ったっていうんですけど、ちゃんと試験を受けて表から入ったんです。表から東北大の宗教学に入りまして、そこで勉強したことって言うのが非常に大きかったですね。物凄く色々な事を考えさせられて学んだっていう事があります。宗教学には宗教民俗学というジャンルがあります。民俗っていうのは民族ではなくって、風俗の俗です。鈴木岩弓先生という第一人者の宗教学者が東北大の主任教授でいらっしゃいました。で、その宗教民俗学が非常に私に大きい刺激を与えました。それと同時に日本思想史という授業がありました。これは日本を代表する歴史家であり宗教学者の佐藤弘夫先生が教えて下さったんです。私はこの二つを勉強して強烈な印象を受けたっていうのがあったわけです。

決してドラマにしようと思って勉強していたわけではありません。でも、震災があっただけじゃなくてしばらくした頃から、皆さんも多分耳になさったと思いますけれども、被災の多かった地域でタクシードライバーが亡くなった人を乗せたとか、後ろを振り向いたら確かに乗せたのに客はいなかったとか、それから後は津波にさらわれて死んでしまった子供のおもちゃが夜中に動き出したとか。亡くなった息子の携帯電話が光ったとかそういった話というのが非常に多く世の中に出るようになりました。これは、見ているとテレビだけではなくてメディア全体で怪奇現象として扱うところが多かったんですね。決して全てではありませんけれども、悪く言ってしまうと、ちょっと面白い興味が優先するようなオカルト・怪奇現象として、お化けや幽霊の方向へ行っちゃ

うんですね。

でも、家族はたとえお婆けであっても幽霊であっても、亡くなった子供や親や友達に会いたって泣きました。私はこれをオカルトとか幽霊とかで片づけるのは違うだろうって物凄く憤りを感じていたわけです。まして亡くなった人が何かサインを送ってきたからと言って、それが幽霊だとは家族は多分思うことはないと思います。だから震災だけではなくて、亡くなった人がやっぱり生きている人たちのところに来てくれるんだと、家族はそう思うんじゃないかと。

これをドラマにするとと言っても TBC に企画が通るわけがないと思ったんですけれども、その場で私は申し上げたんですね。「一家5人と可愛い犬の、5人と一匹が震災で全部死んでしまう。それで、1人だけ残された男子大学生の話を書きたい」。その男子大学生はたまたまその震災があった時に東京に来てたことにしたかった。学生ですけれども、大学に入るために東京に来ていた。だから震災に遭わなかったんです。その時に弟が「お兄ちゃん、俺も一緒に東京に行く」って、「レコード屋でちょっと探したいものがあるから、一緒に連れてってよ」って言うんだけど、お兄ちゃんは友だちと一緒にですから、弟なんか来ると邪魔なわけですよ。だから「お前は一人で行けよ。俺は友だちと一緒に行くんだから」って断っちゃうわけですね。そして東京へ来た。そのため、震災には遭わなかった。でも、その弟を含めて家族全員が死んでしまった。小太郎というかわいい犬も全部波にさらわれて死んでしまった。それで、たった一人残った大学生の事を書きたい。

兄にしてみると弟を殺したのは俺だっていう思いもすごくあったでしょうし、その話を書きたいって言ったんですね。一家全員と犬一匹が死んで、兄には心の中にずっとその苦しみがあるんですけれども、それを押し殺して就職するわけです。苦しみや境遇を表に出すと震災で暗いって思われたり、気の毒になって思われたりすると嫌だからって、特にわざとちゃらちゃらと軽めに生きてるんですね。気持ちとしてはもういつでもふるさとの事、家族の事、色々な事が考えから離れない、苦しんでいた。で、どんどんどんどん震災が風化していくことにも腹が立つわけです。あれだけの人数の人が死んで壊滅的に街がやられて原子力（発電所）の事故まであって、これだけ大変なのに風化していくのか、お前らの気持ちはもうないのかっていうすごく苛立ちも持っていた。でも、それをどこまで表にしているのかは彼にとっても難しい所でした。

そのうち、東京ではやっぱりとても暮らせないって、元々は仙台の人だっ

たので、会社を辞めて仙台に帰って行くんですね。一家五人はまだ骨さえも出て来ないんです。彼も探し続けてその苦しみの中にいました。仙台でさえ、都心部は特にそうですけれども風化しちゃうのかよ、死に損かよって思う。だけどそれを表に出すのは非常に憚られるっていう人だったわけです。そして恋人が仙台でできるんですけれども、幼稚園の先生だったんですが、彼女とずるずる付き合っているけれども結婚の決心はつかない。彼女はすごくいら立つわけですよ、3年も付き合っているのに結婚のけの字も出ない。おかしいじゃないかって。何が嫌なんだろうかって思うわけです。でも、彼の中には自分だけ幸せになって良いんだろかって言うのがずっとある。その彼女と温泉に行こうかって話になっても、温泉には行くんだけれども、彼は温泉に入れないんですよ。家族はみんな冷たい海に吞まれて死んだんだ。俺だけ温泉で足を伸ばしていられるかよって思う。彼女は仙台の市街地に住んでて大きな被害を受けてないですし、わからないんですよ。で、何でそんな優柔不断なんだって言ってしまふ、これは女の子の気持ちもよくわかります。と言う事で遂に彼女の方から別れ話を切り出します。彼は本当は結婚もしたかったけれども、やっぱりここは別れるしかないなって、俺は多分このまま結婚は出来ないんだなって別れることを了承するんですよ。彼女は「わかった。さよなら」って帰っちゃうわけです。

彼としては、仙台に帰って来てからはとにかく力仕事をしたかったんです。力仕事をすれば疲れて夜はぐっすり眠って、家族のことも少しは思い出さないかもしれないでしょう。大きなウォーターサーバー、それを宅配する仕事をやってたんです。で、その仕事の疲れと、別れ話と、家族への思いと、可愛がっていた犬への思いがあって、もう疲れ切って仙台の喫茶店からぼやーっと一人、喫茶店に座りこんでいた。

その時に、この主人公の祖父をタクシードライバーにしようと考えました。祖父は仙台や海沿いの町をずっとタクシーで走っていたんです。で、恋人と別れて疲れ切った彼が、喫茶店から出てきて、ふらふら歩いて自分のアパートへ帰ろうとしている時にタクシーが1台来たわけですね。これは物語であって本当にあった話ではなくて私の作り物ですよ。彼は普段はお金も無くてタクシーには乗らないんだけれども、疲れ果てていたので思わず手を挙げて、そのタクシーに乗っちゃうわけですね。それで行先を言うんです。アパートのある「卸町まで」って言って、力なく後ろの座席に座ってるわけです。その後、居眠りしてはっと気が付くと全然違う所を走ってるわけです。運転手さんに「こっちじゃない、こっちじゃない。卸町です」って言うんですが、

運転手さんはどんどん走っちゃうわけですよ。それで「止めてくれ」って叫ぶ。TVでは千葉雄大さんがやったんですけども、止めてって叫んで運転手の顔を見たら、死んだはずのお祖父さんが運転してたわけです。びっくりしていると、見たこともないトンネルの中をタクシーは猛スピードで走って行く。こんな所にトンネルあったかなって彼は思うわけだけども、あっという間にトンネルを抜けると、目も開けていられないぐらいの真っ白な光がうわーっと当たって思わず目を背けた。目を開けてみたら、連れて行かれたのは彼の元いた家だったんです。元いた家は一軒家で、犬小屋が脇にあって大きな木が庭に植わっていた。「ここ震災の前の俺の家じゃないか」って彼もわけがわからなくて、パニックになるわけですね。

そうすると犬がワンワン吠えてくるわけですよ、小太郎が。すぐに家の中から亡くなったお母さんが出てきて「あら、お帰り。今日のお昼はアンタの好きなカレーだよ。早く入りな」って言うんですね。で、彼は「何だこれは」って思うわけです、あり得ない事ですから。で、彼は恐る恐る部屋の中へ上がると震災で流される前の家のままなんです。飾り物も食器も時計もみんなそのままなんです。それでお母さんがドーンとカレーを出してくるわけですが、彼はそれを食べるとこの人間になっちゃうんじゃないかって、怖くて食べられないわけですね。だけど、死んだ弟とか、お父さんやお祖父ちゃん、みんなもうワシワシ食べているわけです。早く食べなよってお母さんに言われて、彼も食べるんです。そうすると震災前の味と同じだった、一体これは何なんだって。

ここまでを東北放送の方に話しまして、こういう話を書きたいんだと。だけれども、私もテレビドラマを書く人間として、60年の記念スペシャル企画が通りっこないって言うのはわかっています。「一応内館に言ったらこういうのを書きたいって言われた」って事だけ話してみても下さいってお願いしたんです。すぐに返事がありまして、企画通りましたって。私、すごくびっくりして、思わず「東北放送って根性ありますねえ」って言ったんですけども、そのまんま企画が通ってしまいました。それでキャスティングもすごく良かったんですね。このドラマは絶対にオカルト現象でも怪奇現象でもなくて、結局これは生きている者と死んでいる者の交歓、生きている者と死んでいる者の繋がりを書きたかったわけです。で、それは私が大学院で宗教学だったり日本思想史だったりを学んできたことと、重なる所が非常に多かった。

この後、7月8月にはお盆が来ますけれども、お盆には亡くなった人たち

が帰ってきます。そして生者は死者が帰ってくるのをすごく待っています。盆棚を作って死者を迎える準備をしたり、私も作るんですけども、野菜の馬と牛、茄子とか胡瓜とかに本当は麻幹を刺して脚にするんですが、私はマッチ棒で代用です。そうやって作った馬とか牛に、死者が乗って帰ってくるっていうんですね。一晩中点く提灯みたいなのをつけて死者が迷わないようにしてるんですけども、あれ棒たらに鱗に胡瓜の馬と来る時は脚の速い馬で早く来てね、帰る時は淋しいから、ゆっくりの牛でね、と。野菜の馬は生者の気持ちです。結局そうやって死者と何日間か一緒に居る。それは盆踊りもそうですし、お祭りもそうだし、一緒に影膳みたいなのを据えてご飯を食べたりするっていうのも、これは日本全国どこでもやっているわけです。これは、生きてるものと死んでるものは共に同じ空間・時間に在るということですね。見えなくてもということなんですね。

特に東北地方は古くからの民俗・風習っていうのはたくさん残ってまして、私、大学院の時に鈴木先生と院生たちと一緒に、聞き取り調査を随分やってきたんです。ご存じの方も多いと思いますが、ムカサリ絵馬、これは山形の村山地方を中心に今もあるんです。これは絵馬にですね、絵を書くんです。何の絵かっていうと、結婚式の絵なんですね。で、自分の娘や息子や友達や、若くして結婚前に死んだ人の結婚式の絵を、絵馬に描くんです。そうすると生きて結婚は出来なかったけれども、あの世で幸せになれということで、お寺に納めるんですね。つまり、向こうで結婚ができたっていうことなんです。これが今も行われていて、もう絵馬が天井までたっくさん納められています。絵っていうのは、例えば三々九度のシーンだったり、一族が皆モーニングや紋付き袴で並んで角隠しをしたお嫁さんの横で、亡くなった息子とそっくりの花婿がほほ笑んでいるとか。それから花嫁姿の娘が素敵なお婿さんと笑顔でワイングラスを掲げているとか、色んな絵があります。ムカサリ絵馬は、明治とかもっと前からあった風習が今も東北地方、特に山形には残ってるっていうんですね。

もう一つ、津軽地方にはですね、人形堂というものがあります。これは花婿と花嫁姿のお人形を納めるんですね。これが一番有名なのは、聞かれた方がいるかもしれませんが、太宰治が生まれた金木という町があります。金木にある太宰の資料館の近くに「川倉賽の河原地蔵尊」という地藏堂があります。そこに人形の廟がありまして、私も何回か行ってるんですが、広いお部屋の、天辺まで一面に人形でいっぱいです。全て花嫁花婿の人形という。それで生前好きだった煙草だとか、お酒だとかと一緒に供えられていたり、子

供が産まれるようになって小さな赤ちゃんの人形なんかも供えられています。これはやっぱり息子や娘はあの世で生きている、きっとあの世では幸せになっているだろうと親が納めたものなんですね。

生者と死者をつなぐものとしては、他に津軽地方で恐山のイタコもあります。これも私は何回も行ってレポートを書いたりしたんですけども、イタコは厳しい修行をして、イタコの免許というか資格を取った老女があの世から亡くなった人を呼ぶわけですね。それで亡くなった人が今あの世でどう生きているかって事を語るわけです。私は一回女の友達を連れて行ったんですけども、彼女は亡くなったお母さんと呼ばたいって言うんです。お母さんは彼女と喧嘩別れをしたその日に急死したそうで、元々あんまり仲が良くなかったけど、すごく心残りだって言って、お母さんと会いたいと。私も一緒に行って、そのお母さんをイタコに降ろしてもらったんです。そうしましたら、降りて来たんです。もちろん津軽弁なわけですね。彼女は東京の人ですから全然意味がわからないんです。私も津軽弁はわかんないんですけども、秋田弁と岩手弁は何とか両親から聞いてますから、彼女よりかは通訳ができる。彼女に分かる限り通訳をしたんです。それでお母さんは降りてくるなり、「ありがとう。呼んでくれて嬉しいよ」って言うんですね。彼女はもうその時から「お母さんごめんね」とか言って泣いてるんですよ。「いや良いいって良いいってアンタさ、お母さんのことより友だちの事大事にしなよ。こんだけ良い友だちがいっぱい居るんだから、もうね大事なのは今だよ、友だち大事にしなね」って言う。彼女が「お母さんあっちで幸せなの」って聞いたら、「十分幸せだよ。今日の夜のご飯とか色々あるから、もう帰るね、友だちによろしくね」ってヒューって帰っちゃったんですよ。この間、一分とかですよ。彼女は泣きながらこれは間違いなく私の母親だって。そういうクールな親だったって言うんですよ。彼女はそれ以来すっかり安心していました。「向こうでご飯食べて元気に生きているんだってわかってよ。」って言いました。やっぱりそれも東北の人達の特有の、独特な習俗で、こうやって死んだ人と生きている人が交流をするっていう習俗がまだ残っているわけです。

これからもよくわかる通り、死んだ人はどこかで生きている、そのどこかっていうのがどこかはわからないんですけども、どこかで生きている、決して消滅して無になってはいないんだっていう考え方が、多くの人々の中にはあるっていう証拠だと思いました。イタコにしてもムカサリ絵馬にしても人形堂にしても。それで、先ほど申し上げた日本思想史の佐藤教授が、こんなことを仰っていたんですね。今申し上げたみたいな生者と死者の習俗って

うのは、江戸時代にはほとんど見られなかった、近代になって生まれたものだそうです。江戸後期以降に生まれたものなんですね。これは生きてる側にしてみると死者がいつまでも自分の身近にとどまってほしい、いつまでも傍にいて欲しいとして、自分達が生者と死者と交流を続けたっていう思いがあった。これが大きな時代の変換になったそうです。結局いつまでもこの世に死んだ人がとどまって、僕らの傍にいてっていう考え方というのは本当に近代であって、その前の、つまり時代が転換する前は、往生できた人だけが浄土に行ってたんですね。

それで往生できなかった人はどうだったかという、まだこの世でさまよっている、救済されない不幸な人たちだ、っていう考え方はあったようです。それは江戸かその前ですね。例えば江戸時代に餓鬼草紙っていう絵があります。この絵がどんな絵かっていうと、墓場を餓鬼がうろついています。これはあの世に成仏できていない人達なんですね。それが餓鬼となって墓場の周りをうろついている、死体を貪り食べていたっていう絵なんです。そう考えますと墓地っていうのは、死者の安住の場所ではなくて、この餓鬼のような者たちがうろうろしているたまり場だったっていうわけです。ですから、中世ではこういう餓鬼が墓の周りをうろうろしていて、悪のたまり場だったんで墓参りはしなかったそうです。例えば墓参りをしたとしても、それは餓鬼たちのように救われない靈魂が少しでも救われるようにとお参りしたって言う事なんですね。だから今は、死者と生者の関係が変わってきています。それで中世の時代の仏って言えば目には見えないわけです。私達にしてみれば絶対目には見えない、形にはなっていないわけですね。目には見えないんですけれども、それが段々仏像とか、仏画とか、形のあるものになっていく。仏本来の目に見えないものとは違い、形があるものとして私たちの前に出てくるようになったわけです。ですから近世の人々（私達）は、もう仏像しか思い浮かばないわけですよ。仏っていうのが目に見えなかった、でも絶対の力を持つ、救済するものとして在った。当然、それが何処にあるかもわからない。しかし今、私達が仏像とか仏画とかになった偶像を見ている。こうなってくると、目に見えない本来の仏っていうものが住んでいる彼岸、あっち側の世界っていうものにイメージが湧かなくなってきちゃうわけですね。その結果、死んだ人はかつては彼岸、川の向こうに、仏様のいる死後の世界に去っていったのに、今は去らなくなってしまった。そして遺骨だとかお墓だとかのあるこの世に留まるようになってしまった、という変化があります。

つまり、大分死者と生者の関係が、変わって来るんですね。かつては結局

死者って言うのは死んだらその場で見知らぬ遠い場に行ってしまう、それは生者には想像もつかないところで、目に見えない仏がいて、往生したから極楽浄土っていうところに行けた、悟りを開けたんだってことになっていたわけです。けれども、それが「私の傍にいつまでも留まってね」っていう人間の思いと同時に、この世の中に居たまま生前と同じように子孫と交流し続ける。死者って言うのは遠くに行つて悟りを開くんじゃなくて、私達といつまでも霊魂だけでなく体も一緒に居て、交流し続けるものなんだっていう風に、人々の気持ちに変化していったっていう事になります。

これは多分先程も説明したムカサリ絵馬だとか人形ですとかイタコですとかそういったものもどこかで生きているから呼び寄せられる。どこかにいるから結婚を願って、お人形や絵馬を納められるという心理だと思います。

これはあるお寺で聞いた話なんですけれども、大学院の先生たちと一緒に行った時に、昨日見知らぬ人が訪ねて来てお墓参りをさせてくれとご住職に言ったそうです。そこでお墓の場所を教えたら、その人がすごく嬉しそうに「実は私は学校の先生だったんです。それで私の教え子が亡くなったんですけども、昨日夢に出て来ましてね、そしたら『先生、僕結婚したんだよ』って夢で言ったんですよ」って。それでその先生は、すっごく嬉しくなつて、お花とお祝いのお菓子か何かを持ってそのお寺に来たんですね。それでご住職にお参りさせてくれって言ったんだそうです。ご住職は私達に「実はその昨日って言う日に、ご両親が絵馬を納めに来た」って言うんです。絵馬を納めて、これで安心しましたってご両親が帰って行った。その次の日に先生が来たわけですから、その夜に夢に出たんでしょうね。当然私達はびっくりはしたんですけども、ご住職がおっしゃるのですから、あり得る気もしたんですね。

こう言ったことは決して怪奇現象ではなくって、死んでる人・死んじゃった人と居たい、どこかで生きてて幸せになつてほしいという、生者の思いの形だろうと私達は思いました。佐藤先生が仰るには、こういう生者と死者の歴史の変遷の中でどう変わったかって言うと、結局死んだ人の幸せって言うのは生者、生きてる者がずうっと覚えていてくれる事だ、それが死んだ人の幸せなんだって言う事を授業でやっぱり仰っていたんですね。

その時、私が一つ思い出した事があるんですけども、ある東京の著名な方が、私が大学院に行く前ですけども、「噂供養」って言うのを話してくれた事があります。その方は大事なお友達を亡くしたんですね。結局皆で集まつてお酒を飲んでても良いし、なんか食べながらでも良いし、無駄話っぱ

くても良いし、一人でいる時でもいいから、その死んだヤツの事を噂する、思い出す。アイツこの酒好きだったよなとか、アイツはいつもキノコ採るの上手くってさ、とかなんか噂をする。それが、結局死んだ人の一番の供養になって幸せなんだ、だから噂供養って言うのを僕はすごく大事だと思っていますって、かなり立派な方が仰っていた。

なるほど、噂供養ってあるんだなって思ったんですけども、その時また別の所から「思い出供養」って言葉も聞いたんですね。それも思い出すことが、死んだ人間にとって一番の供養になるっていう話だったんです。

そう考えると佐藤先生が仰ったみたいに、死者の幸せは生者がいつまでも忘れないことであるっていうことが非常に納得できるわけです。それで16世紀ぐらいからお墓に個人の名前が彫られるようになり、生きている人達がお墓参りをするようになった。それが16世紀ぐらいからだって言うんですね。結局それは考えると、死者はどこか遠くに旅立っていく、あの世に旅立っていくのではなくて、いつまでもこの世に居る。お墓に行けば会える。お墓ばかりか馬に乗ってやってくる、とにかく生きているんだっていう風に考え方が変わってきた。ですから、墓地って言うのは個人の家みたいなもので、そこで結局生者は死者が過去に好きだったものを持って行ったり、それから語り掛けたり、拝んだり、お花をあげたり、いろんな話をしたりして帰っていくわけですね。それで生者もすごく救われるのだと思います。

江戸時代の後期から、幕末になると結局死者が一つの人格として、記憶されていくようになったと言う事なんです。だから死者は決してどこか遠くへ行ったんじゃないくて、それはもう転化したんでもなくて、山田太郎なら山田太郎っていう一つの個人として人格として死者を記憶する、そして自分の傍にいて言う風に人間の考え方が変わってきた。これは佐藤先生が仰るには死者をケアする、つまり死者を救うことでもあると。かつては死者をケアするっていうのは仏だった、目に見える偶像ではなくて、見えない仏が死者を楽にしてケアするものだった。しかし、それが死後の世界と、生きている私達の世界っていうのが急速にくっついた事によって、仏はもはや死者をケアするのではなくなった。死者をケアするのは家族だったり友だちだったり、生きている人間になったって言う事なんです。そして生死を越えた悟りの世界へと仏が導くこともなくなった。仏の役割は、人間が生であれ死であれどちらの世界に居ても、平穏な生活が送れるように見守り続ける事。これが仏の役目だっていう風になったそうなんです。

なんかすごく納得できる気がしたんですね。過去では往生したものだけが

あの世で幸せで、そうじゃないものは餓鬼になって墓場で死体を貪り喰っている。それが今や、そういう悟りも何もなくって、生きているものは死者をずっと忘れないでいてくれる。仏によって生死を越えた悟りへと導かれるのではなくなった。仏の役割は、人間が生死をどちらの世界でも平穏な幸せな暮らしが送れるように見守り続けることになったわけです。

こうして、生者と死者の歴史とか在り方っていうのは中世から近世の間に変わってきたわけですね。それでやがて、時代と共に、仏がもっと後ろに退いちゃうわけです。生者が表に出てきて死んだ人をケアする、仏は後ろに居る。そうなった気がします。で、死者はこの世の延長である冥界、冥界は過去は真っ暗で何もなかったんですけれども、今はこの世の延長である冥界で衣食住に困らずに生きていることを満喫していると考えられる状態になった。それが生者をすごく楽にしたわけです。先ほどお話した、あの世で結婚することを「冥界婚」って言うんですよ。近代のこうした流れの中で生まれた一つの習俗だったなあと思います。

ここで再びドラマのことになるんですけども、死んだ人達って言うのは別の世界で幸せに楽しく、震災以外で死んだ人たちも一緒に生きている。ですから、この世で人が死ぬと、例えば死んだお祖父ちゃんと会えるよとか、楽しみだねえとか言うんですよ。それで死んだ人達も、先に死んだ人達と一緒に酒盛りをしたり、ご飯を食べたりしてるんだらうなあって、それはそれで幸せだなあって生きている者はすごく楽になったりするわけです。これは今まで申し上げたみたいな歴史とか変遷から考えると生者死者っていうのはそういう形に到達していったんだなってことを思います。どっかで生きて元気にしている楽しく生きていることがわかると残された人たちっていうのはすごく安心するわけです。確かに私の前からは居なくなっただけでも、どこかあの世で先に逝った人たちと一緒にご飯を食べているかもしれないし、遊びに出かけているかもしれない、きっと元気なんだわって思いますから。ましてそれが老齢になってから死んだ人じゃなくって、震災のように死にたくないのに小学生だったり小さい子だったり、子供を残したお母さんだったりっていうのが死ななければいけなかった。そうするとやっぱりあの世で私達のことを見守りながら、幸せに暮らしてるってわかるのは残された人には救いです。そういうドラマを書きたいなあって思ったわけです。

ここでもう一つ考えなくちゃいけないのは、現代社会では、死者と接する機会が非常に減っているわけですね。核家族になって、老人も病院や施設で死ぬ人が多くなった。ですから、人間が死んでいく様子を見る事が非常に少

なくなってきた。死者を感じるのは事後処理された遺体になってからや、遺骨だったりもします。そうするとどうなのかっていうと、人間は生きている内が全てって感じちゃうんですね。特に私達は「死んでいく人」の事を身近に感じる事が出来なくなりつつありますから、そうなると、生きている内が華なんだっていうことになっていく、骨になっちゃおしまいだ、生きてる内が華なのよってなる。

そうなるとうどうなるか。女性誌がしょっちゅう特集を組んでいます。「人生いかに逝くべきか」。それがもうしょっちゅう女性誌をはじめ企画を組んでます。それはおそらく売れるのだらうと思うんです。だからどう生きるかってことに着目して、どう死ぬかって事に対してはそれほど言われません。どう生きるかって言うのは非常に多い。大体それは有識者とか色んな方たちが談話を発表していますけれども、何かに挑戦するのに年齢は関係ない、やろうと思った時が一番若いんだって、だからやるべきだって言う風に大体はそっちに行きますね。で、年齢に囚われてはいけないって、挑戦だ挑戦だ、これは確かに一理あると思うんですけれども、でもやっぱり年齢って言うのはありますよ。80になってボルダリング出来るかって言ったら、出来ませんよ、やっぱり。だから80になったらどういうことが出来るか、70になったらどういうことが出来るか、今の世の中に対してどういうことができるかって事です。それと同時に、どう死ぬかってところに繋げて考えられれば良いなあと思います。簡単には行かないんですけども、結局こうやって人間は、生きているこの世だけが全てになっている。死ぬってことはどこか遠くの未知の世界になってしまった。それは仏が過去に浄土というところに居たのと同じような未知の世界なんですけれども、違った意味で未知の世界になってしまった。ですから、生者と死者の間に大きな川っていうか水っていうかそういうものがあることは、今も昔も変わらないと思いますね。

ですけども、現実には私達は今、死んだ人の事は忘れませんし、時ある毎に思い出します。前も申し上げた通り仏様と共にあるものではなくて、子孫とか縁者とか友人とか、そう言った人たちが死者と共に在る。お墓に参って会話をする、お盆には野菜の馬を作ってお迎えするっていう事があるわけです。それで死者たちが楽しく明るく皆で暮らしているって、もしそう思えたらこれはすごく良いドラマになるんじゃないかなあ、っていう気が、私の中では企画が通る前にあったわけです。先程申し上げた佐藤先生が調べたところ、これまでこの地球上に、人類が築き上げてきた文化を振り返った時、靈魂と死後世界の实在そのものを否定するものは皆無だった、例外は無い。す

ごい言葉ですよ。つまりこれまでこの地球上に人類が色々な歴史とか文化を築き上げてきた。それを何千年も振り返って見た時に、「人間の霊魂」と「死後の世界の实在」、「霊魂と死後の世界」と否定するものはゼロだった。必ずどこの世界でも霊魂と死後の世界はあるっていう風に考えられていた。という事ですね。それで、その例外は無い、死後の世界と霊魂は必ずある。

そこから何が考えられるかという、「生者は死者を必要とする存在なのである。だから何千年もどこの世界でも霊魂や死後の世界はあると考えている。そして人々の人生のストーリーは死後の世界と、死者たちを組み込むことによって、初めて完結する。」こういうことだと思います。つまり、死者を忘れることは正反対にあるわけです。

そこから導き出される結論はただ一つで、「生者は死者を必要とする存在である」ということですね。生きている人々のストーリーは、先に死んでいった者たちを組み込む事によって完結するわけですから。そして生者が安定し、精神的に満ち足りた人生を送るには、死者との安定した関係が大切だということでしょうね。それは死者の歴史・人生が、自分の人生に組み込まれる事によって精神的に満ち足りてくる。それは例え私達が死者に対して後悔を持っていたとしても、含めて、自分の人生に取り込むことなのだと思います。

TBCのドラマに関し、私もう一つ思い出したことがあったんです。これは今レンタルのビデオ屋さんで借りられますから、もし興味があったら是非借りて見て欲しいんですけども、2011年のアメリカ映画なんです。ウディ・アレンという監督が撮ってます。私このウディ・アレンという監督が大好きで作品を全部見てるんですが、ウディ・アレン監督は2011年に「ミッドナイト・イン・パリ」というアメリカ映画を作りました。ウディ・アレンというのはとてつもない人ですから信じられないことを考えてるんです。

映画は、ある男が妻とも全然うまくいなくて、妻と来た旅行先のホテルを飛び出して、夜中のパリを歩いているんですね。ため息つきながら俺の人生はもうないな、終わったなって、とぼとぼ歩いていると、突然深夜にクラシックカーが彼の前に停まるんです。そしてクラシックカーから見知らぬ男が降りて来て、彼を車の中に引っ張り込むんですね。彼は驚くんですけども、引っ張り込まれて着いた先が1920年代のパリだったんです。2011年に公開された映画ですけども、彼がクラシックカーに乗って着いた先って言うのは1920年代のパリだったという映画です。

それで彼は、パリの酒場に引っ張り込まれるんですよ。そこはヘミングウェイとかダリとかピカソとか当時の大芸術家たちがいて、がぶがぶお酒呑んで

喋っているんです。彼は突然そこに行っても全然不思議がらない。たぶん、死んだ大芸術家も、どっかで生きてるんだと思ってたんでしょうね。そして自分はその世界に来ちゃったんだと。震災で死んだ人たちっていうのが、どこかで生きている。ヘミングウェイやピカソのようになります。元気にお父さんはお酒を呑んで、ご近所もみんな居てという話を書きたいと私は思いました。

「小さな神たちの祭り」のドラマは、本当に私もびっくりしたんですけれども、国内外の賞をたくさんいただきました。「根性ありますね東北放送」って言ってたのに、国内外、世界的にテレビドラマで権威のある国際エミー賞の最終選考四本にも残りました。イギリスの作品に負けたんですけども、最終の四本に残ったなんて本当に幸せです。これも世界中の人が、ウディ・アレンの「ミッドナイト・イン・パリ」もそうですけども、死者はきっとどこかで生きているんじゃないかと思っている、あるいは願っている。その証拠だろうと思いました。

それで先程申し上げたみたいに、ドラマの主人公は宮城県出身の千葉雄大さんが演じて下さって、物凄く忙しかったんですけども、「この役は他の人に絶対取られたくない」ってはっきり言ってやってくれたんです。宮城出身の人は、例えばサンドイッチマンのお二人なんて秒刻みの忙しさです。それでもぜひ出たいとおっしゃって、私に「台詞の無い役にして下さい」って。台詞の無い役で目立つ役にしました。これはDVDがあると思いますから、借りて見て下さい。サンドイッチマンはずーっと最後まで出て来ません。最後の最後に台詞無しで出ますけれども、こういうことも脚本家の仕事です。

最初は宮城県と福島県でだけ放送されることになってました。実際、この2県でゴールデンタイムの2時間放送でした。そうしましたら視聴率がすごく良くて、ネットでもものすごく面白かった、良かったっていっぱい書いてもらったもので、こうなると全国からオファーが来るんですよ。うちでもやる、うちでもやるって。凄くありがたくって、もちろん、みんながみんなゴールデンタイムってわけにはいかなかったんですけども、結果的には全国で放送されました。

小説になったのは、放送があった後なんです。一般的には、放送になればもう普通はそこで終わりです。後はDVDを借りて見て下さいぐらいが普通なんですけど、潮出版社から突然連絡があったんですね。あれを小説にしませんかって言うんです。私全然考えていなかったし、他の仕事に入っていたので、小説はちょっと考えていないって言ったのですが、編集者は「でも東北はあれだけの目に遭った。日本海側の秋田や山形の人達も一緒になって、東

北を盛り立ててここまで立ち直って来てる。それが風化しちゃまずいでしょう。そう考えるとこれはテレビで放送するだけじゃなくて、小説にしておくとか後々までみんなが読むことができる。だから小説にするべきだ」って言われたんですね。それで私も東北の人間として秋田の人間として、確かにその通りだなあと、小説にした方が良いと思いました。それで仕事をひとつ後回しにして、小説を書いたわけです。

小説を基にドラマを作ることが多いですが、それがこれは逆なんですね。先にドラマがあって小説にした、つまり、ノベライズしたわけです。「小さな神たちの祭り」っていうタイトルは今私がお話したことと、全然合わないじゃないかと、小さな神も、祭りも全然出てこないでしょうって、必ず思われると思うんですが、小さな神たちは出て来るんです、小説でもテレビでも非常に大きな役割を果たすんです。どうして「小さな神たちの祭り」というタイトルにしたのかは、是非お読みになってみて下さい。「ああ、こういうことね」って気づかれると思います。

そして、震災とは関係なくても、大切な人を亡くした人達には、私は「大丈夫。皆向こうで生きてるからね」って言う思いが伝われば良いなって思っています。私事なのですが、実はつい一週間ほど前に、突然母が亡くなりました。それで先程告別式だったんです、親族だけで。母は自分の都合によって私や周囲のスケジュールを変えることをすごく嫌う人でしたから、私と弟は母のキャラを考えて、自分のスケジュールは変えないで進もうねと話しておりました。もちろん、私がこちらに来ることも、変更する気はまったくありませんでした。

あと1ヶ月で97歳っていう大往生だったんです。死因も「老衰」ですから、全然痛むとか手術するとか、そう言った事はなく、幸せに亡くなっていきました。私も人間が時間をかけて死んでいく状態を、ずっと見ることができました。見せてくれた母に、ものすごく感謝しています。

どのように亡くなるのであっても、残った人達がずっと覚えていて尊養をして、自分の人生に亡くなった人の人生が組み込まれていく。心が安らぎます。

今、震災からのドラマをお話しましたがけれども、最後に一つだけ、これは2021年の2月4日の魁新報に出ていたんですけれども、震災後のエピソードなんですね。この魁新報のエピソードはすごく良い話です。タクシーの運転手さんがやっぱり女性客を夜、乗せたんだそうです。何処まで行きますかと聞いたならば、彼女は津波の被災地を告げました。それで、運転手さん

はすぐに津波の被災地だなって思って、そのまま走ったんですね。そして走りながらふっと後ろを見てみたら、彼女は居なかったんだそうです。ここまではよく聞く話です。ところが、ここから先が良い話で、運転手さんは「ああ、女の方は自分の故郷に帰りたいんだな」って思って、お客さんがいないのに、そのままタクシーを言われた場所まで走らせたって言うんですね。私は何と良い話かと思って、東北の人の温かさを感じて今も心に残ります。

こういうわけで、このドラマはおかげで大変にうまく運んで、私も書きたい事が書けて、大変幸せでした。でも、ドラマ制作はとにかく大変なんです。書くのも大変なんですけれども、作るのが大変で、このドラマを例に言いますと、まず一番最初に執筆依頼があるわけですね。条件は無いから、震災にちなんだ話を一本書いてくれませんかという話がある。それで、スケジュールの問題やテーマの問題で書けなければ、いやー残念だけど書けないってことはあります。だけど、書きたい話があるということもあります。今私が申し上げたいような物語があれば、書きたいって言う。そして、企画会議を通す。今度はスケジュールの問題なんですね、いついつまでに原稿をくれと、それからどういう人が出るのかという大体の目途が欲しい。それによって主演俳優や主演女優、脇の良い人たちを捕まえなければいけない。良い俳優さんたちは皆本当に忙しいですから、キャスティングするためにも原稿を早くくれっていう事になる。だけど、書くためには色んな資料を読まないとなりません。現地にも行ってみないとなりません。嘘は書けませんから、まして震災のデータなんてのは私が勝手に作れませんよね。ここでこういう事件があれば面白いのって事も出来ないわけです。

大河ドラマを書いている時も、私は「ここで主役級が何で二人死ぬの？もったいない、一人ずつ死んでくれれば視聴率獲れるのに」って思っても、歴史的には二人一緒に死んでいたりする。致し方ない、二人一緒に死なせるかってなるんですけど、今回のドラマにしても、震災でこういうことがここで起きればいい展開になるんだけどと思っても、それは当然できない。その代わりに、私が作れるところは作る。で、プロデューサーと監督と相談します。私はこういう話にしたい、ここの部分をこうしたい、ここの部分はサンドイッチマン出られるか、ここの部分は千葉雄大大丈夫かって言う風にやるわけですね。そしてプロデューサーと監督とほぼ方向が一致したらば、私が書き始めます。

そして書き始める前に、以前魁にちょっと書いたんですけども、シナリオの書き方っていうのは小説と全然違うんです。だからシナリオは文章力が

なくても書けるんです。シナリオの書き方っていうのはどこで撮影するかっていう「シーン」と、そのシーンがどういうシーンなのかっていう「ト書き」の指定。あとは台詞、話し言葉の会話なんですね。シーンっていうのは、例えば「ノースアジア大学の何番教室」という指定、これが「シーン」です。そこに例えば「50人程の聴講生が座っている」とか、「内館が正面で話している」とか。これが「ト書き」です。そして「皆さん今日はお忙しい中、集まっていたいてありがとうございました。これからドラマのお話をいたします」、これは登場人物の内館の「台詞」なんですね。この「シーン」と「ト書き」と「台詞」で書いていきます。だからいわゆる「その日は空が青くって雲一つなかった」とかそういう文章っていうのは一切要らないんです。それは監督が撮るんですから、脚本家が指示するものではないわけですね。

そうやって書いていきますが、「おしん」なんかは一万枚書いてますし、大河ドラマも私は大体400字詰めで5000枚ぐらい書きました。今度このドラマでもシーンとト書きと台詞だけで書いていきました。たとえば「トンネルの中」、これはシーンですね。「祖父が運転するタクシーがトンネルの中を突っ走る」、これはト書き。で、「ちょっと待ってよ、道が違うよ」。これが台詞です。「運転手は無言で尚も突っ走る」と続いて、これはト書きです。こういう風にして作っていったわけです。

2時間ドラマですと、200字詰めで240枚ぐらい書きます。それをプロデューサーと監督が読むんです。その後、私と3人で打合せをします。「このシーンは納得できない」とか、「何で納得できないのよ」とかのやり合いが続きます。そのうちにお互いだんだん声が見つくなるんですよ。

このやりとりを丁寧にやって、「決定稿」と呼ばれる最終的な台本を出します。これは決定ですからこれ以上は直さないし、これで撮りますよっていうことですが、現場でも変更はあります。ここに至るまで大体3カ月ぐらいはかかりますね。毎日そればかりやって資料を読むからもっとかかる事もある、そうやってやります。

そしてそれと同時進行でキャスティングを、これはプロデューサーが決めてるんです。「キャスティングは脚本家が決めるんですか」ってよく言われるんですが、基本的にはプロデューサーの仕事です。ですから、「これは千葉雄大で行こう」と彼らが願って、千葉さんの事務所に聞いたらスケジュール空けますって言ってくれた。サンドイッチマンも台詞が無いなら東北の為スケジュール空けますって言ってくれた、こうやって決定稿が出て、キャスティングも決まった。

それから制作記者発表があって、撮影に入ります。撮影に入るともう脚本家に用はないかって言われると、これが撮影に入ってもまだここ書き直してくれとか、出て来るんですよ。「大至急、内館さん来てください」とか電話があって、行くのはロケ地の場合もあればスタジオの場合もあるんですけど、行きます。「ここちょっと直してほしい」とか言われて、「なんで直すんですか」って。今回の場合はそういうことは一切無かったんですが、連続ドラマになりますと出演俳優が急病とか怪我しちゃったとか、本当にあるんですよ。で、2週間どうしても撮影に出られない、だから2週間出さないように書き直してくれて事が出て来るんですよ。2週間その急病の俳優だけが出られないって言う事で書き直すのは出来ます。ですが、これジグソーパズルみたいなもので、バラバラに撮ってるんですよ。ドラマっていうのは。無駄を出さないために、教室のシーンだったら教室のシーンをまとめて撮るんです。だから連続ドラマの1回目に出て来る教室、5回目に出て来る教室、7回目に出て来る教室、バラバラの回なのに、まとめて同じ日に撮っちゃうんです。そうすると1回目にですね、まだ病気してない女優が出てしゃべってた、偉そうに見得切ってた、そういうシーンを私が書いている。ところが、5回目でその女優が急病をしたから5回目・7回目が出さないでくれて言われても、1回目で偉そうに言った事の処理をしなくちゃいけないんですよ。そうすると、処理をするだけじゃなくて、その女優が誰かを相手に喋ってる、「アンタさ、私絶対に言う事聞かないわ、おかしいと思わない？」って言うのと相手の女優が「絶対おかしいよね、おかしいわよ、やっつけちゃおう」みたいな事を二人で喋ってるとする。この話し相手の女優も消さなきゃいけないわけですね。ですが、その話し相手をも消すのが良いのか、その女優が居る事を活かして別のシーンにするのか、って緊急にその場でやらなきゃならない事になります。ですから、脚本家になりたいって志望者は凄く多いんですけども、私は少なくとも胃袋丈夫じゃないとやっていけないなと思っています。一番大事なものは胃袋だって言ったらふざけるなって言われた事があったんですけども、本当なんですよ。

私デビュー間もない時に恩地日出夫というもう大スターの監督と組んじゃったんです。あんな偉い人とデビュー作の私が組むなんてありえません。でも組んで、17回書き直して、やっと決定稿が出てもう安心だと思っていたら、ロケ地に呼ばれたんです。それでなんだろうとすぐ行ったならば、ロケ地で「あ、内館くん、これ直して」って言うんですよ。それ女優の怪我とかではなかったんですよ。監督が撮る上で納得できなくて、ここを直して、

ここに台詞入れて、こういうシーンにしてって命じられたんです。その上、「これ次に撮るから急いで書いて」って。「次に撮るんですか？」って驚いたら「ああ、急いで書いて」と。書こうにもそのロケ地って言うのが土手っ原だったんですね。遠くを南武線が走っていて、すごい広い土手で机はもちろん、鉛筆は私持っていました、書く場所が何もないんです。どうしようと思ってたら、また「早く頼むね、次撮るんだから！」って言われて。そうしたらプロデューサーがちょっと小太りだったんですけども、こうやって体を丸めて背中を貸してくれて、これを机がわりにして書いてって言うんですよ。「わかりました。すみません」って小太りの背中がなんかすごく肉っぽくて、原稿用紙が埋まっちゃうんですけども、そこに書いたって事がありました。

今回のドラマは上手くいって評価もいただいて、とても嬉しかったし、何よりも世の中で言われるのは、良いドラマを作れば視聴率なんかどうでも良いじゃないか、最近は視聴率視聴率言い過ぎるんだ、って事をよく言われます。私も確かにそれは一理あると思います。ただ、作る側としては、視聴率ってのはすごく大きいんですよ。例えば農家の人は、すごく美味しい大根を作った、素晴らしい大根だと。こんなに素晴らしい大根は滅多にないから、私は売れなくても良いって思うものではないでしょうか。私やっぱり大根は素晴らしければ、買って食べてもらわないと意味がないと思うんですね。それと同じでやっぱりテレビのドラマやバラエティは、ニュースでもそうです、あらゆるものはやっぱり見てもらいたいんです。だから視聴率って言うのは非常に大きな大事なものになってきます。

今回はこのドラマはTBCの祝60周年をうまく飾ることはできましたので、すごく良かったなあと思っています。この後は私のドラマはしばらくないんですけれども、「今度生まれたら」というドラマがNHKのBSで松坂慶子さん主演でやっているのが明日最終回です。その後は泉ピン子さんの舞台があって、それはもしかしたら秋田にも来るかもしれません。ピン子さんとこの前会ったら「内館さん、秋田に呼んでって言ってよ」って言われたんです。「行きたいのよ」って言うから「わかった、とりあえず言うてみるわね」って答えたんですけれども、どこのどなたに言ったら良いのかよくわからないんですけども、泉ピン子さんが「すぐ死ぬんだから」って言う私の小説を舞台にします。舞台と言っても朗読劇なんですね。泉ピン子さんは「これは私の集大成だ」と最後の仕事だとまで言われまして気合が入ってますから、もし秋田に来たら是非ご覧になって下さい。

男も女も年を取ったら取っただけ、まず中身よりも外見を磨こうっていう

恐ろしい話なんですけれども、中身の濃さは傍に行くと喋って見ないとわからないけれども、外見っていうのはすぐわかる。だから薄汚い年寄りになってはいけない、年取ったら外見だよっていう話を書いたんですね。年取った夫には、若い頃にできた隠し子がいるんです。そしたらピン子さんが「これ私の問題じゃないか」って言って、ご主人に「これ私の事書いてるよ」って言ったら、ご主人は「本当だ、面白いな」っておっしゃったそうで、笑いました。ピン子さん記者発表でそれを仰ってましたけれども、秋田にもし来る事があれば、是非見ていただきたいと思います。

本当は質問を受けたい所なんですけれども、私、風邪のせいで左側の耳が聞き取りにくくって、まだクリニックに行ってるんです。日常会話は全然困らないんですけども、これだけ喋ってますし。ですからもし質問がある方は、ノースを通じて私に言って下さって構いませんし、或いはまた次に別のテーマで来ますから、その時にいらして下さい。その時までにはもう直ってますから、ご質問していただければと思います。もし聞きたい話があれば、テレビドラマの作り方もなんでもそうなんですけれども、聞きたい話があれば、大相撲の話でもいたしますから、仰って下さい。本当に今日は長い時間ありがとうございました。

道 端

内館先生、どうもありがとうございました。もう一度大きな拍手をお願いいたします。この後、小さな神たちの祭りっていうタイトルはなぜ、こう付いたかっていうのは是非読んでくださって事でしたので、是非この『小さな神たちの祭り』を購入して読んでいただきたいと思います。今日はありがとうございました。以上をもちまして講演会を終了させていただきます。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「参議院選後の政局・経済・外交」

講師 白鷗大学 名誉教授
ノースアジア大学 総合研究センター客員教授 福岡 政 行

司会 ノースアジア大学総合研究センター長
本学法学部教授 道 端 忠 孝

日時 令和4年9月3日 午後1時00分～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館271教場

道 端

こんにちは。ようこそノースアジア大学総合研究センター主催の講演会にお越しいただきました。誠にありがとうございます。本日司会を務めます総合研究センター長の道端と申します。どうぞよろしく申し上げます。

本日は、福岡政行先生をお迎えしております。今一度、大きな拍手をお願い申し上げます。

福岡政行先生は、白鷗大学名誉教授で、本総合研究センターの客員教授で、政治評論家としてご活躍なされております。また、ボランティア活動にもご尽力なされております。

本日は「参議院選後の政局・経済・外交」という演題でございます。皆様の手元のレジメに今、本当に懸念しておりますロシアのウクライナ侵攻とか、あるいは台湾有事とか、そしてまた国内の岸田内閣のこととか色々書かれております。それでは、福岡政行先生、どうぞよろしくお願い申し上げます。

福 岡

コロナ禍で、日本人全体が引きこもり状態になり、何となく外にみんな出ないようになってしまいました。先日、医者と話をしていたら「それが一番認知機能が低下する。やっぱり人と会い、会話をしないと脳の活性化にならない」というようなことです。

本論に入る前に、大切な話というか、重要な点をまず5点話をします。まず、1点目は今話題になっている円安140円です。今年の一か月、二月は115円でした。ファンドの友人が10万ドルくらい買っとけよ、と言いました。1万ドルで115万円、10万ドルで1,150万円、今日売れば1,400万円ですから、そういうのが財テクだそうで、私はやりませんが、ファンドの友人はそれを億単位でやっています。テレビで色々言っていますが、それは簡単なことです。公定歩合上げられないんですね、日本は。もし今の0金利に近い0.025いくつをですね、1%あげるとしたら国債の残高が1,100兆円になります。それだけで10兆円ですよ。国が持っている分は別として、9兆円くらいだ。それがいわゆる予算の時の国債費、国債の利払いとか、国債を返すというのが今25兆円ですが、これが9兆円増えれば34兆円ですから、こんなことになったらもう予算組めないということで、誰も言いませんが、公定歩合を上げることは出来ない。アメリカはどんどん上げていけばその差額だけで、日本のとにかくドル持って140円だったら売上いいんだという

のをパソコンで瞬時にやっているそうです。これがいわゆる日本の円安は140円はいくだろうと先週山形に来た時言いましたがどうでしょう。145円になるのか、このまま日本は上げられないことは分かっていますから、アメリカが上げていけば150円というようなことにもなるかもしれないということで、この問題、円安、ちょっと頭の片隅に入れてください。

2点目、国葬の問題なのですが、前回来た後の7月8日金曜日の投開票日の直前だったと思います。11時30分頃にニュースを見ていたら突然携帯のメールが3本くらい入りました。関西に行っている教え子の記者から今、安倍元総理撃たれました。画面では撃たれて倒れるシーンはどこもカットしていますが、私はあるところで見させて頂きました。安倍晋三が倒れるあの時のシーン、どうみたって後ろ側のガードが一人もいない。警察庁長官が変わりましたが、これがこの国の危機感の無さの現実です。この国葬、大和西大寺という奈良県の駅に多くの人が花束を持って、そして東京の葬儀でも、相当の一般の人が並んでいました。この国葬の問題は岸田の早とちり、いやほんとに奈良西大寺駅前や増上寺、そして、日本武道館での花束を見て、これをやれば俺の人気は上がると思ってやりましたが、そう考えたって、森友事件はどうするんだ。彼は国会に嘘ついたんじゃないの。赤木さんは自殺と言いませんが、自死。あれだけ改ざんさせられて。私は「森友事件の時にいちばん悪いのは佐川じゃないですよ。迫田という山口高校、東大の佐川の前の理財局長、国税局長ですよ」とTVタックルで発言して、放映された翌日、チーフディレクターがゼミの後輩ですから、上から福岡はもう使わないように言われ、もう丸々東京の3年テレビ出ていません。

3点目、警察庁長官の前の中村格。彼は今日報道特集がありますから見てください。あれに出てくる切れ者のハッキリと物言う人は、昨日付で主役から外されました。筑紫哲也、最後の弟子です。彼がああ3、4年前にTBSの記者で、山口敬だったか。フリージャーナリストの伊藤詩織さんという女性を恵比寿の寿司屋で、ご飯食べさせて、その後1杯飲み屋に行って、そのお酒に眠り薬を入れて恵比寿の駅前の超高級ホテルに連れ込む映像が全部ある。彼女が動けないまま抱かれて入って行って、それでフロントにも寄っていないのもう予約をしてあることが分かってる。鍵も持って。それを高輪警察のあの時の署員が、成田空港に山口がアメリカから戻って来た時に、逮捕状持って「逮捕」と言った瞬間に、本庁の刑事局長だった中村格というのが

「これは所轄の仕事ではない。高輪署の仕事ではない。本庁の警視庁の仕事である。お前ら手出さないでそのままスルーしろ」です。山口はTBRビルの隣キャピタル東急ホテルに長い間寝泊まりしていました。退職金7,000万円は貰って。引責辞任なんだから、半額でいいのではないかと思いました。安倍晋三さんだってどう思っているのか分かりませんが、そういうような思いが実を言うことがあります。

4点目、萩生田政調会長。彼は早稲田実業高校なんです。彼は2回停学処分、2カ月くらいです。それは、あの高田馬場というところは分かるように色々な大学、いや高校があります。朝鮮高校もあの近くにあってそこでよく喧嘩をしてるんです。民族の対立みたいな。そこへ正義感の強い、当時ですよ、萩生田はガタイの大きな男ですから、中に入って止めてたんです。「やめろお前。皆同じ人間なんだ」みたいなことを言って。それで2回停学処分になって、早稲田実業から、どんなアホでもということではありませんが、早稲田のどっかの学部には余程のことがない限り入れるんですが、彼は2年遅れくらいで明治大学にやっと入ったということなんです。それは正義感の強い、なかなかの男だよというのを私の後輩で、彼の仲間が言ってました。それがどうしてあんな男になっちゃったのか。前に写真で安倍晋三さんの山中湖の別荘のBBQ（バーベキュー）やってるところに萩生田が一生懸命焼いてるんですね。彼はおそらくどっかで1度選挙落ちてから衆議院落ちたんです、3回目ぐらいの時に。その時に八王子にある旧統一教会、ここに協力を願ってかなりの支援を得てました。そして同時に安倍晋三さんが旧統一教会に関わっていると言ってもいいでしょうが、その関係で安倍さんについていけば自分も偉くなれるとって、そんな正義感の強い男がズブズブのああいう人間になる。人間ってそう変わる人と、変わらない人がいる。

5点目は、ウクライナと原発です。これ本当にIAEAが常駐してくれない限り、ほんとにプーチンっていう男、後で触れますが、彼は負けを認めるタイプじゃない。おそらく本当に危なくなったら戦術核をこの原発に打ち込むか、最悪ウクライナの首都キーウでそういうことを平気でしていくようなことで、私はあの、岸田政権が新しい原発を作るんだとか、今の燃料棒が壊れたのがある所を水槽にして水溜めにして、そっから燃料棒を取り出してそれをテレビ新聞が、かっこよく書いてますが、取り出した燃料棒、デブリ、どこに送るんですか。そんなことも分からないで、チェルノブイリだってまだ

まだ大変な放射能が残っている。そして、この日本の福島もです。

岸田首相の話に入ります。

岸田文雄。開成高校で2年浪人して、赤い門に入れなくて、稲の門に入ってきて、私の後輩になりました。その関係で色んなボランティアをやりました。盲導犬や広島土砂災害の問題、1回だけ来ますが、2度目から来ません。これも触れたと思いますが、3年ほど前に広島土砂災害があり、金曜の夜だと思いますが、木曜の夜か。赤坂自民亭で安倍晋三を囲んで、6、7人が酒飲んで、赤坂自民亭。その、真ん中で嬉しそうに酒飲んでる岸田文雄。それが、ネットで流れて、中国放送はRCCの社長が私の後輩ですから、番組でそれが出た時、どうですか福岡先生と聞かれ「政治家失格だね。自分の選挙区が土砂崩れになりそうな時、夜の9時であろうと10時であろうと車飛ばして10時間かかったって、自分の選挙区に戻る。そんなことは政治家としての原点だろう。政治家失格だな」厳しくバチンとコメント。翌日夕方、RCCから電話があり、もう来週から結構です。広島県立大学の先生も今月で終わりにさせていただきます。わかりやすい。でも私は行きますが、そういう圧力がある。当然の事ながら政治家失格って言われりゃねえ。でもそんな先輩ですみませんでした。私が悪かったです。

元松阪市長だった山中光茂という医者。私の約束していた名古屋の飯会。電話かかってきて。松阪で集中豪雨、私先生申し訳ありませんが行かなければなりません。そうだな。早く住民の皆さんのところ行ってこい。それが、政治家としての原点だというのですが、この辺が実を言うと日本の国にはない。岸田という男、ちょっとそういうところがあるのかなという印象を持っています。

彼にもうひとつ岸田内閣でトラブルが出てきたら森喜朗さんの1件が大きくなるか、今、萩生田以外にある自民党の大物議員がかなり関わっている山際秘書が旧統一教会に関わっている話がかかなり公然と出てきました。実を言うと何人もそういう人がいるらしいというのが、調査があります。もう支持率が30%台に落ちました。30切ればイエローカード。20切ればレッドカードで1発ですが、ちょっと、もしかしたらということで、早いですけど、ポスト岸田というのをここに書いてみました。

本命は河野太郎がかなり本気で旧統一教会絡みの問題をやっています。あの中に紀藤弁護士も入っています。女の人も、元衆議院議員が入っており、

気をつけて見てください。上の名前、結婚したので名前は変わってます。これが8人ぐらいの会が、かなり本気で、河野太郎はそういう男です。計算できる男なので、「これやれば俺が総理大臣になれるな」って思っているの、おそらく相当な勢いでやり、もし何人か「え？」って言う人が出てきたらもう国民の人気は河野太郎で、ポスト岸田に、他の人は居座れなくなります。ただ、彼には本気で支えるという人物がいない。彼は慶応大学出身ですが、私の信条である「義理と人情と恩返し」という言葉はほとんどないので、あまり付き合っていません。この河野太郎だけちょっと見て頂いて、小泉進次郎も本気で河野太郎という風にはなっていない、というようなことなので、注目をしておいて下さい。

対抗馬は林芳正外務大臣です。彼も東大を出て、銀行行った、2世か3世議員です。参議院議員から衆議院議員に変わりました。英語はペラペラだし頭はいいし、リベラル派です。中国といい関係です。ですから中国は林芳正がきてくれれば何とかなる。ただこの人も今からもう20年以上前、赤坂で飲み食いしていましたが、「先生大学どこですか？」って聞かれて、「はあ、あの都の西北大学です」というと「ああ、私立ですか」と。悪かったなとは言いませんが、もう東大、ハーバード大系の間人で、ちょっと嫌味の心がある。ただ優秀で、なかなかあの複眼利きというか、色んな角度からものを見ることができる。いいブレーンが付いたら、やるかもしれないと思います。

穴として、茂木敏充という幹事長。私先週、栃木の法人会行きましたから足利法人会のみんな来ていて、「先生。彼とは合わないから辛いでしょ」っていうから、まあね。足利法人会で講演をして、6時から懇親会がある時に、彼はそこだけ来るんです。「先生しばらくです」と、一言だけ頭下げます。そしてマイク持って、ゴー。「私は話を聞いていませんが、福岡先生のいい話があったというのです」余計だ。そして最後に一言。「これから申し訳ありませんが、私霞ヶ関でまだ会合が残っていますのでこの後、戻ります」たった5分。全部入れて10分。彼しかいないから当選してますが、彼を周りで支えるという人物がいない。頭はそれこそ東大、ハーバードのもう抜群の間人です。まあ、そういう優秀な人ですが、どうですかね。だから人望がない。

後は西村大臣、何かいっぱい買い物、お土産を買うんでSPは2、3人付いてないと持てない。もちろん自分でお金払うそうですが、立て替えは計算書出したり、総理官邸サイドがする。というような事です。まあ、何人かいますが、どれもこれも2世議員が多いので、人の心の付度をして悪かったなあ、とか出来ない。こいつのためなら死んでやるって言うのが数人いない

と。

私はもしかしたら、本当に菅さんがもう1回出てくるという可能性はなくもない。本当に国葬の後、岸田がガタガタッと落ちた時、自民党の長老は集まります。すぐに河野っていうわけにいかないだろう。どうすんだ。菅義偉さんに1回やってもらおう。1年しかやってないんだから、というような話は、鈴木善幸さんの時にも出ました。ここは、つなぎ。こういうようなことがちょっと秋田の講演会で言いにくいですが、まあ、新聞記者が来てないので、ちょっと頭の片隅に置いていただいて、これから出番が菅さん出てきた時に、なんかニコニコ、ニコニコしてますから。えー、どうぞ、注目をしてください。

女性は高市早苗、これも前回ちょっと言いましたが、安倍さんが亡くなってパツパツ。やっぱり彼女を支える人がいなくなりました。松下政経塾の教え子です。本当にあの一生懸命で、頭のいい子ですが、なかなか出すぎるかなという。それ以上ちょっとコメントしませんが。

野田聖子さん。毎年300人ぐらいの忘年会を、私の岐阜の友人の建設会社がやります。そこへ必ず挨拶に県知事と野田聖子が来ます。

1番可能性あるのは小淵優子。稲田朋美よりも小淵優子の方の可能性が高いですが、日本という国はなかなか女性がね、トップになるのは難しい。

旧統一協会について。ネットで旧統一協会を見ていけば、岸信介というのが必ず出てきます。帝国ホテルで、今から20何年か前、福田赳夫、大蔵財務大臣と共に文鮮明を呼んで500人ぐらいの会をやった。それが岸信介であります。そうやって見ていくと、岸家と安倍家は絡んでいるんだと思えば、安倍晋三という名前がおそらくネット検索では出てくる。そのことで、山上は奈良に来るというのを、インターネットで調べて、確認をしているようなことであったと思います。旧統一協会、本当にあの警備の仕方は、大問題です。特に後ろ側が空いているということも含めてですが、結果的には悲しい結末でした。この岸信介という人物は、おそらく旧統一教会を日本に招き入れた。岸家の隣がかつて、旧統一教会の建物でした。そういうことが全部分かってくる。

経済ですが、本当にこの物価高。そして、ガソリン代は国が持つそうですが、月々2万品目を超えて、これおそらく来年まで続きます。困窮家庭はどうでしょう。年収が100万円もないような国民年金の人や、ひとり親の子

供たち。困窮家庭に月3万でも5万でも補助したのがいい。国債の残高がこれだけ増えてきたら、もう公定歩合は上げられないで、円は140円から150円になるという冒頭の話は、ぜひ知っておいていただきたいという風に思っています。

ウクライナの問題で、ソフィアローレンのひまわりという映画が最近BSでかかったと言いますが、大変綺麗なひまわりの畑が出てきます。この舞台の撮影場所はウクライナにあります。標高が400メートルぐらいの小高い山の穀倉地帯です。ですから小麦とか、ヒマワリの種など、7割ぐらいが耕作地だそうです。そこにザポリージャという原発もあります。このひまわりという映画にも見られるような美しいところ、小麦、これが黒海トルコを經由して、アフリカの子供たちの重要なご飯、食べ物になります。先ほど出た松阪市長の山中光茂という男が、私が政経塾で教えた後、元々群馬大学医学部出身ですが、「先生、アフリカ行ってきます。栄養失調の子供たちの状態をケニアで診てきます」と、1年間行って戻ってきて、松阪市長を8年やり、さっと辞めて、今は江戸川区で訪問医をやっています。

看護婦さんの奥さんと2人で自動車に乗って「年間4、50人お看取りしてきます」と。なかなかの男だなんていう風に思います。

そのことを含めて、アフリカの子ども達へ、何とか、ウクライナの小麦が届いて欲しい。日本ももちろん、小麦をウクライナから買ってますけども、何とかしたい。そういうような思いです。

プーチンが、彼のトラウマ。1989年11月9日、ベルリンの壁崩壊の時に、彼はKGBで東ドイツにいました。共産主義がもろくも、壁とともに崩れて、悲惨な状態になるのをしばらく何ヶ月間見て、それでモスクワのクレムリンに戻ります。そして、その翌月にゴルバチョフが死んだ。ゴルバチョフはアメリカのブッシュと手を組んで、東西冷戦が消え、ノーベル平和賞をもらう。そして、プーチンは共産主義を守り抜くということで、どんどんクレムリンで地位を上げていき、最終的に首相から大統領になり、ウクライナの弾圧ということになる。これが、いわゆるプーチンのトラウマなんですね。彼は辞めません。最後辞めるのなら死ぬか、戦術核を撃つ。ヒトラーは、最後に奥さんと一緒に自爆しました。プーチンは。簡単に死ぬような性格ではない。だったら、戦術核を打ち込んでから負けそうになった時、自爆するか、何かそういうような気がします。これは、これから半年、1年、ウクライナ危機

というよりも、プーチン危機。このことが日本の中に出てくるのかなというような気がします。

台湾有事の問題。中国本土、香港と台湾、同じ国なのに、いろんな争いをする。今、香港も弾圧を続けてますから。台湾だって死ぬ気で戦う台湾有事。おそらくバイデンは台湾有事の時だけは当然、沖縄の米軍基地から飛行機出します。潜水艦が実を言うと4隻ぐらい、沖縄周辺に潜ってます。おそらくやと思います。習近平はそのことは十分にわかっているので、彼は計算高い男ですから、おそらく最終的には話し合いに持ち込む。

経済的に、日本への貿易輸出量は、原油を群を抜いて大きいです。これを0にすることはできない。最終的にはどっかで決着をする。ただ、軍隊がやることがないと、何かやりたくてしょうがない。空軍はともかく海軍は多いですから、昔からありますから、それが勝手に台湾、あそこ海峡を行ったり来たりしてる。それが現実です。どっかでぶつかって、無人の飛行機やドローンがね。もう台湾上空まで来てる。打ち下ろす時にちょっとしたことで、トラブルが出てくるのかなというような気がしていますが、とにかく大変な状況が広がっている風に思っています。

本当に台湾有事になるかどうかは、習近平とバイデンの性格から、ならないと思いますが、一触即発。

伊藤忠総合商社、伊藤忠だけがこの20年、文化大革命後も中国と連携してます。三菱商事や三井物産はやってませんが、伊藤忠だけは水面下ですとやってます。今度、神宮球場と秩父宮ラグビー場が入れ替わります。全面的に建物が変わります。神宮球場の野球を今度よく見てください。伊藤忠の看板が圧倒的に多いです。あの、そばにありますから。それは、おそらく地下から神宮球場に行ける、いろんな意味でやり手であるということで、2代前の社長が先輩である時、ふっと触れました。中国は核を持っている。ロシアはもちろん、北朝鮮も持ってる。日本の3つの隣の国、隣国みんな核兵器持ってるんだよ。こんな状態で喧嘩なんかできないだろう。広島、長崎、福島、日本は3度被爆してる。そういうことを伊藤忠の大先輩に言いました。中国、核兵器を手にしなからチラチラする。ロシアも、今回のウクライナ問題で。

鈴木宗男さんと、私は2島返還論者です。歯舞、お金出して、取り戻すことに随分怒られました。国後に3,000人の缶詰工場を作って、ウクライナとか、ロシアから人が3,000人来て、日本からニチレイかなんかの缶詰が

入って、あの辺の魚を缶詰に加工する。20年経ったら日本に返す。そんな二島返還を戦略的ですが、と言っていました。それも、もう今のプーチンってのは難しいです。北方領土はダメでも、台湾有事は何とかなるかもしれない。

北朝鮮、これもちょっと難しい。というようなことを感じながら、核を持つ3つの隣国と付き合うのか。マキャベリズム、100点満点はない。TVタックルで、拉致問題について、相手の言いなりになるふりをして、目標を達成するのが外交の原点だと、激しくやり合ったところを全部カットされました。というようなことを含めて、これが実を言うと、ウクライナ問題、台湾有事の問題であるという風にお考えいただいて、結構であります。

結論部分に入ります。おそらく、世界の今、調停役になって、来年か再来年のノーベル平和賞は、フランス大統領のマクロン。本気でもって、ヨーロッパを1つにしています。

マクロンは、非常に情熱家で話し出すと切りがないほど喋るそうです。ですから、唯一プーチンもマクロンの時だけは、何回かに1回電話に出るそうです。それで、一応話は繋がるので、西側もこのまま行ったら、アフリカの子ども達が大変だということをプーチンに言って、この国民の問題含めて、じゃあ何とかしよう。本当にザポリージャに核が落ちたら、1番被害を受けるのはどこ、トルコからギリシャの南、南西側だと言われてますので、トルコの大統領もプーチンには話をしているらしい。これが今1番新しい情報で、マクロン大統領の動向をフランス大使館を中心に、みんなでしきりに追いかけている。これが今の現状であります。新しい原発は小型、フランスで作ってる。そんなの作ったって、やりようは問題じゃないですか。核のゴミを捨てる場所を見つけてください。アメリカは北西部の砂漠の中に、あのデブリ等々の放射性物質は置いてあります。ロシアもシベリアのなんか奥地の方に置いてある。シベリアに買ってもらえますかね。そんなわけにいきません。何でじゃあ地球温暖化で二酸化炭素の問題がある時、太陽光パネルや、自然再生エネルギーの話が出てこないのか。頑張ってやりましょうよ。セブン・イレブンホールディングスの前のCEOが大学の同級生です。亀井という男ですが。彼が何年か前からやってたのはセブン・イレブンの屋上に太陽光パネルを作ってたそうです。最近になってそれを聞きました。

3.11の時からボランティアを福祉大の学生と続けています。イトーヨーカドーのホットカーペットは、被災地の仮設住宅60何世帯みんなへ。亀井CEO、おそらく彼の自腹だと思います。他にも支援をくれたダイソー、ヤ

クルト、東急ハンズ、アイリスオーヤマ等々、そういう経営者がまだまだ日本の中にいる。その事が、何となく半分嬉しくて。そんな思いでボランティアを続けています。

今、南三陸の人達は、体育館から仮設、そして、新しい家が高台にあります。あの3.11の半年後ぐらいの10月。炊き出しをしてる時に言われて、東北では収穫出来ない蜜柑が食べたいと聞き、静岡県の三ケ日の友人に「みかん10箱くれ」「自分で取りに來い」と言われ、私は福祉大のゼミ生4人を連れて行きます。蜜柑畑って全部坂ですから、私はへろへろです。「お前根性なしだな」と、三ケ日の友人に言われながらも、福島県相馬市の幼稚園へは毎年収穫した蜜柑を送り続けています。

皆さんの支えがあつての「できることからボランティア」の活動は、学生の学びの時間となっています。

ご清聴ありがとうございました。

道 端

福岡政行先生、どうもありがとうございました。これからもぜひよろしくお願ひ申し上げます。

今日はどうもありがとうございました。以上で講演会の方は閉じさせていただきます。足元に気をつけてお帰りください。どうもありがとうございました。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「どうなる岸田政権」

講師 読売新聞特別編集委員

ノースアジア大学 教育諮問委員

ノースアジア大学 客員教授

橋 本 五 郎

司会 ノースアジア大学総合研究センター長

本学法学部教授

道 端 忠 孝

日時 令和4年9月24日 午後1時30分～3時00分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館271教場

道 端

これより、ノースアジア大学総合研究センター主催の講演会を開催いたします。足元の悪い中、この講演会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日司会を務めます、総合研究センター長の道端と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は橋本五郎先生をお迎えしております。今一度、大きな拍手をお願いいたします。橋本五郎先生は読売新聞特別編集委員として、本学の客員教授、更には教育諮問委員を務められておりまして、政治評論家としてテレビなどでご活躍なされております。本日の演題は「どうなる岸田政権」でございます。橋本五郎先生のテレビ番組に「五郎が斬る！」というテレビ番組がございますけども、本日はですね、この岸田政権をバサッと解明していただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

橋 本

こんにちは。よろしくお願い致します。このタイトルを付けた時には、どうなっても「どうなる岸田政権」で良いだろうと思ってたんですけども、段々ちょっと怪しくなってきた感じですね。去年発足して、そして衆議院選で勝って、参議院選で勝つと。参議院選は3年に1回ですから3年間選挙ないんです。それから衆議院選挙は一応任期が4年ありますから、去年衆議院選挙やってるわけですから、そうしますともう4年間やらなくて済むと。まあちょっと固定観念なんですけども、そうすると国政選挙が無ければ思い通りの事が出来るのではないかと、国政選挙が無ければこの人の中では選挙は戦えないという批判が出ていくということで、去年の参議院選挙を勝利した後は「黄金の三年」になる、これからは寝て暮らせるわけではないけど、そんな支持率にあまり一喜一憂しないて出来るのではないかと、この岸田政権は案外長いのではないかとこの見方さえあった。私はしかし、その時も言いましたけれども、そんな黄金の三年なんて無いんだよと。今まで長期政権になると思って長期政権になった試しはない。例えば竹下登の時は長期政権になると皆思っていた。というのは自民党の中で圧倒的に田中派が力を持っている。それで「安竹宮」、すなわち安倍晋太郎、竹下登、宮澤喜一、このニューリーダー3名で、おそらく10年やるだろうという具合に思われてたぐらいです。その先陣を切って竹下がやると見られてたんですけど、そんなことはない。あの時はリクルート事件、農産物の自由化、消費税、色んな事があってあっという間に政権交代した。そうやって見ると逆に長いと思われていないのが意外に長くなったりするというのが今までの例なんです。例えば佐藤栄作内閣、池田勇人の後に佐藤栄作が出て来た。あんなに長くなるとは思わなかった。

ところが幸運に色々恵まれたわけですよ。まずライバルが次々と死んでいくんですね。河野一郎、大野伴睦、そして高度成長。当時は黙ってても経済は成長していた。そうするとこれは何をやっても成長したんだなって話になるわけだから、こういう色んな要素が重なってあれだけ長くなったわけです。7年8カ月という連続した政権としてはそれまでで最長でした。それから小泉純一郎、5年5カ月やりました。これも、誰も長くなるとは思わなかった、僕らもです。ぼきっといくんじゃないかと思った。本人もそう思ってたんでしょ。ところが5年5カ月やるわけですよ。中曽根康弘、これも1年ともたないと思われてた。なぜかと言うとあれは田中角栄が作った内閣だから。角さんから「お前ダメだ」と言われればそれでもうおしまいだから。と言う事で中曽根内閣があんなに長くもつとは思わなかった。ところが小渕内閣なんかもそう。1年持つとは思わなかった。しかし、意外に持ちましたね。だからね、違うんです。長く持つと思われてたのが逆に持たないんですよ。短いと思われていた方がむしろ長くなるというのが今までのケース。だから私は黄金の3年なんてそんなことはない、何があるのかわからない。まさか旧統一教会の問題が起ころうなどとは思わなかった。安倍さんの国葬の問題がこういう形でなるとはそんな事は思いもしませんでした。それにしても、「政治は一寸先が闇！」です。これは自民党の川島正次郎という副総裁やった人の言葉です。政治は一寸先が闇なんですよ、わからないんですよ。それを固定観念でやると間違っちゃうんです。そんな事いわれりゃ政治だけじゃない家庭だって一寸先は闇、ってわきゃないでしょうけど、まあ人の運命なんかわからない。だから私だって、そこを通りかかる時、上から物が落ちて来て亡くなるかもしれないとか考えるとそんな事はわからない。だから政治において一番気を付けるべきは、もうこのぐらいできるのではないかって油断しちゃうことですよ。それが一番やっぱり良くない。さあそういう事で見ると、岸田政権っていうのは支持率が高い状態で、ズーッとスタートするんですよ。大体半年間でガクンと落ちるんですよ。今までの例で言えば第一次安倍内閣、その後の福田内閣、それから麻生内閣、それから鳩山内閣、その後は菅内閣、そして野田内閣で、これは支持、不支持のグラフで見ると皆、『X』なんですよ。最初高くとも、どんどん下がっていくわけですよ。というのも最初期待がありますからね。この人何かやってくれるだろうと、新鮮さもある。最初そう思うんですよ。ところが期待通りいかない。そうするとどんどん下がる、不支持が増える、もうみんなだから『X』なの。私は『X』の政治学と言っているんですけども、ほとんどさっき挙げた第一次安倍内閣から

6人、内閣はこういう運命を辿ってるんですよ。一度下がると上がらないんです。ただ例外があって、例えば小泉ね。小泉は5年5カ月やるんですけども、一番下がったのが田中真紀子を首にした時、支持率が半分になっちゃうんです。あれは二〇〇二年の一月でした。そして下がった状態をグーンと上げたのが北朝鮮の電撃訪問、拉致被害者を連れて来て、それでグッと上がるんです。だから強い内閣というのは上がったたり下がったりする。中曽根内閣もそうでした。下がるとこれは大変だっていうので色々やるわけですよ、緊張するわけです。それでそういう中であって、安倍内閣っていうのは、これは平和安全法制の時も、それから森友の時も下がった。下がるんだけどすぐ一カ月後、これは戻るんですよ。何故なんだろうと、後で国葬問題の話もしますけれども、これは極めて特異な内閣。まあ色んな説明あるんですよ。一つは安倍を支える支持層、コア層は例えば若手、若い人の支持っていうのは圧倒的に安倍内閣はあった。ここはそんな何かがあったからって変わらないわけですよ。だからコアの支持層をどれだけ捉まえているか。よく右寄りとかって言うんだけども、それ右の人も居ますけれども、右だけじゃなくって、若い人、なんで若い人が安倍晋三、そしてお年寄りの人が安倍内閣を支持しないんだろうと。これもまた理由がある事で、一つは、安倍の場合は、雇用が改善するんですよ。民主党政権の時から安倍政権になって、確実に雇用が改善した。これ若い人にとって働き口があるっていう事は大きいですからね、これが一つ。それからお年寄りが、安倍が嫌いかって何故かと言うと、なんか戦前に戻ろうとしてるんだろうという警戒感ですよ。今度の国葬の問題についても、そういう所があるんですよ。まあ大体お年寄りになると安倍晋三なんか若い小僧みたいな感じになってるから、そういう目でも見る。ところがそのコアの若い所、それから自民党の右寄りの所、ここは確実に掴んでる。そうするとそこは動かない。よく言いますね、宗教団体もそうなんだけども、統一教会なんかでも、外から批判されると、内部が固まるわけですよ。なんだという感じで。と言う事で、むしろ支持層が、こういう具合に反対論が多くなると、固まるという事もあるでしょう。あるんでしょけども、それ以外に安倍内閣を見てると、非常によくタカ派内閣と言われます。タカとハト、このご時世に二つに分けるのも如何なものかと思いますが、しかし右寄りの内閣と言われた。ところがよく政策を見ると全くそうじゃない。例えば働き方改革。それから子育て、こういうね、通常なら野党が要求するようなことを、この内閣はやっている。極めて内政的には、社会主義的な政策をやっているんですよ。だって春闘というのはね、賃上げは労働組合が中

心になってやるわけですよ。ところがとにかく、好循環、アベノミクス、そうするためにはある程度物価が上がらなければいけない。物価が上がれば、これは物を作っている会社が、それは企業が、潤いますよね。潤えば賃金も上げられる。賃金を上げれば今度は、家庭でも色んな物を買うようになる。色んな物が買われるようになれば色んな物が多くつくられる。多くつくられると会社の儲けが多くなる、と。これが好循環なんですよ。だからこれは鶏と卵みたいにどこから始めるか非常に難しい所がある。ところが2%まで中々上がらない。今、物価高でヒーヒーしてるけれども、前から国を挙げて物価を上げようというのも考えてみれば変な話。それからもう一つは、組合が賃金上げを要求するのはわかるけれども、政府が賃金上げろと企業に言うのも社会主義だってやらないことだからね。だからあの時だって官制春闘って言いましたね。春闘は組合の、民間の人がやる話ですよ。政府の親玉がやるってどういう話だってね。まあ、そんなことまでやる。まあそういう意味でこの政権が8年8カ月。8年8カ月というのは今の時代で容易な話じゃないよ、これは。みんな粗も見えるし、テレビだってもう性能が良くなっているから、皷もはっきりわかるし、この時代はね、何でも見破られる時代なんです。その中であって8年8カ月、そりゃ政権維持するって言う事は容易な事じゃない。しかもこの安倍内閣は、安倍晋三の下で国政選挙を6回やってるんです。衆議院選挙と参議院選挙、3回ずつやってる。普通は衆議院選挙で勝つと必ず次の参議院選挙では敗れるんです。衆議院選挙は政権選択選挙って言うんです。どの政党に政権をゆだねるか、どの政党の党首に総理大臣になってもらいたいかを決める選挙ですが、小選挙区比例代表並立制になってから一層そういう色彩が強くなった。しかし、政権選択選挙で公約しても大体その通りにはいかない。公約通りには行かなければ必ずその次、中間選挙と言われる参議院選挙、必ずしっぺ返しを喰らうんですよ。そして衆議院選挙で勝っても参議院選挙で敗れるっていうのが普通。そして、今度はまた、政権選択選挙があると。そうすると、しょうがねえなこれとは、他の政党に委ねるわけにはいかねえなと。ということで衆議院選挙で勝ってまた政権を取る。そして維持するんだけどまたその通りいかねえなと。参議院選挙で敗れる。ところがこの安倍内閣の下では、両方3回3回やって全部勝つ、これどういう事かってことです。どうしてなんだろうと。これも後で国葬との関係で触れますけども、という具合にある意味では特異な安倍内閣というのは『X』でもない。それから一回支持率が落ちてすぐまた1、2カ月後に盛り返している。まあ支持率が全てではありませんけれども、これ国民

の支持が無ければ、色んな事は出来ないと考えれば、そういう形で最初の1年、それから7年8カ月、これやってきたわけですよ。そういう事を考えた場合に、一体岸田内閣とはどういう内閣かと。これはある意味不思議な内閣なんですね。と言うのは支持率は非常に高い。みんな大体半年でダメでしょう？ところが半年経っても高い支持率だったんですよ。この統一教会が出て来るまでは。みんな不思議がってた。まあ不思議でもなんでもないんだけど。要するに国論を二分するような事をやらないからですよ。敵を作らない、あの人は悪い事をしなさそうだというね。それだけで政権維持できるのかと。というのは前の安倍も菅も、これは断固としてやる事はやりましたから。例えばワクチン接種にしたって何にしたって、デジタル庁にしたって何にしたって、全部菅のやった事ですよ。それをまだ収穫されていないけれども、実が段々と大きくなってきている時が岸田内閣なだけで最初種を植えたのは菅ですからね。と言う事を考える時、逆に積極的に何もやらないと、あえて敵を作ってまでやらないという事も、これは支持率を下げない理由にはなるんだけど、それには当然限界があるって事ですよ。だからそれが今度は、いやいやそんな悪い事を、私達が反対するような事を強引にやるって事はしなさそうだっていう感じで、岸田内閣を支持してきた人たちが、なんだ統一教会は、あれ何にもケジメつけてねえと、こうなるわけですよ。ある意味では決断しない所がプラスに働いていたが、統一教会についてはズルズルズルズル決断しないとは何だということになる。国葬問題では早い決断が裏目に出た。こういう皮肉な事になってるんですよ。さあそういう具合に見た時に、支持率下がる原因っていうのはね、一番わかりやすいのはスキャンダルですよ。スキャンダルはお金や女性問題がある。それから色んな事件との関与がある。だから今度の統一教会問題はある意味で非常にわかりやすい。ただし統一教会問題で私は強調してる。統一教会をあんまり過大評価してはいけません。例えばこの前の会見はテレビで丸々2時間やるんですよ。こんなの私はやり過ぎだって言った。ミヤネ屋という番組で言ったけども。一方の言い分が一方的に垂れ流しになっちゃうんですよ。あの時異議有りとか、色々紙出したりとかしてたんだけど。それにしても異議有りってったって、何に対しての異議なのかよくわかんないって話もある。で、私はアレは半分で良いと、そうではなくて今こうやってきた事を整理して、これに対してはこうだっていう具合にきちんと解説しないと、残ってるのはこの人達の主張だけなんですよ。統一教会が言ってるのは、丸っきり全部おかしいわけじゃないのかもしれない。と言う事でそのまあ統一教会問題っていうのは解消する

のが大変ですよ。だけど考えてみれば、統一教会の人が、ビラを貼ってくれただけで、あたかも深い関係であるかのようになってるのもまた変な話で、私に言わせれば自民党の政策にそんなに影響を与えているのかって話ですよ。だから過大評価はいけない。しかし、協力してくれるのはどこでもしてもらおう。反社会的な事件を起こしているような所であろうが協力してもらおう、これはいけないんであって、宗教団体それ自体がいけない訳でも何でもない訳ですよ。そりゃ宗教団体だって自分たちの主張を通したい。そうするとそれに賛同する政治家に対して働きかける、当たり前じゃないですか。考えてみれば日本の政教分離を問題にしますけども、例えばイギリスのエリザベス女王の国葬で、ウェストミンスター寺院の司祭が取り仕切っているのはどうなのか。そして讃美歌。最後にアーメンってやってるわけです。考えてみればね、そんな所にイスラムの人が行けるのかって話になりますよ。だからそこはよく考えなきゃ。どんな宗教であろうがそりゃ信じる事を妨害してはならないという信教の自由がある。それから今度の場合もこれは宗教団体が問題だからじゃなくて、犯罪を犯してるような団体と政治が結びつくことがいけないと言っている話であってね、そこは厳密に分けないといけない。それで、この問題でおそらくズルズルズルズルいくでしょうね。というのは何でもそうなんだけど、それは今はもうね、ちょっと誰が手伝いに来たっていうことと、物凄いお金のやり取りがあったという話まで一緒になっちゃって、とにかくどこかで接触があればもうそれが問題だって話になっている。山際大臣の場合はちゃんとそういう会合に出て写真を撮っているから問題なんだけけど、よく桜を見る会の時も問題あったじゃないですか、安倍の名刺が使われてたとか。僕らだってね、講演の後のパーティーがあったりすると、一緒に写真撮りますし、名刺交換もしますよ。その時あなたはどこの宗教を信じますか、とそんなことはね、聞きませんよ。ただ少なくとも統一教会の場合はあれだけ靈感商法で問題になって、その後も色んなおかしいよ、という被害者の弁護団がああやっているにもかかわらず、という所に問題があるわけですよ。さあこの問題ね、中々この問題でどうやったら良いか。まあやり方は間違えたんですよ。最初これだけになるとは思わなかった、その甘さがあった。それが最初。そりゃそれぞれみんな申告して下さいと、これは調査と言ったってね、そりゃ出来るもんじゃないんだからとなる。で、何だとそれはって話になって、次に岸田が何と言ったか、いやいやもうちょっと一段と踏み込んだ調査をやって下さいとこう言ったね。でそれでも全くダメで今度は自民党が調査をした。調査とは言っても調べるというよりは、それぞれ

がこの項目について出してくださいという話になった。ところが、それぞれの項目ですからというのが全部ちゃんと出しているのかって話になる。この逐次投入という一番よくないパターンなんです。最初からバツとやってればまた違ってたって事もあるんだけど、次から次へ出て来る。山際大臣みたいに、ネパールかどこか行ったんでしたっけ？そんな外国へ行ってそういう会合に出てるのにだよ、記憶が無いっていうのは、それはどう考えても不自然。で、記録が無いでしょう？そんなの記録が無くたって、そういう外国に行くってことは昔ほどではないが特別な事です。それが記憶が無いって言うのも変な話。それからあれだけの大きな集会に出て、その総裁が出てる会議へ出てるのに、というのはもう本当に不自然・不誠実と言うしかないと思はる。まあそういう具合にして見るとこの問題はね、ずっと尾を引くでしょう。今どういう状況になっているか。もうおそらく圧倒的に統一教会側から色んな資料が出てるでしょう。いや実はこの政治家はこう少し関係があったんだと、下村さんは実はこれだけ統一教会に支援されていたんだとか関係者じゃないとわかりませんからね。政治家も呼ばれば行きますよ。それから電報打ってくれと言われれば電報も打ちますよ。これは名前を貸してただけっていうのもあるからね。例えばある大きな大会があるとすると、これは大臣来た方が良いですよ。お花もあった方が良いでしょう。そうすると、いやいや代金は良いですからこっちで出しておきますから名前だけ貸して下さいと、そういうこともあるわけ。そういう形でもあった方が良いでしょう。だからそれはなるほど、秘書が聞いてあぁ結構ですよって言ったかもしれない。それはあるんだけど、それをやはりその分だけやっぱり自分達も徹底的に調査をして記憶を呼び起こしてやらなきゃいけない。なんとなくねあそこであのまぁまぁ切り抜けられれば切り抜けようっていう感じが非常にあからさまに出て来た結果だったんだなあとそう思いますよ。と言う事でこの問題はちょっと中々ずっと尾を引いちゃう。この事が支持率にも当然影響するし、色んな政策をやろうとして、(岸田総理は)この前ニューヨークの国連総会に行った、そして色んな演説やったりした。今は一生懸命何をやろうとしているかという、これは国内ではもう統一教会一色で国葬反対一色になっちゃうから、だから出来るだけ外交で得点を稼ごうと言う事で、外交に活路を見出すっていうやり方を今やってるんだけど、しかしこの効果って言うのは中々出てこないって事が言えるわけです。

さぁ国葬の問題ね。私はね、決め方の問題はあった。けども私は国葬に賛成と言う事をテレビでははっきり言った。ミヤネ屋とスッキリで。そした

ら大変なクレームがついて、テレビ局から「いや五郎さんの場合はそういうクレームって今まで一件も無かったんですけど今度はあったんですよ」と私の秘書の所に連絡が来て、そしてそれを宥めるために随分時間がかかったって言う訳ですよ。確かにこの国葬についてはどんどん反対論が増えてる。と言うのはまず一つはなんでこんなに反対があるのにならなければいけないのかという反対論ですね。じゃあなぜ反対するのかという事です。ここちょっとね、賛成反対は別にして、この問題を考える場合どういう具合に考えたら良いんだろうかという考え方の問題としてこれからお話ししますね。

まず一つは、政府が国民に強制というか、こういう事やって欲しいという時は法律的な根拠が無ければいけないという反対論です。戦前は天皇勅令で国葬令というのがあった。で、その国葬令に基づいて、皇族の人、国家に偉勲、国家に対して著しく貢献した人が亡くなった時には国葬にしましょうとこういう具合に書いてあるわけですよ。そして伊藤博文、山形有朋、こういう人たちが国葬になっているわけ。では偉勲って何だろうと。偉く貢献したと言っても会津の人から見れば明治維新は何だって話ですよ。そうすると当然ながらこの評価ってのは難しいということです。だからまず一つは、国葬令というのが戦前はあった。国葬令に基づいて国葬が行われた。ところが国葬令は1947年、戦後天皇勅令という制度が無くなったわけだから失効する。そうすると根拠になる法律が無ければいけないでしょうと。国葬法とかね。これが一つの反対の大きな理由だった。そんな事言えば勝手に政府が自分達の都合の良い時にやるという話になるんじゃないかと、恣意的になっちゃうと、そうなんです。ところが、1967年に吉田茂の国葬を行った。あの時は佐藤栄作内閣、佐藤栄作ってのはこれは吉田茂が先生、お師匠様だった。当然ながら弟子はやろうとするわけですよ。その時、どこに根拠を求めたか。今度の場合もそうですね。ここら辺りからすごくややこしくなるんだ。法律の専門家になっちゃう。それは、内閣府設置法の中に政府は国家の儀式を行う事ができると書いてある。国家の儀式ってなんだろうと。実は憲法の中にも天皇の国事行為ってのがありますね。国家の行事の中にも天皇の国事行為として行われるものと、それから内閣が決めるもの、内閣府設置法の中にある国家の行事がある。なら今回は国葬令が無い状態でしかも天皇の国事行為として行うのではなくて、もう一つの内閣として国家の儀式を行うことができるということについてやってるんですよと、こうなるね。しかしそれにしても、色んな制限が伴うでしょうと。国家の行事をやろうとすれば、それ交通もねストップさせなきゃいかんし、それだけじゃなくて教育委員会で弔意

を表すかどうか、地方自治体の機関・政府の機関が弔意を表す為に半旗を掲げるかどうか、色んな形でこれは強制が伴うでしょうと、それがこんな内閣府設置法だけで出来るのかと。これまたこういう批判がある。これに対しては政府はどのような事を言っているかと言うと、「いやいや、今回は強制はしません」と。この前の吉田茂の時のように教育委員会も半ドンにしようとか、あれ半ドンだったんですね、午前中で休んだって言うのがあった。それから半ドンにしろとか弔旗を掲げろとかそんな強制はしません。強制はしないんだから、強制する場合は細かい法律的な根拠が必要だけれども、今度は強制にしませんから、これは法律じゃなくて今の内閣府設置法の中でもできる、こういう理屈な訳。この理屈は専門家に言わせれば、これ立憲民主党の参議院の女性の人、これは解釈として成り立つと言っているぐらいだから、これはこれで普通の国民には解かりにくいけども、一応専門的な解釈としてはあり得る。

さあ次に、何が問題か。国費をこんなにかけて良いのかと。まあその前にね、安倍晋三の評価が定まっていないというのがありましたね。これが本当は一番最初に有った。しかし、政治家の評価ってのはどうなんだろう。例えば吉田茂。さっきお話したように1967年に吉田の国葬が行われる。しかし、その時も賛否両論、反対論も随分あった。その吉田が戦後復興に貢献したと。吉田は経済優先・軽武装、軍事にはお金をかけないでアメリカにやってもらって、そして、経済・国民生活を優先しよう。これが今保守本流の、吉田以来のと言われているわけです。それがいきなり佐藤栄作に引継ぎ、こういう具合に来たと言われている。それをやったのが吉田なんだと。戦後復興にそれだけ貢献したんだという理由だったわけ。しかし、そんな具合に吉田が評価されるのはいつかって話ですよ。吉田は凄まじい批難の中で辞めていくわけですよ。ワンマン吉田、自分勝手な事ばかりやっていると、スキャンダルは随分あるという形で辞めて、それこそ石を持って追われるがごとく政権の座を下りるんですよ。で、それが評価されるっていつかと言うと、これは高坂正堯さんという京都大学の先生、私が最も尊敬する人ですけど、この人が「宰相吉田茂」というね、論文はもう少し早く出るんですけど、本になったのは1968年。これが、言ってみれば切っ掛けになって吉田の評価が高くなっていく。それは、国葬の後なんです。人の評価って言うのはよく言いますね、棺を蓋いで決まると。棺に入った時、お棺に入った時、その人の一生はなんだったんだと、ということがわかると。しかし、政治家においてはそうじゃない、棺を蓋った後も定まらないんですよ。岸信介、安倍晋三のお祖父さん。

60年安保、あれだけ国会の周りでデモが行われ、樺美智子さんという人が亡くなる。反民主主義の権化みたいに思われていた。それが今や、あの日米安保の改定は正しかったと評価されるようになってる。50年、1960年ですからあれから60年、段々評価されだしたのは、もう50年経ってから。人の評価は難しいんです。となると、評価は定まっていない内の国葬はおかしいという理屈も成り立たない。それからさっきの偉勲というのも基準作れとよく言うでしょ。国葬に値するかどうかを基準を作れと言うが、基準なんか作れっこない。例えば、総理大臣5年以上やった人と、1年しかやらなかった人を区別できますか。「5年以上やった人に適用する」と書けますか？今度は中身の問題になるわけです。5年何やったとか、ただ寝て暮らしていただけじゃないかと、ちょっと極端に言えばね。だからこの評価も定まっていないという評価を非常に難しいという事です。

それから3つ目、なんで内閣・自民党葬にしないのか。だって、吉田の時に国葬やって色々反対論もあった。ではこれからはそうしないようにしようと言うんで、その後の佐藤栄作は国民葬。これは国民葬というのは一応政府がやらないで経済界の有志が金を集めてやるって形を取った。そしてその後は何になったか。内閣・自民党葬ってのになった。内閣と自民党が、自民党の総裁でもあるから、その一緒になってやる。一緒になってやるについてはかかったお金は半分ずつ出し合いましょうねと、国は丸ごとはいしませんよと、こういう事ですね。と言う事でズーっともう内閣、この前一番最近の内閣・自民党葬で言えば、中曽根康弘さん。もう2年前かな。中曽根さんの時には私も出ましたけども、この時も内閣・自民党葬なんです。そして、それとの関連で何で今まで内閣・自民党葬でやってたものを、国葬にするのか。しかも国からこれだけの金、最初は2億5千万と言いながら、しかしもっとかかるだろうと言ったら、今度は警備費用8億円、接遇費6億円、併せて16億6千万がかかると。もっとこれ以上また更に増えるだろうという批判。これについてはもう一つ理由があって、「今コロナ禍でみんな大変な思いをしているのに、なんで一人の人間の葬儀にそんな金かけるのか」と、こうですよ。例えば日本でサミットをやった時、どのくらいお金かかるか。三桁単位の億がかかってるんですよ。外国から要人いっぱい来るわけだし、警備徹底的にやらなきゃいかんし。そうすると、この16億というお金かける事の意味っていうかね、その中身をよく見ないと。内閣・自民党葬であっても、さっきの8億の警備費と接遇費、外国の色んな人を接待したり車を手配したり色んな事をやる。これはかかるんです。同じようにかかる。知らない

というわけにはいかない。内閣・自民党葬だからそれは知りませんというわけにはいかない。となれば何処に違いがあるか。16億6千万の内の最初の会場設営費、それから警備費、接遇費、それぞれ2億5千万、8億、6億でしたね。そうすると内閣・自民党葬であってもこれは丸々かかりますね。それから会場設営費の半分、1億2千5百万はかかりますね。国葬とお金の事について言えば、国葬と内閣・自民党葬の違いは、僅かここだけの話ですよ。だったら、このコロナ禍でお金かけるのはおかしいっていう理屈から言えば、内閣・自民党葬にも反対しなければおかしいでしょう？ スッキリで（MCを）やってる加藤浩次くんにその話をしたら、「いや確かにそうですね」って、まあだからそこまでわかってなかったって事はあるんだけど。そうすると、お金かけすぎだって事を言うならば、内閣・自民党葬も止めるって事。内閣は、政府は一切関与しないと。それは可能だろうか。外交から、例えば佐藤栄作は国民葬と銘打ってね、国民の有志がやるんだという形にしたって、これ警備しなければいけません。知らんという訳にはいきませんね。テロが起きたらどうしますって話になっちゃう。となると、一体この理屈がもしそういうのだったら、ここはダブルスタンダードって言い方なんだけど、いやいや全然実態を反映していない話ですねってなる。さあそうやって見ると、反対論にもうこういう具合に色々私から見れば、問題点があるんだと。

で、いよいよもってこの国葬を考える場合の、最後の問題になるわけですよ。安倍政治をどう評価するかって話です。これまた難しいですね。特定秘密保護法、反対論が多かった。平和安全法制、反対論が多かった。テロ等準備罪、反対論が多かった。森友問題で批判がある。旧統一教会、問題もある。そうするとこれを考える時に、政治における評価ってのは、私もずっとと政治記者やってきてそうなんですけど、もう5：5なんです。半分賛成があれば、半分反対あるんですよ。アメリカの大統領経験者は国葬なんです。例外はウォーターゲート事件のニクソン。ニクソンは国葬ではなかった。なぜやらなかったかという、本人が生前断ったから。生前意志を聞くから。評価が定まっていない、色んな評価はあるんだろうって話になれば、アメリカの大統領は共和党と民主党で争うから、真っ向から対立するわけですよ。にもかかわらず、国葬にしてるんだよね。なぜかという事ですよ。そりゃ意見の喰い違いはあろうが、それはアメリカを率いた大統領に対しての敬意をどう払うかですよ。そこで色んな、さっき一番最初でやった基準ってのは中々設けられない。そういう中であって、今度の場合、岸田はなぜ国葬にするのかという4つの理由を挙げていますね。1つ目はこれは8年8カ月という

日本憲政史上最長の内閣、一番長い内閣であったというのが理由の一つ。2つ目は、東日本大震災の復興はじめ、アベノミクスへの評価、3つ目は海外でも評価されている。それから4つ目が、このテロに屈しないという意志を示すために、民主主義の最も根本である選挙の最中に銃撃にたおれた。断固として戦うという意志を示す為にも国葬は必要なんだという4つの理由を挙げている。しかし最初の理由以外は2つ目の東日本大震災後の復興やアベノミクスへの評価にしても、いやアベノミクスのせいで私達はむしろ困ってるんだって人が必ず出て来ますよ。依然としてなお福島の人たちは5万人が家に帰れないでいるんだと。それからテレビで有田さんという人が言ったんだけど、「私は国葬に反対です。その反対理由はあれほど私は安倍内閣の下で拉致問題を解決すると言いながら解決していないじゃないか。それで私は国葬に反対だ」とそんな事をミヤネ屋で言ったね。だって出来てる事なんて全体から見ればそんなにないんだから。これ全体をどう評価するかって話だから。そうやると2つ目の理由もこれは絶対的な理由にならない。3つ目の外国からの評価。確かにそうだ、インド、オーストラリア、ブラジル、これ国を挙げて日本の元首相の死に対して弔意を表しているんですよ。アメリカのバイデン大統領は政府機関にみな半旗を掲げさせた。然るに、日本の首相官邸は半旗を掲げたのは何時かって話。遅れる事3日の月曜日なんですよ。なぜかと言うとその理由は半旗を掲げるってのはウィークデイで土日はやらないというのが今までの慣例だったというわけ。そんな馬鹿な、こういう発想ですよ。だからむしろ外国の方が敏感に反応してくれているわけ。そういう具合に国際的な評価ってのは、おそらく国内での評価よりも遥かに安倍の場合は高いと言えるだろうけども、だからと言ってそれが何だって話！そんな事で評価の方はわからないとなる。数量的にわからないでしょうコレ。となると、4つの理由のどれもが、相対的でああそうだなってぐらいでしかないんですよ。その中で第一の理由だけははっきりしてる。日本の帝国憲法が出来て、そして議院内閣制になって、伊藤博文が初代総理大臣になってからの日本憲政史133年の歴史の中で、8年8カ月ってのは桂太郎を抜いて一番長い内閣なんです。しかしそれだって、長けりゃ良いってもんじゃないだろうと、長きを以て尊しとせずとも言える、それもその通り。そうなんだけども、何で長く出来たんだろう。長いという事は国民に支持されてなければ、6回の国政選挙で勝てるわけがない。と言う事は私達はこの選挙という事実の前に厳粛にそこは考えなければいけない。それは8年8カ月、長く政権を担当できるという事は、それは国民の支持があったからなんだと。だから

長いって言う事には意味があると。王さんは世界のホームラン王だねこれは誰も文句言えないね。話がちょっと逸れますけども、厄介なんだよ。国民栄誉賞ってあるでしょう？国民栄誉賞って言うのはね、スポーツ選手はもらえるわけ。というのは数字がはっきりしてる。高橋尚子は1回金メダル取って国民栄誉賞だからね。吉田沙保里は4連覇したんだっけ、わかるんだよこれ。王さんもそうだよホームラン、世界の記録なんだから。スポーツ選手はわかるんだ。じゃあね、美空ひばりさん。国民栄誉賞もらったのは死んでから。なんで死んでからか。亡くなる前は、歌謡曲が嫌いだって人もいるしね、日本の場合には偏見あるの。クラシックとかね、そういうのは大体文化庁とかがね、まあ大体役所の機関はそっちの方が価値が上だと見るのよ。しかし、美空ひばりは、大衆にどれだけ影響力があったか、大衆の生きる力になったか、これは歌謡曲の方がよっぽどあるかもしれない。ところが遠藤実、船村徹、この人達もね、国民栄誉賞はもらえなかった。なぜもらえなかったか？それは絶対的な価値じゃないから。五千曲以上書いたと、大衆の心に届いたと言ったって、それが何だ、基準になるのかって話になっちゃうわけ。そして美空ひばりさんのように死後もらうわけだよ。それで私は船村徹さん、遠藤実さんも晩年は相当深い付き合いだったが、遠藤さんもらえなかった。そこで船村さんと、何とかしようじゃないかって話になって、こういう事にしようって話してたの。一回死んだ事にしようと、棺桶に入った後に生き返ると、棺桶に入った直後に国民栄誉賞が決まったら棺桶から出て来ると、これなら出来るなという笑い話があるぐらいなんです。だから、これも同じで色んな基準とか評価を作れとかなんか言うんだけど、そんな評価なんかもう客観的な基準、絶対的な評価基準なんてのはないという事を考えてます。さあそうすると、今度の国葬をどう考えるか。まあ今盛んに国葬反対っていう。色んなデモもやってる。それから、各国の大使館に国葬に出るなという圧力というかそういう要求まで文書で出しているという話もある。それから、国会議員やら元国会議員が、私の所にも招待状来ましたが、私は欠席ですと欠席にマルつけた葉書をテレビに映させたりね。私はそれは日本的な死者を弔うやり方なのか、それは国葬は決め方に色々な問題がある。もっと色んな形で三権の長、三権の長の一つはまあ、総理大臣ですけども、国会に対しても事前にやっぱりきちんと説明すべきであって、いくら内閣府設置法で出来るからと言ったって、これは国家的な行事です。そのためには、そりゃ国民の代表である国会に、承認を得なければいけないかどうかは別にして、話もしないでやるってのはね、やっぱりおかしい事ですよ。そういう事はあるんだ

けども、もう 27 日に決まって、そして各国から元首クラスが来る。となると、そこで武道館のすぐ周りではデモは出来ないでしょうけど、その後おそらく羽田から来る途中で色々な形があるでしょう。そういう具合に、反対であるって事を示そうとして、それに目につこうとする事が色々出て来るんだろうけど、それは日本的なやり方なんだろうか。立憲民主党はまず最初は泉代表も行くような事を言っていたね。それが今度は政府の説明、聞いてからだ。ところが、閉会中審査をやった、その後また質問書を出したと、その質問書に対する答えが紋切り型でそのまんまなぞっただけだと。そりゃそうでしょう、その理由はだってそれ以上あったら何で最初から言わなかったのかって話になっちゃうから、という事でじゃあそれなら反対すると。反対はするんだけど、執行部だけが出席しないと。執行部じゃない人達はそれぞれ個人の意思に任せますよと。まあこういうやり方してるわけ。それに対して最高顧問である元総理の野田佳彦が、元総理が元総理の葬儀に出ないというのは私の人生観からは外れると、長い間ご苦労様でしたと、そう言って花を手向けますと。それに対してまた原口とか批判をするわけ、そんな法と正義よりも個人の人生観を大事にするのかとなんだとこういう批判が出てる。けどもまあ私は色々な問題の決め方はあるにしても、静かな環境でお見送りする。これからこの問題をどう考えるかという事はやるにしてもだね、それが私は今まで死者に対する日本人のものの考え方です。日本の場合は亡くなればみんな仏様になるんですよ。韓国・中国は違いますね。歴史ドラマをみると凄いよね。亡くなってから悪事を暴かれるとどうするか、墓掘り返されるんですよ。そしてしゃれこうべに短刀突き付けられるんですよ。日本はそういう国民じゃありませんよ。もう一つ、直近で言えばエリザベス女王の国葬があった。煌びやかでしかもデモなんかどこにも見えない。それもそのはず、ここははっきり言えるのは権威と権力って事です。イギリスは伝統的に君臨すれども統治せずというね。国民の上に屹立するというかこの全体を大きく見渡すような所には居るんだけど、個々の政治には関与しませんよってのがこれはイギリスの伝統なんです。ところが、実際の政治が行われる。これは権力を行使しながらやる。すると必ず賛否があるわけですよ。そうすると政権は交代するけども、日本の場合は天皇は権威の象徴。だって武士の政権が鎌倉から江戸まで続くんだけど、それであっても彼らは征夷大將軍、秀吉だけは関白って気取った名前付けたけども、天皇からこれはあなたがやりなさいと選ばれた將軍でしかないんですよ。あくまでその上に天皇がいるという建前をずっと通してきた。その天皇というのは政治にいち

いち関与しない。だからこれだけ千何百年ももってるわけですよ。政治に関与して政治的な争いになったら、これは相手が倒されてそれでもうおしまいですよ。それは例えばイギリスにしたってフランスにしたって国王が革命でギロチンにかけられる。ところが日本はそんな事はない。明治天皇の前の孝明天皇が毒殺されたって話、アレは違う。建前としてはあくまでも権威というのは政治権力から離れた所にあるから長く持つし、だから国民を統一させる力があるって事です。それは福沢諭吉がその事をよく分析してるんだけど、皇室とは政治社外のものなり、政治の世界とは別の存在なんだよ。例えばタイ、赤シャツと黄シャツが争うんだよね。争って政治的な安定がどうしようない。ところが国王の前に行くと、ははーって聞くわけだよね。ただエリザベス女王は君臨すれども統治せずというけど、そんな事は無い。結構政治やった。サッチャーさんが言ってる。毎週火曜日に首相は女王の所に報告に行く。報告に行って、内容は秘密になってる。日本も内奏ってのがあ、内奏ってのは天皇の所に総理大臣が報告に行くこと。これは絶対表に出してはいけないって事になるの。イギリスもあるの。サッチャーの時は毎週火曜日やっていたらしい。女王は政治的な事は言わないって言ってるけど、全然そうじゃないんですよってサッチャーが言ってるんです。例えばネルソン・マンデラっていう、南アフリカ共和国でアパルトヘイトっていう人種隔離政策をやっているのはいけないって主張して、27年間牢獄に繋がれたの。そのマンデラを釈放するのに一番力のあったのは誰か。それはエリザベス女王なんだ。例えば、南ア共和国の周りの、黒人の国が随分あるからそういう国だとか、それからヨーロッパやアメリカの先進国、アパルトヘイト反対で南アに圧力をかけるんだけど、しかし最も力のあったのはこれはエリザベスだと言われている。結構女王は陰で強かにやってるの。だから建前と実際はちょっと違う所あるんだけど、それにしても、建前ってのはすごく大事であって、直接政治に関与しないって事がそれは権威にもなる。それから国全体を統合・統一するのも役に立つ。と言う事で日本の天皇は正にそうだとは思うんだけど、そうやって考えた時にこの権力に対しては必ず賛否両論が出るって話ですよ。もう一つ、さっき4つの理由で説明しましたが、もう一つあるんですよ。もう国葬ってのは流行らないと。今回も国葬について国葬論を唱える人の中に、国葬でやるなら強制しなきゃおかしいじゃないかと、ちゃんと教育委員会や学校も休ませて、役所もちゃんと半旗を掲げるべきなのに強制しないのはおかしいという論もありますよね。今度は国葬反対論の中からも強制をしない国葬に意味はあるのかって論もある。最後に残

るのは何かと。あなたは死者をどうやって送りますかと、そこの問題です。最初アメリカの話しましたね。アメリカは大統領、たとえ4年であろうが国の代表としてやってくれたって事に対して敬意を払う。まあそこは新しい国っていうか、アメリカは1776年独立だから高々二百何十年ぐらいしかないんですけども、それにしても、例えばニューヨークはケネディ空港ってのがありますよね、ケネディ大統領の名前つけてる。僅か3年弱しかやっていない大統領。それから色んな通りの名前もこれ政治家の名前付けてる。日本は政治家の名前が付くってのは所謂あの政治家がこの橋を作ったと、公共事業を持ってきたと、これマイナスの意味で使ってる。ここは政治家も反省しなければいけない。昔は末は博士か大臣かってね、博士になるかそれとも大臣になるかっていう二つの大事な、子供たちが希望に燃えて頑張ろうっていう時の目標だったんだけど、今はもう全然そうじゃない。それは政治自らがもたらしたものであるだろうって事は言えるんだけど、ただこれを機に私達は政治をどういう視点で考えるかを確認しておく必要がある。三つあると思う。一つは健全な相対主義。相対主義の反対は絶対主義、例えば宗教においてイスラム教の人たちはキリスト教を認めません。認めないとどうなっちゃう。それからキリスト教の中でも色んなカトリック、プロテスタントだけじゃなくもっと細かく分かれている。それを認めなければ殺し合いしかないわけですよ。そうなると、宗教ってのは殺し合いになるのかって話になっちゃう。では健全な相対主義、それは私がこの宗教を信じる事においては絶対的ではあるけども、しかしそうではない宗教を信じる人がいる事も重んじようと、この気持ちですよ。これが私の言う健全な相対主義。ところが、何で健全なと付けるかという、相対主義だといやいやこれも正しいあれも正しいってなるとじゃあ何が正しいのか自分でも訳がわからなくなってしまう。だからそこはそこまでいかないように、健全な付けてるだけの話です。二つ目は、それからこの相対主義のもとで野党の主張と与党の主張のどっちが正しいですかと。私に言わせれば5：5、その政策が採用されるかどうかは、その時の状況だったり、それから選挙でどっちの数が多く獲ったかという事で決まるのであって、それは絶対に正しいんですかと。そんな事ありませんよ、答えもせいぜい5.1対4.9ぐらいのものですよ。その時の状況、その時の勢力、色んな事によって決まるので、そうするとそこから何を考えるか。いやいや自分はこれが良いと思ってるけど、そう思っていない人もいると、だからそう思っていない人の事も大事にしようと、よく聞く耳を持とうと、そこで国葬が出て来るわけですよ。それから二つ目の適度の懐疑心、自分はこ

う言ってるけど、本当は正しいんだろうか？自分を疑う気持ちが大事です。私なんか今なお毎日失敗した夢見てる、自分の意見を批判されている夢とかね、もうこの年になったらなんでそんな夢見なきゃいかんのかって思うけども、けどもそれは自分は本当に正しいんだろうかと思う気持ちがなければいけないと思う。殺人事件が起きる。そうすると、犯人に聞こうにも捕まってるから聞けない。警察もまだ本格的な捜査をやっていないなら、誰に聞くって話ですよ。それでテレビのやる常套手段は、近所回って近所の人たちに聞く。しかし、近所の人は何を知ってますか。大体隣近所ってのは、仲が悪いケースが多いんだよね。そうすると、近所の人がしょっちゅう物音がしましたとかと言う。そのことが、その家で激しい争いがあったみたいに連想させるわけですよ。当てにならないね隣近所、40歳の容疑者について、高校の時どうだったか聞く。でも、高校の時の話が何の話になるんだってことです。だからね、私が胆に命じてるのは、手を尽くして取材をするんだけども、しかし本当にそれは正しいんだろうか、わからないところはわからないとちゃんとと言わなければいけない。謙虚さが必要だということです。それから3つ目に私が言っているのは鳥の目と虫の目。鳥の目とは大きく全体を見渡す目、たとえば安倍政治をどう見るか。それも今の所だけに焦点当てるんじゃなくて、戦後の保守政治の中の安倍政治をどう見たら良いのか。それだけじゃない。今度は横軸。世界の中の安倍政治ってのはどう見たら良いのかという大きな目。鳥観図と言いますね。鳥が大空から全体を見渡すように、ノースアジア大学はどこにあるだろう。秋田県にある、秋田県はどこにあるだろう、そして秋田県のどこにあるだろうと、こう言うと、ここに居てもわからない。全体を見渡す目がない。そうすると、縦軸横軸時間軸これこうなったからにはそれなりの理由があって、歴史を踏まえている今があるのであって、と言う具合に大きく見る目と同時に虫の目、虫の目ってのはそんな大空から見たって、ここで講演を聞いている人がどんな表情で聞いているのか、つまらないと思ってるのか少しは面白いと思ってるのかという表情はここに居なければわからない。それを虫の目と言っている。両方を持ち合わせていないとなかなかわからない。たとえば国葬の問題を考える時は大きな国際的な視野だとか国際的な規格だとか日本の長い伝統だとか色んな事を考えながら見ると、好きか嫌いだけじゃなくて見るって事が必要だと思いますね。幸い私達はそういう自由を与えられている。自分はそう考える事について、誰も妨害なんかしないという恵まれた国にいる訳ですから。と言う事で国葬の問題については色んなご意見あるでしょう。あるんでしょうけども、全部そう

いう時は腑分けして、根拠となる法律はこう、基準はこうと、どうなのか、それから評価というのはどうやったら評価できるものなのか。という具合にいくつもの視点で、一つ一つ考えてみるという事が、同時にその中には、みんな困ってる時にそういう具合にお金使って良いのかとこれ凄く大事な事で、色んな視点がありうるって事を考えて欲しいなとそう思いますね。27日の国葬には私も出席する予定ですけども、こういう時にテロなんかあってはいけない。外国の人たちが随分と来てる中で注目されてるわけです。この前のオリンピックだってそうですよ。あのオリンピックは日本じゃなきゃ絶対に出来ない。あれだけ感染症対策をやって、中でクラスターなんか発生させないでやった。東京オリンピック・パラリンピックで一番褒めるべきは誰なのか、アスリートは私達に勇気を与えてくれた。だけど私は一番褒めるべきはあのオリンピックを陰で支えた組織委員会の人達ですよ。これが今また金の問題が出てきたからどうしようもないって話にはなるんだけど、私はその人達を最も褒めるべきだと思う。でも誰も褒めませんでしたね。こんなあたり前だろって感じ。そうだろうか？私はそこは違うと思う。ものの考え方は色んな考え方があるんだと、それを理解した上で私はそう言いたいと思う。

という事で、もう後5分ほどなので質問の時間に入りたいと思います。ありがとうございました。

道 端 橋本五郎先生、どうもありがとうございました。5分ほどありまして、質問を受け付けるという事でしたので、質問の在る方は挙手下さい。

質問者 どうも今日は本当にありがとうございました。普段テレビでは聞けないようなお話を伺いまして、本当に楽しく伺いましてありがとうございます。質問したいのは国葬に関して、今日岸田さんは国葬儀と仰っていました。違いはなんでしょうか。それとこの前東京タワーの下のお寺でお葬式やりましたよね。あれと国葬とその後にいわゆるお別れの会をやるとまた何をやっているのかよくわからなくなってくるし、今の一番その大変だっていうか困っているか心痛めているのは夫人の昭恵さんじゃないかなと思ってますよ。国民を分断して、こうやってるわけですよ。昭恵さんの事などについてお願いします。

橋 本 国葬儀ね。それはね、ちょっとまやかしかがあるんだよね。これは昔の戦前

の国葬とは違いますよと。強制はしませんよ。というのを強調するために国葬儀って言い方をしてるんです。だったら強制もしない国葬って何だって当然出て来るわけだから。儀ってつけたのは内閣がやる、国家の儀式なんですよ。だからそうするとややこしくなるのは新聞で見ると、必ず国葬（国葬儀）って書いてありますね。それは別にそうやって後から付けただけの話ですよっていうつもりで新聞の場合は使ってるわけ。強制を伴った国民にあれやれこれやれという事を伴ったいわゆる国葬とは違うんですよと言うための国葬儀なんです。今の状況の中で出来る国としてやることなんですよと、こういう具合にね、ちょっとこのイメージを変えようとして言ったんだけど、結局同じことです。まあそういう意図で国葬儀って言ってる。

それから昭恵さんの場合は、もう連日旧統一教会の問題が取り上げられています、本来ならばこのテロ事件はなぜ起きたんだろう、警備のどこが問題だったんだろうと疑問に思っていますよ。ところがもう完全に旧統一教会の内部の問題になってしまった、信者との内部の問題。そしてそれと付き合ってる政治家はなんだと。その政治家の元締めで一番影響力のあったのは安倍だろうと。その安倍を国葬でやるなんてとんでもない話だという話になって展開されている。昭恵夫人にとって疑問がいくつもある。弾丸が見つからないって事もそうなの。彼女にとっては不思議なのよ。貫通しちゃってどっか行っちゃったっていう十分な説明を受けていないって言ってました。なのでそれに対してすごく不思議なんですよ。だから気持ちの整理も中々つかない。そうしてる内に、統一教会の問題がどーんと出て来る。という話で、それからすごく心配してるのは、安倍さんは外国から勲章いっぱいもらっているが、中々見つからないのがあったりして、そうするとその国の人が来た時に私の国のが無いなって思われたりすると大変ですからね。みんなそれぞれそれこそ自由に言うからね。だけれどもああいう形で無惨な殺され方をした身内から見ればしばらく黙っててちょうだいと言いたい気持ちだと思う。そりゃ涙を流す暇もない感じだ。しかしそれが公人の宿命なのかもしれないけど。次の方どうぞ。

質問者 面白いお話ありがとうございました。本日のテーマは「どうなる岸田政権」、私は岸田さんという人についてはよくわかりませんが、本当はすごい器なのかなあという疑問を持っています。その疑問を聞いても良いでしょうか。

橋本 それを言っちゃあおしまいよ。いや、ただね、総理大臣になって成長する

タイプとそうじゃないタイプがあるんですよ。これはね、例を言っただけでも、海部（俊樹）さんなんかは総理大臣になってもあまり成長しなかったね、人気はあったけど。岸田は確実に違うと思う。それは色々な形で決断するようになった。それから例えばこれから防衛費の問題が出て来る。新しい資本主義の話が出て来る。私は足りないのは、色々な意味でやはりチーム岸田、それがチーム安倍、チーム中曽根のように強固じゃない。それがこれからの課題ではあるんだけど、ただ総理大臣になってから、私は前より評価するようになった。この男ちゃんと出来るのかなって感じは最初ありましたけども、かなり自分で決断してる所があるんですよ。（私が思うには）新しい資本主義は大事なんだよ。というのはやっぱり今、経済格差、経済の格差に加えて教育の格差まで付いちゃってる。今、東大に行ってる子の親が一番収入が多いという。昔はそうじゃなかったからね。格差は無くさなければいけない。そのためには新しい資本主義として、こういう事をやろうとしている。この前のニューヨークでもそういう話をしていたけど、決断はするようになった。ただ国葬の決断と内閣改造を早めた決断は、あれはちょっと失敗したなと思う。その意味では菅の方が遥かに決断力もあった。ただ菅は意固地な所があった。自分しか信用しない。その分岸田の方が少し柔軟かもしれない。だから私はこれから次第だと思う。丸っきり絶望しているわけじゃない。ただ厳しく見た方が良いですね。やらしてみると意外に化ける人もいますよ。小泉（純一郎）は郵政民営化しかやってないけども、あそこまでやるとは思わなかったからね。だからね、出来ると思った人が意外にそうでもなかったり、というのも政治の世界ではある。人の事を言うのはなんだけれども、一向に成長しない人、それからみるみるうちに成長する人ってのはやっぱりいるんですよ。私はそっちの方に期待しようと思ってるんですけどね。そのためにはもうちょっと周りを固めないダメだね。それは一人では出来ませんから。だから菅さんのケースをやはり見るべきなんです。周りをがっちり固めて、色々な人を周りに置いて、そして全体の力をそれで出していくっていう感じじゃないと、難しい問題は中々やれませんよ。だって問題だって何だって一つ一つが大変という事を考えた時、もっと菅の失敗はなんだったのかを考える必要がある。今、岸田は菅の遺産で食ってますけどね。そうすると失敗の、負の遺産も見れば、自分が何をすべきかっていうのは、それは自ずと出て来る事だと。まあ期待したいなあと思ってるんですよ。

道 端 橋本五郎先生、どうもありがとうございました。これで講演会を終わらせていただきます。大きな拍手をお願い申し上げます。

〔研究論文〕

『鬼滅の刃』における生命観

橋元志保

I. はじめに

『鬼滅の刃』ほど、人間が「死へとかわる存在」⁽¹⁾であることを意識させる物語はないであろう。物語のプロローグに、主人公である竈門炭治郎は家族の死と向き合う。鬼によって、7人家族のうち5人までを惨殺されるのである。また、たった1人残った妹の禰豆子は鬼の血を浴びたために鬼に変容してしまった。禰豆子を人間に戻す方法を見つけるため、鬼殺隊士を志願しようとする炭治郎に元水柱であり現在は鬼殺隊士の育手である鱗滝左近次は問う。「妹が人を喰った時、お前は どうする」と。炭治郎は即答することが出来なかった。すると、鱗滝は炭治郎の覚悟の甘さを指摘しながらも、次のように諭すのである。「妹が人を喰った時にやることは2つ。妹を殺す。お前は腹を切って死ぬ。鬼になった妹を連れていくというのはそういうことだ。しかし、これは絶対にあってはならないと肝に銘じておけ。罪なき人の命をお前の妹が奪う。それだけは決してあってはならない」と。

鬼に家族を惨殺されたその日から、炭治郎の人生は一変してしまった。想像を絶する厳しい訓練と常に自分の命をかけるほどの覚悟がなければ、妹を守り抜きながら鬼との戦いに身を投じることは不可能なのである。そして2年ほどの厳しい修行の後に鬼殺隊士としての最終試験に合格した彼には、訓練をはるかに超えた死の危険さえ伴う鬼たちとの戦いが待っていた。共に戦う仲間たちと炭治郎は文字通り死線を幾度も彷徨いながら、不死身で異能を持つ鬼たちとの熾烈な戦いを繰り返し続けていくことになる。

現代に生きる私たちの日常生活から、死はほとんど隠蔽されている。たとえば私たちが日常的に摂取している食肉は、生存していた頃の姿を全く想起させない形で店頭で並んでいる。家族や親族の臨終や葬儀さえも身内ではなく、病院関係者及び葬儀社等によって差配されている。たとえ大切な家族や恋人、友人であっても、死者の身体を清め、自ら埋葬する人間は現代の日本ではほとんどいないであろう。

しかし、『鬼滅の刃』の物語世界は私たちがふだん無意識の領域に押し遣っている「死

すべき存在」としての人間の生を強く意識させる構造となっている。鬼との戦いが常に死の危険を伴うものであるだけでなく、鬼によって殺された人々や戦いに敗れた仲間たちの臨終の様子や彼らへの弔い、そして亡くなったはずの大切な家族・恋人・仲間たちの蘇った姿が度々描かれているのである。

「いのち」とは、「生物の生きてゆく原動力」⁽²⁾を指す。死を強く意識させる物語である『鬼滅の刃』は、同時に「いのち」や「生命」「生きることの意味」を考えさせる物語でもある。本稿では、まず『鬼滅の刃』の物語世界がどのような構造になっているのかをその他界観に触れながら明らかにしていく。その上で、鬼の不死性と対比される人間の有限の生の意味について考察していきたい。

II. 『鬼滅の刃』の他界観

炎柱である煉獄杏寿郎が、無限列車の乗客2百名と炭治郎たち若手の鬼殺隊士たちを上弦の鬼猱窩座から守りきり、壮絶な死を遂げたとき、その早すぎる死を誰もが悼んだ。しかし、鬼殺隊を率いる産屋敷家の97代目当主である耀哉は悲しみを抑えた声で次のように云う。「寂しくはないよ。私ももう長くは生きられない。近いうちに杏寿郎や皆のいる…黄泉の国へ行くだろうから」。

皆とは耀哉が毎日のように墓参を続けている、鬼との戦いの中で散っていった鬼殺隊士たちのことであろう。煉獄杏寿郎も、そして先に逝った彼の仲間たちも代々の炎柱たちもおそらくそこにいるのだ。『鬼滅の刃』の世界には、黄泉の国が存在しているのである。

そして、黄泉の国の住人たちは時折、現世に姿を現して必死に戦う鬼殺隊士たちに示唆を与え、励まし、温かく包み込む。無限列車編においても、魘夢の夢に囚われていた炭治郎を覚醒させる契機となったのは、「炭治郎、刃を持って。斬るべきものはもう在る」という、亡くなったはずの父の言葉であった。何より、猱窩座と死闘を繰り広げて重傷を負った煉獄が最期の時に接したのは、温かく優しい亡母の笑顔とねぎらいの言葉であった。

人は亡くなくても魂となって現世に戻って来ることが出来る、この世の他にあの世が存在する、もしくは死者の行く黄泉の国が存在するというのは、日本人の伝統的な他界観である。古代の日本人たちは現世である葦原中国の他に神々の世界である高天原と、死者が下っていく黄泉の国（または根の国）の存在を信じていた。『古事記』及び『日本書紀』には既に黄泉の国の様子が描かれている。神代において伊耶那岐命と伊耶那美命が夫婦となり、大八嶋国や様々な神々を生み出していく。最後に火の神である火之夜芸速男神を生んだ際に伊耶那美命が大火傷を負い、亡くなってしまった。妻の死を嘆き

悲しんだ伊耶那岐命は黄泉の国まで赴き、妻を取り戻そうとするが、それはかなわず、一人で冥界から帰還するのである。⁽³⁾

このような冥界下りの物語は、ギリシア神話をはじめとする他国の神話でも語られている。⁽⁴⁾ 愛する者の死は誰にとっても耐えがたい苦痛と悲しみを生むことから、普遍的なテーマとして神話でも取り上げられて来たのであろう。日本の記紀神話においては、あの荒ぶる速須佐之男命も少年時代には「母のいる根の国に行きたい」と泣きわめいて父神である伊耶那岐命を困惑させるのである。しかし、ここで確認したいのは仏教伝来以前の日本人たちはおそらく現世の行いの善悪に関係なく、死者は全て黄泉の国へ行くと考えていた点である。伊耶那岐命は、黄泉ひら坂で伊耶那美命と別れる際に千引きの石でその坂路を塞いで縁切りの呪言を唱えた。二神は最後に、次のような言葉を交わしている。⁽⁵⁾

爾くして、千引の石を其の黄泉ひら坂に引き塞ぎ、其の石を中に置き、各々対き立ちて、事戸を度す時に、伊耶那美命の言ひしく、「愛しき我がなせの命、如此為ば、汝が国の人草を、一日に千頭絞り殺さむ」といひき。爾くして、伊耶那岐命の詔ひしく、「愛しき我がなに妹の命、汝然為ば、吾一日に千五百の産屋を立てむ」とのりたまひき。⁽⁶⁾

死神さながらの伊耶那美命の言葉に、伊耶那岐命は人間の繁栄を約する言葉で応えている。しかし、ここで注目したいのは、人間の死も生も神の手の内であると語りながらも、生前の行いといおうか、人間の生き方の善悪がその寿命や死後の行き先には全く影響しないということである。記紀神話において語られる他界観は、仏教やキリスト教が現世の信仰の厚さや罪の有無によって極楽（または天国）へ行けるのか、それとも地獄に落ちるのかというように、死後の行き先に大きな違いが生じるのだと懸命に説くのは対照的である。つまり、日本人は仏教を知ることによって他界にも様々な世界があることを知ったのであり、おそらく『鬼滅の刃』にもそれが反映されている。人である鬼殺隊士の臨死体験及び臨終の様子は、鬼たちのそれとは全く違う描かれ方をしているからだ。

たとえば鬼殺隊士となった炭治郎と禰豆子、善逸、そして伊之助が初めて鬼たちと死闘ともいえる闘いを繰り広げた那田蜘蛛山の戦いを思い起こしてみよう。蜘蛛の毒に侵され、死の恐怖に怯え苦しみながらも戦い続ける善逸は、自らを育ててくれた雷の使い手である桑島慈悟郎の面影を思い出す。「一つのことしかできないなら、それを極め抜け。泣いてもいい、逃げてもいい。ただ諦めるな」という、力強いじっちゃんの励ましの言葉は絶体絶命の善逸を奮い立たせる。また、蜘蛛の鬼の中でも最も巨大で凶悪な父役の

鬼に捕まってしまう、頸椎を握り潰されそうになった伊之助の頭の中を走馬燈がよぎる。面影さえおぼろな美しい生みの母と別れる直前の崖上の記憶。温かく世話をやき、伊之助の好物を作り、武運を祈ってくれた藤の花の家紋の家の老婆の温顔。彼女たちの愛情が瀕死の伊之助を奮い立たせ、戦う力を甦らせる。そして、蜘蛛の鬼たちのリーダーであり、十二鬼月と呼ばれる最強の鬼の一人である累と対峙した炭治郎は、文字通り死闘を繰り広げる。彼の危機には禰豆子が、また亡くなったはずの父母が生前そのままの姿や声で力強く支え続けてくれるのだ。

一方で、那田蜘蛛山の鬼たちはリーダーである累の命令で疑似家族を形成している。しかし、その家族の絆は偽物であり、互いの危機の際にも機能しない。仲間との連携、失われたはずの家族の陰の支えもある炭治郎たち鬼殺隊士とは対照的である。その臨死における態度にも大きな相違があり、鬼殺隊士による死を解放と捉え、声もなく消滅していく鬼もいれば、数多くの人間を食い殺しながらも全くその罪を認めようとはせず、最期まで命惜しさにあがく鬼もいる。そして、那田蜘蛛山の鬼たちを支配し、数多くの人間を殺戮して来た累は、その死の瞬間に自らの過ちによって失った父母の記憶を甦らせるのだ。深い後悔の念にかられた累は叫ぶ。「ごめんなさい、全部全部、僕が悪かったんだ。どうか許してほしい」「でも、山ほど人を殺した僕は地獄へ行くよね、父さんと母さんと同じところへは行けないよね」と嘆く累の元へ現れた両親は、彼を抱きしめ「一緒に行くよ、地獄でも」「父さんと母さんは累と同じところへ行くよ」と告げるのである。父母に抱きしめられた累の表情からは鬼の面影が消え去り、人間だった頃の累に戻っていく。そして、父母にしがみついて謝り、泣きつづける累を両親は抱きしめ、燃え盛る炎が親子三人を包みこんでいくのである。

他の十二鬼月の鬼が亡くなる時にも同様の現象が見られる。遊郭編の墮姫と妓夫太郎が首を斬られ、いよいよ消滅するという時、中有の闇の中で兄妹は再会する。自分が育てたせいで、妹は悪に染まってしまったと考えていた妓夫太郎は別々の道を行こうとするが、妹はその背にしがみついて離れず「離れない、絶対離れないから！ずっと一緒にいるんだから！」「何回生まれ変わっても、アタシはお兄ちゃんの妹になる！絶対に！」と叫び、子供の頃の約束を忘れたのかと兄に訴え続ける。吉原遊郭の場末で親に望まれずに生まれ、貧困の中で苦勞して育った二人はいつも肩を寄せ合い、助け合いながら懸命に生きて来たのである。幼い頃の約束を思い出した妓夫太郎は、妹の想いを受け入れてその身体をしっかりと背負い直す。その兄妹を燃え盛る地獄の業火が包み込んでいくのである。

この後の無限城の戦いにおける猗窩座の最期も同様であり、貧困や虐待、病苦、そして復讐等から罪を犯した人間たちが、その残虐性や強靱さによって無残に目を付けられ、自らの意思と関わりなく鬼になったのだとしても、彼らの死後の行き先は地獄の業火の

中であると、『鬼滅の刃』では繰り返し表現されている。いったい何故なのだろうか。これは、先に述べたような日本人の他界観が、仏教の影響で変化したことを示すものでもある。生前の行いや罪の有無によって死後の世界は大きく変わり、死者の行き先は、天界から人道、修羅道、畜生道、餓鬼道、地獄道まで六道もあるというのが仏教による他界観である。仏教において人間が死ぬことを死有というが、仏教は輪廻転生を説く宗教であるから、生ある者は何度も生まれ変わる。死有から次の来世における生命の誕生までの期間を中有という。中陰とも呼ばれるこの期間に、私たち凡人は死出の旅に出て暗い山を登り三途の川を渡って、秦広王をはじめとする十王たちの裁きを受け、どの世界に生まれ変わるのかが決まるといわれている。しかし、優れた善人や殺生を行ったような極悪人は異なる。その死の瞬間、中有を経ることなく、すぐさま行き先が決まるのである。たとえば釈尊の従弟であり当初は弟子であったのに、次第に釈尊と反目し、何度も釈尊を殺そうと試みたデーバダッタは、猛毒で釈迦を傷つけようとした途端に足許の大地が裂けて、生きながら地獄に落ちたといわれている。⁽⁷⁾

また、『日本霊異記』には次のような話がある。吉志火麻呂は武蔵国多麻の郡鴨の里の出身であったが、聖武天皇の御代に防人となって筑紫の国に赴任した。当時の法によって従者として母を連れていき、身の回りの世話をしてもらっていたが、火麻呂は故郷に残して来た妻に会いたくてたまらなかった。赴任して3年が過ぎる頃、火麻呂は母を殺してその喪に服し、兵役を免れて妻の許に戻ろうという「逆なる謀」を企てた。母は信心深い人であったので、火麻呂は東の方の山で華嚴経を説き奉る大法会があると騙して山中へと母を連れ込み、太刀を抜いて切り殺そうとした。母は「汝、鬼に託へるにや」と驚き、人としての道を説くが、火麻呂は受け入れない。母は仕方なく、3人の息子たちに衣を残すよう遺言してから、火麻呂の前に跪いた。⁽⁸⁾

逆なる子、歩み前みて、母の項を殺らむとするに、地裂けて陥ル。母即ち起ちて前み、陥る子の髪を抱き、天を仰ぎて哭きて、願はくは、「吾が子は物に託ひて事を為せり。実の現し心には非ず。願はくは罪を免し脱へ」といふ。猶し髪を取りて子を留むれども、子終に陥る。⁽⁹⁾

自分を殺そうとした息子が地の底に落ちていったのを母は嘆き悲しみ、その手に残った髪を仏前に備えて、息子のために追善供養を行ったという。しかし、この説話の語り手は、不孝の罪は直ちに明らかになり、悪逆の罪には必ず報いがあると語るのを忘れた。⁽¹⁰⁾ 火麻呂が十王たちの裁きを受けることなく、即座に地獄に落ちたのは仏教の教えに基づく因果応報なのである。

おそらく『鬼滅の刃』の鬼たちも同様であり、死有と共に八大熱地獄のいずれかに落

ちていくものとして描かれているのだろう。鬼は仏教が最も戒める殺生を行う。人間を殺し、その血や肉を喰らい、その数が増えれば増えるだけ鬼の力も寿命も増すといわれている。つまり、『鬼滅の刃』の物語世界で強く長く生きた鬼ほど八層もあるという地獄の深い闇の底に落ちていくことになるのである。

そして、千年にもおよぶ鬼と鬼殺隊士たちの戦いの歴史の中でも「最終決戦」と位置付けられる無限城における戦いにおいては「地獄」という言葉が頻出する。

無限城における戦いの幕開けは、余命幾許もない産屋敷家第97代目当主耀哉が、自らを囷として鬼舞辻無残を誘き寄せたことに始まる。無残との会見を初めて果たした耀哉は、「自分にはそれほどの価値はない」「しかし、自分が死ねば鬼殺隊の士気は確実にあがる」として、無残の力を削ぐために妻子諸共、爆死する。産屋敷邸がすべて炎上するような爆発に巻き込まれても無残は死なないが、彼を抹殺することに執念を燃やす珠代にも襲われ、鬼から人間に戻すための薬を投与される。また、炎上する産屋敷邸に駆け付けた鬼殺隊の柱や炭治郎たちにも決死の覚悟で迫られると、「これで私を追い詰めたつもりか。貴様らがこれから行くのは、地獄だ。目障りな鬼狩り共。今宵、皆殺しにしてやろう」という言葉と共に異空間にあった無限城を呼び寄せ、その中へと逃れていく。そして、その後を追う炭治郎たちと無残配下の鬼たちとの壮絶な最終決戦が始まるのである。上弦の鬼も鬼滅隊の柱たちも熾烈な戦いに傷つき倒れ、次々と亡くなっていく。文字通り地獄さながらの世界が現出するのであるが、実はこの戦いにおいて初めて地獄の対概念である「極楽」の有無が取り沙汰されるのである。

無限城において炭治郎は義勇と共に、炎柱である煉獄杏寿郎を殺害した上弦の参の鬼猗窩座と遭遇する。鬼たちとの戦いにおいて数々の死線を潜り抜けて来た炭治郎は、あの運命の夜とは別人のような戦いぶりを見せる。「強さというのは肉体に対してのみ使う言葉ではない。この少年は弱くない。侮辱するな」という煉獄の言葉の正しさを認めようとする猗窩座だったが、炭治郎の言動が不快な金属音のように彼の神経に触り、苛立たせる。それは天涯孤独な少年であった人間の頃の猗窩座を救った、恩人であり師範でもある慶蔵に炭治郎が似ているためだった。

徹底して罪なき弱者を庇うという理念を煉獄から受け継ぎ、また家族を守るため巨大な熊と戦う亡父の姿勢から示唆を受けた炭治郎は、義勇と共に猗窩座を追い詰めていく。終始、正々堂々と戦いを挑んだ炭治郎に敗北を喫した猗窩座は再生を拒み、潔く地獄へ赴こうとする。その時、忘れ果てていた恩人の慶蔵と許婚の恋雪が現れるのだ。師範は弟子であり、息子になるところであった猗窩座を決して見捨てないと語り、しかし苦笑して付け加えるのである。「天国には、連れて行ってやれねえが」と。許婚の恋雪は自分を守ろうとして強くなった猗窩座の心と呼び覚まし、人間だった頃の記憶を甦らせ、彼を抱きしめる。泣きながら、恋雪と抱き合う猗窩座の身体を地獄の業火が包んでいく

のである。

また、虫柱の胡蝶しのぶとの戦いの最中において万世極楽教の教祖でもある上弦の弐の鬼童磨は、極楽など存在せず「地獄も極楽も頭の悪い人間がつくり出した妄想」だとも述べている。いずれにしても、「天国」や「極楽」は存在する可能性のみが語られ、『鬼滅の刃』においてその光景が描かれることはない。人や鬼が亡くなった直後の中有の闇の世界や三途の河の光景、そして地獄の業火等が繰り返し表現されているのとは対照的である。

これらのことから、『鬼滅の刃』の物語世界は現実である此岸と、彼岸である来世の中でも特に地獄に注目して造形されているといえよう。最終決戦の最中、猗窩座は既に修羅道に落ちているとも語られており、仏教における六道のうちの人道や修羅道、地獄道等を取り上げて『鬼滅の刃』の物語世界は構築されているのである。物語の前半で命を落とす炎柱の名も煉獄であり、煉獄家は鬼殺隊発祥の時代から代々、炎柱を務めてきた家柄であると語られている。煉獄とは西洋中世に発達した思想であり、地獄に落ちるほどではないが、生前に罪を犯した人々が死後、改悛のために落とされる場のことである。しばらくの間、その罪の償いとして地獄の業火で焼かれて苦しむことになるが、心からの改悛を認められれば、天国に行ける切符を手に入れることができる場なのだ。⁽¹¹⁾つまり、煉獄とは鬼を成敗する柱にふさわしい名前であり、鬼が鬼であり続けることによって重ねてきた罪から逃れ、地獄であるにせよ、煉獄であるにせよ、他界へと旅立つための引導を渡す役目を担っていることを示唆するものと思われる。

III. 山という異界

『鬼滅の刃』の物語時間は大正時代であり、日本の原風景のような里山や鬼の棲む深山、近代化の進む東京や蒸気機関車、人々の欲望の渦巻く吉原遊郭、そして異空間に浮かぶ無限城等がその物語の舞台となっている。主人公の炭治郎は、炭焼きを生業とする竈門家の長男であり、炭治郎の先祖である炭吉が妻のすやこと共に日の呼吸の剣士が残した山の家に住みつき、炭焼きを始めたのだとされている。

炭治郎たち親子6人が暮らしていた雲取山には元々鬼が出るという伝承があり、雪の宵に炭の行商を終えて山に戻ろうとする炭治郎を、麓に住む知り合いの三郎爺さんが引き止め、同宅で一夜を過ごしたおかげで彼は九死に一生を得たのである。また、岩柱である悲鳴嶼行冥がかつて山寺で孤児たちと暮らしていた地方にも鬼の脅威の伝承が根強く残っており、夜は鬼の嫌う藤の花の香炉で焚く香を絶やさなかったという。日の呼吸の剣士の子孫である時任無一郎の一家は柚人であり、やはり山で暮らしていた際に双子の兄を鬼によって殺されている。

日本各地に伝わる民話や伝説でも一般に鬼は山に棲む者とされており、時折都や人里に下って来ては悪行をはたらくのである。折口信夫は、鬼について次のように述べている。

おにという語は、日本固有の語で、隠でも陰でもなかった。鬼をものと訓じ（此は魔の降格かもしれぬ）、おにと称したのは、語に両面の意があったからである。おにの第一義は、「死人の魂」で神に近いものと思う。其が段々悪く考えられて安住せぬ死霊のように思われて行った。恐らく常世神とまではならぬ先祖の霊と常世神との間の、死の国の強力者とも言うべき、異形身を考へては居たであろう。死の国において、皆現世の身を失うて変形するものと考えて居たのである。＜中略＞其変化した考え方から人の魂でも、身を離れて悪化した場合には言うている。おにの居る処は、古塚、洞穴などであるらしい。死の国との通い道に立つ塚穴である。⁽¹²⁾

折口の言葉から確認しておきたいのは、鬼は「死人の魂」に近く、現世のような身体を所持してはいないこと、死の国の強力者ともいうべき存在で、現世においても死の国との通い道である古塚や洞穴等に居るらしいという点である。もちろん、鬼の形象については諸説あるが、『日本霊異記』の吉志火麻呂の話においても、己を殺そうとする息子に向かって母は「鬼に憑かれたのか」と叫んでいる。古来、鬼は物の怪や幽霊と同様に現実世界での実体を持たない、人や動物等に寄り憑くものと考えられていたのである。また、鬼と死の国及び死者との関係も深く、死の国との通い路である古塚や洞穴に、つまり人里離れた荒れ果てた地域や山に棲むものとされて来たのである。

しかしながら、山は古代日本においては信仰の対象であり、神の御神体そのものか、神の住まう御座所であった。それが何故、「死人の魂」に近い鬼の棲む場所であり、死の国への通い道のある場所に変化してしまったのであろうか。

佐藤弘夫は、日本列島では平安時代後期にその思想や世界観に大きな変動が生じたため、山に対する観念が変化したのだと述べている。浄土信仰が広まり、現世とは隔絶した遠い他界の観念が膨張し、人々は現世における生よりも来世において浄土に生まれ変わることを強く祈念するようになった。釈迦が入滅してから2千年の時を経て、娑婆世界と言われる現実世界は末法の世を迎えようとしていた。仏教的な世界観では、この宇宙には娑婆以外にも無数の世界があり、その一つひとつに仏が存在する浄土があるとされる。特に極楽は西のはるか彼方に位置すると考えられており、西方浄土とも呼ばれた。つまり、人々は現世で厚い信仰を持ち善行を積み、彼岸に生まれ変わることをその生の目的とするようになったのである。その彼岸と此岸の橋渡しをするのが、仏であり、仏像であった。釈迦の入滅後、その姿を追慕して造られたのが、仏像であったからだ。ま

た、聖徳太子や弘法大師等の聖人も、浄土におわす仏の化現として人々を浄土に導く存在であると考えられるようになった。それらが祀られる霊場は、この世の浄土であるのと同時に他界の浄土への入り口と考えられるようになった。こうした世界観の転換に伴い、この世でもっとも清浄な場とされながらも、古代と中世では山の位置づけをめぐって決定的な違いが生じたのだと佐藤は指摘する。⁽¹³⁾

中世でも、山はあいかわらずこの世でもっとも清浄な地とみなされていた。そのため、霊場はしばしば山中に設定された。しかし、現世そのものが究極の「浄土」である他界へ至るためのステップとみなされていた中世では、山はもはや人間が到達すべき最終的な目的地ではなく、そこに至る中継点にすぎなかった。奥の院に鎮座する聖人も至高の救済者ではなく、彼岸の仏と人間を取り次ぐ存在＝垂迹でしかなかったのである。来迎図にみられた、深山から弥陀が来迎するという構図は、そうした中世人の山の観念を端的に示すものだった。

古代の場合、山は浄化の完了した死者がカミとして留まる理想の地だった。それに対し中世では、山に留まる死者はまだ救済が成就しない者たちだった。⁽¹⁴⁾

山が鬼の棲みかとして捉えられていく過程が想像できる意見である。世界観や死生観は日本においても時代によって様々に変化するが、中世ヨーロッパにおいてもキリスト教が広まり庶民にまで浸透すると、生と死に関する人々の考え方は大きく変わった。この世で起こる出来事はすべて神の摂理の中にあると考えられ、キリストの降臨とその死、復活を通じて、人々は最後の審判の日に得られる永遠の命を信じるようになり、その死生観は変化していく。つまり、人々は天国と地獄の存在を信じて、現世における行いと天国での救いを非常に気にかけて人生を送るようになったのである。そのため、最も尊い善行であり、贖罪にもなると信じられたキリスト教会への寄付が爆発的に増加した。それによって教会は、中世の美術を代表するような壮麗な寺院を建てて各都市に君臨していくことになる。⁽¹⁵⁾ その様相は、日本の中世における仏教寺院の発展にともなう人々の世界観、死生観の変化と酷似している。何故なのだろうか。

それは、東西どちらの世界においても中世という時代が、人間が人生を生き抜くには過酷な時代であったからであろう。ヨーロッパの「中世の人びとの周囲は死に満ちていた」と阿部謹也は述べている。「栄養状態は悪く、病気にかかれば死を覚悟しなければならず」、「市の外にはいつも犯罪者の死体が吊り下がって」おり、「市場には生き倒れの人の死体もしばしばみられた」という。⁽¹⁶⁾ もちろん日本の中世の状況も同様であり、平安京では犬が死体の一部をくわえて持ってきて、貴族の屋敷や内裏が「五体不具穢(死体の一部だけが存在する場合の穢)」によって穢されるという出来事が多発していたと

いう。⁽¹⁷⁾ 芥川龍之介の小説『羅生門』に見られるように市中の寂れた場所や路上等に死体や死にかけている病者が遺棄されるのは、平安京の日常的な光景だったのである。つまり、中世の人々にとって生はあまりに短く儂く、死は非常に身近な存在だった。多くの人々が来世を信じて、彼岸における輝かしい永遠のいのちを想像し信仰を深め、それを頼みに過酷な現世を生き抜こうとしたのであろう。

中世を通じて支配階層と庶民の貧富の格差は大きく、鬼とは「王朝繁栄の暗黒部に生きた人々」であると馬場晶子は述べている。また、馬場は鬼の系譜として、以下の五つを挙げている。一つめは日本民俗学上の鬼（祝福にくる祖霊や地霊）であり、最古の原像である。二つ目は、修験道の発展と共に山人系の人々が活躍していく山伏系の鬼や、天狗がいる。三つ目として、仏教系の邪鬼、夜叉、羅刹、地獄卒、馬頭鬼の出没も人々を恐れさせた。四つ目として、人鬼系というか、放逐者、賤民、盗賊などである。五つ目は、変身譚系として、怨恨・憤怒・雪辱等の契機により、その情念をエネルギーとして、復讐を遂げるために鬼になることを選んだ者である。⁽¹⁸⁾

つまり、山は聖地として尊ばれながら、修験者たちの道場としても、盗賊や賤民、落人たちの棲みかとしても機能していたのであり、聖と俗の両義的な意味を持つ場となっていたのである。しかし、ここでは山と炭治郎の話に戻ろう。物語の冒頭で炭治郎は炭焼きを生業とする少年として登場する。竈門家は代々炭焼きを生業としており、父を亡くした彼はまだ14歳の少年でありながら、炭焼きという重労働に従事して一家を支えているのである。年の瀬も迫った雪の降る寒い日の午後、重い炭の荷を背負った炭治郎は里へと行商に出掛ける。家族のために少しでも多くの食料品等を持ち帰るつもりだったのだろう。しかし、悲劇はその隙を突いて起こった。炭治郎が山の家を空けた、わずか一晩のうちに一家は鬼に襲われ、妹の禰豆子を除いて惨殺されてしまうのである。人里離れた深い山の中で孤立して生計を立てる竈門家には、それまでも度々災厄が襲ったであろう。例えば、炭治郎がまだ幼い時には、深夜に巨大な熊の襲撃を受けている。深夜に罨に触れた熊の気配に気づき、炭治郎を伴って戸外へと出た父は、斧による一撃で巨大な熊を倒した。炭治郎はそれを「見取り稽古」をさせてもらったと解釈していたが、別の観点から見れば、次代の竈門家を守るのは長男である炭治郎であることが明らかになる場面でもある。早逝した父に代わって、危険な山の暮らしから家族を守り抜かなくてはならないのだ。

しかし、物語の冒頭から炭治郎はそれに失敗した惨めな無力な少年として描かれる。鬼となった禰豆子さえも上手く扱えず、危ないところを救ってもらった義勇からは厳しい言葉を投げかけられる。雪の降る深い山の中で、彼はかつてないほどの不幸と孤独を味わいながら、人生の岐路に立たされるのだ。そして、炭治郎にとって山は故郷であるのと同時に試練の場、修行の場、修羅の場であり続ける。鬼殺隊士になるための修行も、

鬼たちと戦った最終選別も、那田蜘蛛山の鬼たちとの戦いも、柱稽古で向かった悲鳴嶼行冥の住む山も、強くなるために、生き抜くために仲間達と共に格闘する場となるのである。そして、それは常に死と隣り合わせの生を生きることであった。

IV. 「いのち」の意味

『鬼滅の刃』の第1話「残酷」と大正篇の最終話である第204話「鬼のいない世界」には幾つかの共通点がある。物語のプロローグにおいて故郷の雲取山から旅立った二人の兄妹が、戦いを終えてまた故郷の山に帰るといふ古い物語の話型が踏襲されているからである。鬼退治の冒険譚であり、鬼と人との残酷な戦いの物語であるのにも関わらず、『鬼滅の刃』において特徴的なのは、死者を悼むという行為が度々描かれるという点である。

物語の始まりに家族5人を鬼舞辻無残によって惨殺された炭治郎は、住居の裏手に大きな穴を掘り、彼らを丁寧に埋葬した。そして、たった一人残された家族である禰豆子と共に、故郷の山から旅立っていく。鬼殺隊士の一員として、長く困難な鬼との戦いを経た後、生き残った兄妹は負傷した傷が癒えると3日間をかけて、すべての鬼滅隊士たちの墓に花を供えてその冥福を祈った。そして再び、故郷の山に帰って来るとすぐさま家族の墓の前に炭治郎と禰豆子は跪く。誰が植えたのか、家族の墓には花々が咲き乱れており、その前で手を合わせて冥福を祈ろうとした兄妹は、「おかえり」という家族の声を耳にして号泣するのである。亡くなったはずの家族の温かさを確かに二人は感じたのだ。

また、前述したように鬼殺隊士や鬼たちの臨死体験や臨終の様子も、数多くの場面で描かれている。例えば、蟲柱である胡蝶しのぶの最期は正に悲劇的であるが、姉妹の絆を強く感じさせる場面でもある。胡蝶しのぶが無限城における戦いにおいて姉の敵の鬼、童磨と対峙した時、日輪刀に籠められていた鬼殺しの毒はなかなかその効力を発揮することは出来なかった。上弦の弐の鬼である童磨は優れた異能を持ち、しのぶが決死の突き技を繰り出しても、即座にその傷を治癒させて毒も分解してしまうのだった。やがて童磨との戦いの中で、体力に劣る小柄な女性剣士であるしのぶは、致命的な傷を負ってしまう。鎖骨、肺、肋骨を深く斬られて出血し、倒れ込みそうになったしのぶの心に亡くなったはずの姉、花柱の胡蝶カナエの声が響きわたる。「しっかりしなさい、泣くことは許しません」と。心の中でしのぶが、姉に無理だと答えると「関係ありません。立ちなさい、蟲柱、胡蝶しのぶ」「倒すと決めたなら、倒しなさい。勝つと決めたのなら、勝ちなさい」「どんな犠牲を払っても勝つ。私とも、カナヲとも約束したんでしょ」「しのぶなら、ちゃんとやれる。頑張って」と、在りし日の姉の凛とした声そのままの激励

を受けたしのぶは、決死の覚悟で立ち上がる。しかし、最後の突き技と共に童磨に抱きしめられて彼に喰われてしまうが、それはしのぶの計略であった。彼女は女好きの鬼である童磨の行動を見越して、自分の身体を藤の花の毒に慣らし、血中の毒の濃度を最大限に引き上げていた。文字通り彼女は人柱として、姉の仇である鬼を自分の命と引き換えに倒そうとしたのだ。そして、彼女の捨身の計略は血の繋がらない妹であるカナヲと猪之助によって完遂されることになる。

ここで確認したいのは、死を覚悟した人間や臨死状態にある鬼等が、走馬燈のように過去を想起したり、亡くなったはずの人間から声をかけられる場面が『鬼滅の刃』においては頻出するということである。また、その際に姉妹の絆、親子の絆といった家族の心の繋がりがや、仲間との強い絆などが描かれることが多い。孤立し、無力で、今にも打ちひしがれそうな人物や、深い傷を負って瀕死の状態である鬼殺隊士に、ふと寄り添うようにして死者が姿を現し、温かく深い意味を持つ言葉をかけるのである。

そして、先に述べた累や猗窩座のように現世の行いを悔やむ鬼にも、死者の魂は寄り添い続ける。無論、いのちをかけて鬼と戦う鬼殺隊の当主や隊士たちには、死者たちも助力を惜しまない。炭治郎や禰豆子がその危機の際に父母や弟たちに助けられる場面は数々あるが、印象深いのは無残との最終決戦において、父の急逝によりわずか8歳で戦いの指揮を取る産屋敷輝利哉が、突然屋敷を飛び出した禰豆子への対応に窮する際に、懐かしい父の声を聞く場面である。苦しい戦いの最中に「禰豆子は好きにさせなさい。大丈夫だから」という、生前と変わらぬ穏やかで優しい父の声とその温かい手の感触を感じた輝利哉は思わず涙を流す。肉体は失われても決して途絶えることのない父の深い愛情と強い信念をその後継者が感じ取る名場面だといえよう。「心は人の原動力だから」という言葉は、『鬼滅の刃』において繰り返し語られるが、心によって繋がっている死者と生者の交流は決して途絶えることのないものとして、作品の中で描かれているのである。

また、そのような死者と生者の交流を表現するためにも、『鬼滅の刃』の物語世界は、現世である大正時代の日本のみではなく、死後の世界である中有や業火の燃え盛る地獄までも続く拡がりを見せているのであろう。つまり、『鬼滅の刃』に描かれた「いのち」は現世のみを生きる存在ではなく、死後も魂となって黄泉の国をはじめとする他界に存在し、時には現世の人間や鬼に関与するものとして描かれているのである。これは、いわゆる日本人の伝統的な他界観、生命観を基にしているといえよう。柳田國男は次のように述べている。

日本人の多数が、もとは死後の世界を近く親しく、何かその消息に通じているような気持ちを、抱いていたということにはいくつもの理由が挙げられる。〈中略〉

第一には死してもこの国の中に、霊は留まって遠くへはいかぬと思ったこと、第二には顕幽二界の交通が繁く、単に春秋の定期の祭だけでなしに、いずれか一方のみの心ざしによって、招き招かるることがさまざま困難でないように思っていたこと、第三には生人の今はの時の念願が、死後には必ず達成するものと思っていたことで、これによって子孫のためにいろいろの計画を立てたのみか、更に再び三たび生まれ代わって、同じ事業を続けられるものごとく、思った者の多かったというのが第四である。⁽¹⁹⁾

近代日本においては文明開化によって、超自然的存在に対する科学者の自然主義的態度は一般化していたから、江戸時代のように幽霊や鬼、妖怪といったものの存在を信じる者たちは激減していたはずである。しかしながら、一方でまた靈魂の存在や先祖を敬う心を保持し続ける者もまた多かった。柳田はそのような死後の世界に対する日本人の心情を考察しているのであるが、特に興味深いのは、第二～第四の理由であろう。春秋のお彼岸やお盆に先祖の霊がその家に戻って来ると信じている人々は現代でも存在するが、死者または生者いずれか一方が強くと念じれば、お互いを招き招かれることが難しくないと考えられていた点は、正に『鬼滅の刃』において数多く描かれた死者と生者の交流の場面の根拠であろう。そして、死に際の念願が成就すると信じられていたこと、生まれ変わってでも同じ念願を叶えようとする者がいたという記述は、産屋敷耀哉の最期の言葉を思わせる。

彼は他者を踏みにじっても永遠の命を求めようとする無残に向かって「この千年間、鬼殺隊は無くならなかった。可哀想な子供たちは大勢死んだが、決して無くならなかった」「大切な人の命を理不尽に奪った者は許さないという想いは永遠だ」と述べるが、これは『鬼滅の刃』を貫く理念でもあろう。自らの短い生の終焉に「人の想いこそが永遠であり、不滅なんだよ」と述べる産屋敷耀哉の信念に満ちた姿は、徹底して利己的な支配欲の塊であり、「何百何千という人間を殺しても私は許されている」「この千年、神も仏も見たことがない」と述べる無残の不遜な態度と対極を成している。そしてまた、多くの犠牲者を出した戦いを終えて、故郷の山に戻り家族の墓の前に跪いた炭治郎は禰豆子と共に、次のような感謝の祈りを捧げるのである。「みんなに繋いでもらった命で俺たちは、一生懸命生きていきます」と。

つまり、人の「想い」は、「いのち」は繋ぐもの、受け継ぐものであるという生命観が『鬼滅の刃』の根底には流れている。「いのち」を独立した、個別的なものとして考えず、祖先から受け継ぐものとして考えているだけでなく、理念を同じくする仲間たちとの共生を重視する姿勢もそこには見られるのである。

『鬼滅の刃』の物語時間と同時期の大正時代に宮澤賢治によって執筆された「ひかり

の素足」という童話がある。この童話と『鬼滅の刃』には不思議なほど幾つもの共通点がある。まず、「ひかりの素足」の物語は冬山の山中から始まる。主人公は一郎という名の少年で炭焼きを営む農民の息子であり、櫓夫という弟がいる。ある冬の日の昼下がり、二人の兄弟は父の炭焼き小屋から、峠を一つ越えたところにある家に居る母の許に帰ろうとするが、峠を前にして突然の吹雪に遭ってしまう。

風がもうまるできちがひのやうに吹いて来ました。いきもつけず二人はどんどん雪をかぶりました。〈中略〉

一郎は毛布をひろげてマントのまゝ櫓夫を抱きしめました。

一郎はこのときはもうほんたうに二人とも雪と風で死んでしまふのだと考へてしまひました。いろいろなことがまるでやはり燈籠のやうに見えて来ました。正月に二人は本家に呼ばれて行ってみんながみかんをたべたとき櫓夫がすばやく一つをたべてしまつても一つを取つたので一郎はいけないといふやうにひどく目で叱つたのでした、そのときの櫓夫の霜やけの小さな赤い手などがはっきり一郎に見えて来ました。いきが苦しくてまるでえらえらす毒をのんでゐるやうでした。一郎はいつか雪の中に座つてしまつてゐました。そして一そう強く櫓夫を抱きしめました。⁽²⁰⁾

吹雪の雪山で行く道を見失ひ、堅く抱き合う幼い二人の兄弟。弟想いの一郎の姿が炭治郎と重なる。そして、過去の出来事が「やはり燈籠のやうに」見えて来るのも、『鬼滅の刃』における臨死体験と共通している。さらに、雪山の峠への道で遭難することが最初の試練ならば、二人の兄弟の受ける次の試練は「うすあかりの国」で、つまりは中有の世界で鬼たちに追ひ立てられて苦しみながら、歩き続けることなのだ。

その恐ろしいものは頬をびくびく動かし齒をむき出して咆えるやうに叫んで一郎の方に上つて来ました。そしていつか一郎と櫓夫とはつかまれて列の中に入つてゐたのです。ことに一郎のかなしかつたことはどうしたのか櫓夫が歩けるやうになつてはだしでその痛い地面をふんで一郎の前をよろよろ歩いてゐることでした。〈中略〉

野はらの草はだんだん荒くだんだん鋭くなりました。前の方の子供らは何べんも倒れては又力なく起きあがり足もからだも傷つき、叫び声や鞭の音はもうそれだけでも倒れさうだったのでした。

櫓夫がいきなり思ひ出したやうに一郎にすがりついて泣きました。

「歩け。」鬼が叫びました。鞭が櫓夫を抱いた一郎の腕をうちました。一郎の腕はしびれてわからなくなつてただびくびくうごきました。櫓夫がまだすがりついてゐ

たので鬼が又鞭をあげました。

「櫓夫は許して下さい。櫓夫は許して下さい」一郎は泣いて叫びました。

「歩け。」鞭が又鳴りましたので一郎は両腕であらん限り櫓夫をかばひました。

いくら鬼に鞭うたれても「両腕であらん限り」弟を抱きしめて庇い続ける姿が、禰豆子を守り続けながら、鬼と対峙する炭治郎の姿と重なる。また、現世である雪山の峠において最初の試練に出会い、中有の世界で鬼によって次の試練を与えられている姿は炭治郎たち兄妹の辿って来た道と正に重なるのである。しかし、「ひかりの素足」の二人の兄弟は突然聞こえてきた「によらいじゅりゃうぼん」という法華経の一節を唱えることで救われる。その途端に「ひかりの素足」を持つ金色に輝く「立派な大きな人」が現れ、暗鬱な中有の光景は掻き消えて、美しい極楽浄土のような世界へと一変してしまうからである。しかし、不思議なことにその時、剣のように子供たちの身体を傷つけていた野原は、「平らな平らな波一つ立たないまっ青な湖水の面」に変容するのである。実は、その果てしなくつづく美しい「まっ青な湖水の面」も『鬼滅の刃』には登場する。後述するが、無限列車編で描かれた、炭治郎の無意識領域である。光り輝く「立派な大きな人」ではなく、炭治郎の優しさの化身である光り輝く小人たちも存在している、あの美しい湖のような炭治郎の内面世界である。

もちろん「ひかりの素足」における「その巨きな光る人」は釈迦如来を思わせる素晴らしい存在であり、あくまでも優しく温かく微笑みながら、一郎を始めとする子供たちの傷を跡形もなく癒して菓子まで与え、様々なことを教えてくれる。そして最後に、一郎は櫓夫と別れて元の世界へと戻らなくてはならないと告げられるのである。

「お前はも一度あのもとの世界に帰るのだ。お前はすなほないゝ子供だ。よくあの棘の野原で弟を棄てなかった。あの時やぶれたお前の足はいまはもうはだしで悪い剣の林に行くことができるぞ。今の心持を決して離れるな。お前の国にはこゝから沢山の人が行ってゐる。よく探してほんたうの道を習へ。」

その言葉と共に白く輝く櫓夫の姿を目にしなが、一郎は元の世界へと蘇る。やはり二人の兄弟は雪山で遭難し、意識を失っていたのである。二人を発見した獵師を始めとする大人たちが必死になって蘇生を試みるも、櫓夫の意識は戻らない。光輝く「大きな立派な人」の言葉通り、他界から元の世界に戻れたのは一郎だけであったのだ。しかし、ここで注目したいのは、「大きな立派な人」が一郎の人格を認め、その弟への愛情を褒めて、「ほんたうの道」を習わせるために「もとの世界」へ戻したということである。弱者である弟を決して見捨てなかったその「心持」によって、一郎は「はだしで悪い剣

の林に行くことができる」ほど強くなることが出来た。そして、「もとの世界」つまり「現世」には「こゝから沢山の人が行ってゐる」のだという。人間は輪廻を繰り返して修行を重ね、向上していくのだという仏教の教えに基づく言葉だと思われるが、まるで『鬼滅の刃』の世界観や仲間たちとの繋がり、そして成長していく炭治郎の可能性を示唆しているようにも取れて、非常に興味深い。後述するが、炭治郎の魅力の源泉はその「心」にある。山という異界から中有の世界へ、そして極楽へ、さらにもとの世界（現世）へという「ひかりの素足」の主人公一郎の運命の変転の基点に、兄弟想いの素直な良い「心」があることが、いっそう炭治郎の運命との響き合いを高めているように思われる。

V. おわりに

大切な家族や激しい戦いを共に戦った仲間であれば、誰でもその死を悼み、大切に葬ろうとするのかもしれない。しかし、炭治郎は鬼に殺された見知らぬ人であっても、ともすれば自分を殺そうとした鬼に対しても哀れみの情とその死を悼む気持ちを持っているようだ。何故なのだろうか。このような自分の気持ちを炭治郎は一度語ったことがある。鬼殺隊士によって成敗され、灰となって崩れ落ちていく子供の鬼の累を義勇が踏みじりに、「人を喰った鬼に情けをかけるな。子供の姿をしても関係ない。何十年何百年生きていく醜い化け物だ」と説いた時である。その鬼との戦いでかなり重い傷を負ったにも関わらず炭治郎は次のように述べている。

殺された人たちの無念を晴らすため、これ以上被害者を出さないため.....

勿論俺は容赦なく鬼の頸に刃を振るいます。

だけど、鬼であることに苦しみ、自らの行いを悔いている者を踏みつけにはしない。

鬼は人間だったんだから。俺と同じ人間だったんだから。

足をどけてください。鬼は醜い化け物なんかじゃない。

鬼は虚しい生き物だ。悲しい生き物だ。

いくら強大な力を誇っていても、何百年もの時を生きていても何も掴めず、何も実現できず、したがって自らの生の終わりにその意義も価値も見出すことの出来ない鬼の本質を見事に言い当てた言葉である。これが炭治郎の魅力なのだろう。ただ穏やかで優しいのではない、物事の本質を見抜くことの出来る力とその上での深い共感力。他者のいのちを奪いながら生きる鬼の、ひいては私たち人間の罪深さや原罪を露わにするような言葉でもある。

また、「無限列車」編では炭治郎の心の中が、その無意識領域まで明らかにされる。

人間の夢を操ってその精神の核を破壊し、廃人にして喰い尽くそうとする十二鬼月の一人である魘夢によって操られた人間が、炭治郎と夢を共有することで、その無意識領域にまで入り込む。侵入者であり暗殺者でもある不幸な青年が目にした炭治郎の内面世界は、どこまでも続く、澄み切った青い空と白い雲、そして美しい紺碧の鏡面のような湖が広がる、光り輝く暖かい世界であった。そこには、炭治郎の優しさを体現したかのような光輝く小人たちがおり、青年を炭治郎の精神の核にまで導いた。太陽のような、光の珠のような炭治郎の精神の核を目の当たりにして、青年は泣き崩れる。侵入者であり、鬼に操られた暗殺者でもある自分自身を恥じたのである。

前述したように宮澤賢治の「ひかりの素足」では、この「平らな平らな波一つ立たないまっ青な湖水の面」は、浄土そのものである。このような炭治郎の内面世界は、明らかに彼の純粋性や心の温かさ、包容力等を表しているが、「清き明き心」を表現しているともいえよう。日本人は古来、「清い」ということを非常に重んじてきた。たとえば、『万葉集』には「清」という言葉が頻出しており、特に「清みさやけみ」なる山川は神が宿り、天皇が住まう場所としてふさわしいと表現されて来た。⁽²¹⁾ また、『古事記』には高天原に荒々しく上って来た弟の須佐之男命に、姉である天照大御神がうけひ（祈誓ひ）を要求する場面があり、そこで明らかにしようとしたのは須佐之男命が「邪しき心」なく「清き明き心」の持主であるのかどうか、ということであった。⁽²²⁾ ひたすら心の純粋性や清澄さに価値を見出し、追求する日本人の倫理観は、古来より続く伝統的な精神であるのと同時に他民族との比較においては極めて特殊なものであると相良 亨は述べている。しかし、それは現在においても「誠実」という言葉で捉えられており、歴史的に見れば非連続性はあるものの、「正直の心」「誠」等の尊重とも重なるものである。つまり、「清き明き心」を重視する姿勢は、美しい日本の自然から生まれ、時代的変遷を経てもなお、現代の日本人にも受け継がれている倫理意識だと言うのである。⁽²³⁾

吹雪の冬山の中で家族を失い、無力だった少年が厳しい修行の末、一刀の下に巨岩を斬り、悪鬼を倒す鬼殺隊士となった。しかし、そのような辛い試練を経てもなお、どのような厳しい戦いの最中であっても、他者への思いやりと優しさを忘れない炭治郎には、生来の純粋さと誠実さがあった。その炭治郎が大きく変わる契機となったのが、炎柱である煉獄杏寿郎の死である。無限列車編において上弦の鬼である猗窩座と死闘を繰り広げて、二百人の乗客及び炭治郎たち若手隊士を守り抜いて死んでいった煉獄は、正に無私の精神を体現している存在であり、人柱であるとさえ言えよう。最後の無残との決戦の前に鬼殺隊の柱たちは皆、遺書をしたためていたというのが、煉獄も遺言を残した。弟には自分の信じる道を進むように、父には身体を大切にするように、そして炭治郎たちには、「竈門少年、猪頭少年、黄色い少年、もっともっと成長しろ。そして今度は君たちが鬼殺隊を支える柱となるのだ。俺は信じる。君たちを信じる」と最期の言葉を伝え、

息を引き取ったのである。

「いのち」の語源として「息」である「イ」と「何か霊力のある力」である「チ」を小詞「ノ」によって結び付けたという説がある。⁽²⁴⁾ 思えば「全集中」の呼吸に代表されるように、『鬼滅の刃』においては呼吸を、つまりは「息」を重要視する場面が数多く描かれる。つまり、「全集中」の呼吸とはただ大きく全力で呼吸するというのではなく、自分自身の「いのち」を一瞬も気を抜かずに全身全霊で生きる、という考え方に繋がるのであろう。正にそのような「いのち」そのもののような存在であり、「心を燃やせ」という言葉を残した煉獄は、炭治郎にそれまで欠けていた勇気と覚悟をもたらし、上弦の鬼をも倒す鬼殺隊士への成長を促すのである。

このように、妹を守るために鬼殺隊士となった炭治郎は、仲間との出会いによって大きく成長していくのであり、それは罪なき人々の命を奪う鬼を許すことはできない、という義ともいべき理念を体現するための心技体を修得していく過程ともいえる。義勇という名を持つ鬼殺隊士との出会いがすべての始まりであったことに象徴されるように、炭治郎の物語は、家族の敵討ちと妹を守るためという個人的な動機から、普遍性を持つ大義によって動かされる多くの人間たちと協働する大きな物語へと呑み込まれていく。その中でも、炭治郎は「清き明き心」を持ち続けて周りの人々の心を和ませ、優しさと強さを兼ね備えた鬼滅隊士として成長していく。『鬼滅の刃』とは単純な「いのち」の尊さを説く物語ではない。不死と永遠を希求し、理不尽に人間の「いのち」を奪う鬼たちをただ滅ぼす物語ではない。死と生が複雑に絡み合い、いま生きている者も一歩足を踏み間違えば死の領域に転落しそうな、重層的な構造を持った世界が描かれているのである。

『鬼滅の刃』を読むこととは、そのような生と死の境界に生きる炭治郎たちの生を感じ取ることである。日常生活において、私たちは現世を、つまり生者の世界のみを見つめて生きている。しかし、実は私たちの世界は死者によって強く豊かに支えられている。そして、忙しい現代社会に生きる私たちはあまりもそのことを忘却の彼方に押し遣っているのだ。「永遠というのは人の想いだ」という言葉に秘められた真理は、私たちに人間の精神の不滅と死者と共に生きる世界観の豊かさを示唆しているのである。

〔注〕

- (1) ハイデガー著 熊野純彦訳『存在と時間』第3巻(岩波書店 2013年)
- (2) 新村 出編『広辞苑 第七版』(岩波書店 2018年)
- (3) 山口佳紀・神野志隆光 校注・訳 新編 日本古典文学全集1『古事記』(小学館 1997年)
- (4) ギリシア神話には、吟唱詩人オルペウスが妻エウリュディケーを亡くして嘆き哀しみ、冥界に下って妻を取り戻そうとする物語がある。しかし、冥界からの妻の奪還は叶わなかった点でも、日本神話に近似している(アポロドーロス著 高津春繁訳『ギリシア神話』岩波書店 1953年)。

- (5) 同注 (3)
- (6) 同注 (3)
- (7) 中村 元・増田文雄監修『仏教説話大系20 地獄と極楽』(鈴木出版 1985年)
- (8) 中田祝夫 校注・訳 新編 日本古典文学全集10『日本靈異記』(小学館 2001年)
- (9) 同注 (8)
- (10) 同注 (8)
- (11) ジャック・ル・ゴッフ著 渡辺香根夫・内田 洋訳『煉獄の誕生』<新装版> (法政大学出版局 2014年)
- (12) 折口信夫「鬼と山人と」(小松和夫編『怪異の民俗学』第4巻 河出書房新社 2022年)
- (13) 佐藤弘夫『死者の花嫁 葬送と追憶の列島史』(幻戯書房 2015年)
- (14) 同注 (13)
- (15) 阿部謹也『自分のなかに歴史をよむ』(筑摩書房 2014年)
- (16) 同注 (15)
- (17) 勝田 至編『日本葬制史』(吉川弘文館 2014年)
- (18) 馬場あき子『鬼の研究』(谷川健一・大和岩雄編『民衆史の遺産 第2巻 鬼』 大和書房 平成24年7月)
- (19) 柳田國男『先祖の話』(『柳田國男全集』第15巻 筑摩書房 1998年)
- (20) 宮澤賢治「ひかりの素足」(『新校本 宮澤賢治全集』第8巻 童話Ⅰ 本文篇 筑摩書房 1995年)「ひかりの素足」本文の引用はすべて同書に拠る。
- (21) 『萬葉集』の巻第6には、元正天皇が吉野の離宮に行幸された際に笠朝臣金村が作った次のような歌がある。「み吉野の 秋津の宮は 神からか 貴くあるらむ 国からか 見が欲しからむ 山川を 清みさやけみうべし神代ゆ 定めけらしも」(抜粋)。清々しい山川に囲まれた「吉野の秋津宮は神そのもの」とまで謳われており、清らかな山川に神の本質を見出し、尊んでいた古代人の自然観が窺える。(小島憲之・木下正俊・東野治之 校注・訳 新編 日本古典文学全集7『萬葉集』第2巻 小学館 2000年)
- (22) 同注 (3)
- (23) 相良 亨『日本人の心』(東京大学出版会 2009年)
- (24) 杉本つとむ『語源海』(東京書籍 2005年)

[附記] 『古事記』、『日本靈異記』からの引用に際し、旧字は新字に改め、ルビは適宜省略した。

〔研究論文〕

じゃんけんにおける事前の宣言が 対戦相手の出し手に関する推測へ及ぼす影響

瀧澤 純

要約

じゃんけんではしばしば、自らの出し手を相手に宣言する「かけひき」が行われる。これまでの研究では、勝率を上げるような戦略が検討されているものの、宣言による効果が十分に明らかにされていない。そこで本研究は実験的手法を用いて、事前の宣言による被宣言者への影響について明らかにすることを目的として行った。被宣言者が相手の出し手を予測する2つの実験を行った。実験1ではペアの片側が宣言を行い、実験2ではペアの片側だけでなく両側が宣言する条件を設定した。2つの実験に共通して、被宣言者は宣言された出し手どおりに宣言者が出すという推測を行う傾向があった。三つ巴の意思決定において、人は三つ巴のうち一つを宣言されることで、「宣言どおりか、宣言と違うのか」という二択に思考を制限される可能性がある。また、じゃんけんが集団での役割や順番を決める社会文化的な意義をもち、習熟度の高い行動であるという点から議論を行った。

1. 問題と目的

人が順番や勝敗を決めるとき、じゃんけんが用いられることがある。じゃんけんとは、「グー」「チョキ」「パー」という3つの形の手からいずれかの手を出すことにより、三すくみの関係で勝敗を決める行動である。じゃんけんはくじ引きと比べて、道具がなくても即座に実施できるなど、手軽さの面で利点がある。

じゃんけんは広く知られており、文化的な浸透度も高い。例えば、「あっちむいてホイ」のようにじゃんけんの勝敗自体を楽しむ独立形じゃんけんが存在する（加古，2008）、給食において誰が食べるかをじゃんけんで決める行動がみられる（柴田・外山，2018）、就学前児の遊びの指導としてじゃんけんが用いられるなど（中・小西，1994）、じゃんけんが子どもの日常生活に浸透していることがうかがえる。さらに、じゃんけんにおける三すくみの勝敗関係が学習されていることを前提として、指の本数の多さを勝敗とし

て学習する課題が作成されていることや（高野，2021）、勝つ確率が3分の1であることを利用した大学生のレポートへの利用なども行われており（吉川，2012）、大人でもじゃんけんはよく知られている。また、当然ながら地域による差はあるものの、世界のさまざまな国で石・はさみ・紙を表すじゃんけんが存在している（赤穂，2021；稲葉，2015）。カナダにはかつて「World RPS Society」という組織があり、じゃんけんに関する歴史や方略についての解説を行った本が出版されている（Walker & Walker, 2004）。

これまで、じゃんけんの勝敗を左右する戦略が検討されている。有効な戦略として、相手に手を読まれるような特定の行動をしないことが挙げられる。しかし、特定の行動をしない完全にランダムなじゃんけんを行うことは困難であり、人は勝った後は手をそのままにする win-stay 戦略、負けたら手を変える lose-shift 戦略が行う傾向があるといわれている。これまで、連続するじゃんけんを扱った研究から、このような戦略を用いる傾向が人間で観察され（Dyson et al., 2016）、サルでも観察されている（Lee et al., 2005）。また、Dyson et al. (2018) は、じゃんけんで負けた後に衝動的な高速反応を行うかどうかを検討している。この研究から、敗北の後に衝動的に特定の反応をしないようにすることが、勝率を高くする方法であることが示唆されている（類似した指摘として、Forder & Dyson, 2016）。さらに、1つまたは複数の戦略を用いた場合の勝率をシミュレーションにより検討した早川・豊田（2003）によると、1つの戦略を用いるパターンは勝率が低く、3つの戦略が交互に周期的に変化するパターンが支配的となる可能性を提案している。

戦略に関して、これまであまり着目されていない点として、じゃんけんのかけひきの部分がある。特に、じゃんけんは掛け声に合わせて一斉に手を出す必要があり、お互いの同意がないタイミングではじゃんけんができない。そのため、じゃんけんを行う直前に「次はグーを出すからね」などの事前の宣言を行うことができる。しかし、このような事前の宣言に関する効果は、福田（1999）を除いてあまり明らかにされていない。福田（1999）によると、宣言することにより有利になると考えている学生は58.1%、不利になると考える学生は14.6%、不明が27.3%であった。半数を超える学生が、宣言により有利になると考えていることがわかる。また、福田（1999）では実際にじゃんけんを行う実験から、宣言者は宣言した手を多用し、被宣言者は宣言者が裏切りを行うことに対応した手をやや多く用いることを示している。ただしこの実験では、宣言者が110名で被宣言者98名と均一になっておらず、ペアのマッチングが適切に行われたのが不明であり、実験の手続きに不十分さが残されている。

目的 そこで本研究は、事前の宣言による被宣言者への影響について明らかにすることを目的として行う。被宣言者が相手の出し手を予測する段階を設け、予測に与える影響について検討する。実験1ではペアの片側が宣言する条件を設定するが、実験2では

ペアの片側が宣言する条件に加えて、ペアの両側が宣言する条件を設定する。

なお、これまでの研究から、給食の残りを食べる人を決めるじゃんけんが初対面より友人で起きやすいことから（柴田・外山，2018）、ある程度の間人関係があるペアを実験の対象とする。また、5つの性格型によるじゃんけんの勝率の差がみられないという報告をふまえて（長谷・青山，2019）、本研究では個人差の検討を行わない。

2. 実験1

2.1 方法

実験参加者 関東地方の私立大学にて心理学の授業を受講している学生29名に実験への参加を依頼した。ペア相手がいなかった1名、データの提供への同意が得られなかった1名とそのペア相手1名を除き、合計26名の13組を分析対象者とした。分析対象者の性別の内訳は男性13名、女性13名であった。年齢の平均値は20.12、標準偏差は0.32であった。

道具 実験で使用するための記録用紙を用いた。1回のじゃんけんにおける記録は、宣言した手または宣言された手、予想した相手の手、自分が出した手、相手が出した手、自分の勝敗について行った。練習1から練習4、本番1から本番6までの合計10回のじゃんけんを記録するようにした。

手続き 実験参加者全員に回答用紙を配布し、研究の説明を行った。実験は授業の課題の1つとして行った。ただし、実験への参加やデータ提供は授業の成績に関係がなく、実験への参加を途中でやめることも未回答にすることも可能であると伝えた。また、研究参加またはデータ提供に同意しない場合は、回答用紙を提出しないように依頼した。

実験を開始する前に、回答内容は学術的な目的でのみ使用すること、個人が特定できない形でデータを公開すること、データ公開前であればデータ提供への同意を撤回できること、研究に関する問い合わせ先を説明した。

実験は、ペアの作成から行った。ペアは実験者に向かって左右に座り、前後には座らないように依頼した。

練習のじゃんけんとして、練習1から練習4の4回を行った。練習1では特に条件はなく、通常のじゃんけんを行った。練習2以降はすべて、相手の出し手を予想してその後の参加者自身の出し手を決める時間を20秒間設けた。練習3では、実験者に向かって右側に座っている参加者が、くじびきによって「グー」「チョキ」「パー」のいずれかを引いた。そして、実験者に向かって左側に座っている参加者に向かって、「次は●●を出します」と宣言した。宣言は必ずくじびきを使うこと、宣言は1回だけ行うことを説明した。その後、相手の出し手を20秒間で予想した。練習4では、実験者に向かって右側に座っている参加者が、実験者に向かって左側に座っている参加者に向かって宣

言を行った。

練習の後、本番 1 から本番 6 の 6 回のじゃんけんを行った。本番 1 と本番 6 では実験者に向かって右側の参加者が宣言を行い、本番 2 と本番 5 では実験者に向かって左側の参加者が宣言を行った。本番 3 と本番 4 では、どちらも宣言を行わなかった。

各じゃんけんでは、実験者の「じゃん、けん、ぽん」という掛け声に従って、ぽんのタイミングに合わせて手を出すように求めた。実際のじゃんけんでは、宣言した手と同じ手を出してもよいし、出さなくてもよいと説明した。

2.2 結果

宣言者の出し手の種類 宣言者の出し手の種類（グー、チョキ、パー）について、宣言を行ったじゃんけんについてのみ集計を行う。最初に、練習 3 と練習 4 における計 26 試行、本番 1、本番 2、本番 5、本番 6 における計 52 試行について、被宣言者による予測を集計した。次に、宣言者による実際の出し手についても同様に集計した。以上について、回数と割合を表 1 に示す。

表 1 宣言者の出し手の種類に関する被宣言者による予測と実際

宣言者の出し手	練習 26 試行		本番 52 試行	
	予測	実際	予測	実際
グー	10 (38%)	11 (42%)	15 (29%)	17 (33%)
チョキ	6 (23%)	7 (27%)	12 (23%)	17 (33%)
パー	10 (38%)	8 (31%)	25 (48%)	18 (35%)

宣言者の出し手の種類のうち、いずれかに偏りがみられるかどうかを検討するため、表 1 の列ごとに、 χ^2 検定を行った。その結果、練習 26 試行における予測 ($\chi^2 = 1.23$, n.s.)、練習 26 試行における本番 ($\chi^2 = 1.00$, n.s.)、本番 52 試行における予測 ($\chi^2 = 3.85$, n.s.)、本番 52 試行における実際のうち ($\chi^2 = 3.04$, n.s.)、いずれも有意な偏りはみられなかった。

宣言者の宣言と出し手との対応 宣言者の宣言と出し手との対応（宣言に勝つ手、宣言どおりの手、宣言に負ける手）について、宣言を行ったじゃんけんについてのみ集計を行う。最初に、練習 3 と練習 4 における計 26 試行、本番 1、本番 2、本番 5、本番 6 における計 52 試行について、被宣言者による予測を集計した。次に、宣言者による実際の出し手についても同様に集計した。以上について、回数と割合を表 2 に示す。

宣言者の出し手の種類のうち、いずれかに偏りがみられるかどうかを検討するため、表 2 の列ごとに、 χ^2 検定を行った。その結果、練習 26 試行における予測 ($\chi^2 = 5.15$,

表2 宣言者の宣言と出し手との対応に関する被宣言者による予測と実際

宣言者の宣言と 出し手との対応	練習 26 試行		本番 52 試行	
	予測	実際	予測	実際
宣言に勝つ手	5 (19%)	7 (27%)	9 (17%)	12 (23%)
宣言どおりの手	14 (54%)	19 (73%)	21 (40%)	27 (52%)
宣言に負ける手	7 (27%)	0 (0%)	22 (42%)	13 (25%)

$p < .10$)、練習 26 試行における本番 ($\chi^2 = 21.31, p < .01$)、本番 52 試行における予測 ($\chi^2 = 6.04, p < .05$)、本番 52 試行における実際 ($\chi^2 = 8.12, p < .05$)、それぞれに有意に近い偏り、または有意な偏りがみられた。予測と実際のすべてにおいて、宣言に勝つ手や負ける手が少なく、宣言どおりの手が多い傾向がみられた。

2.3 考察

本研究は、事前の宣言による被宣言者への影響について明らかにすることを目的として行った。研究から、予測でも実際でも、出し手が特定の種類（グー、チョキ、パー）に偏ることはなかった。ただし、宣言と出し手との対応には偏りがあった。

宣言と出し手との対応について考察する。今回の実験における予測の結果をみると、宣言に勝つ手や負ける手が少なく、宣言どおりの手になると推測されていた。このことから、宣言によって被宣言者の推測が三択ではなく、「宣言どおりか、宣言と違うのか」という二択を判断させるような効果があると推察される。ただし、実際の出し手も推測に類似した結果になっており、結果として、宣言者の出し手も「宣言どおりか、宣言と違うのか」という二択を判断させる効果があることが推察される。

以上のような、宣言どおりの手がくると被宣言者が予測する傾向を利用するならば、宣言者は宣言した手に負ける手を出すことによって、勝率が上がるであろう。また、宣言者が宣言どおりに出すことが多い傾向を利用するならば、被宣言者は宣言された手に勝つような手を出すことによって、勝率が上がるであろう。

3. 実験 2

3.1 方法

実験参加者 関東地方の私立大学にて心理学の授業を受講している学生 20 名に実験への参加を依頼し、全員を分析対象者とした。分析対象者の性別の内訳は男性 6 名、女性 14 名であった。年齢の平均値は 20.80、標準偏差は 0.40 であった。

道具 実験 1 と同様に、実験で使用するための記録用紙を用いた。1 回のじゃんけんにおける記録は、宣言した手、宣言された手、予想した相手の手、自分が出した手、相手

が出した手、自分の勝敗について行った。実験1とは異なり、練習1から練習2、本番1から本番8までの合計10回のじゃんけんを記録するようにした。

手続き 練習のじゃんけんとして、練習1から練習2の2回を行った。練習1では特に条件はなく、通常のじゃんけんを行った。練習2以降はすべて、相手の出し手を予想して、その後の参加者自身の出し手を決める時間を20秒間設けた。練習2では、ペアのそれぞれがくじびきによって「グー」「チョキ」「パー」のいずれかを引いた。そして、ペアの相手に向かって、「次は●●を出します」と宣言した。宣言は必ずくじびきを使うこと、宣言は1回だけ行うことを説明した。その後、相手の出し手を20秒間で予想した。

練習の後、本番1から本番8までの8回のじゃんけんを行った。本番1と本番8では両方の参加者が宣言を行い、本番2と本番7では実験者に向かって右側の参加者が宣言を行い、本番3と本番6では実験者に向かって左側の参加者が宣言を行った。本番4と本番5では、どちらも宣言を行わなかった。その他は、実験1と同様に行った。

3.2 結果

宣言者の出し手の種類 宣言者の出し手の種類（グー、チョキ、パー）について、宣言を行ったじゃんけんについてのみ集計を行う。最初に、ペアの両者が宣言を行った練習2における計20試行（練習両者宣言）、ペアの両者が宣言を行った本番1と本番8における計40試行（本番両者宣言）、ペアのいずれかが宣言を行った本番2と本番3と本番6と本番7における計40試行（本番片側宣言）について、被宣言者による予測を集計した。次に、宣言者による実際の出し手についても同様に集計した。以上について、回数と割合を表3に示す。

表3 宣言者の出し手の種類に関する被宣言者による予測と実際

宣言者の出し手	練習両者宣言		本番両者宣言		本番片側宣言	
	予測	実際	予測	実際	予測	実際
グー	4(20%)	8(40%)	12(30%)	16(40%)	13(33%)	11(28%)
チョキ	8(40%)	8(40%)	16(40%)	12(30%)	11(28%)	13(33%)
パー	8(40%)	4(20%)	12(30%)	12(30%)	16(40%)	16(40%)

宣言者の出し手の種類のうち、いずれかに偏りがみられるかどうかを検討するため、表3の列ごとに、 χ^2 検定を行った。その結果、練習両者宣言における予測 ($\chi^2 < 1.60$, n.s.)、練習両者宣言における実際 ($\chi^2 < 1.60$, n.s.)、本番両者宣言における予測 ($\chi^2 < .80$, n.s.)、本番両者宣言における実際 ($\chi^2 < .80$, n.s.)、本番片側宣言における予測

($\chi^2 < .95$, n.s.)、本番片側宣言における実際のうち ($\chi^2 < .95$, n.s.)、いずれも有意な偏りはみられなかった。

宣言者の宣言と出し手との対応 宣言者の宣言と出し手との対応（宣言に勝つ手、宣言どおりの手、宣言に負ける手）について、宣言を行ったじゃんけんについてのみ集計を行う。最初に、ペアの両者が宣言を行った練習2における計20試行（練習両者宣言）、ペアの両者が宣言を行った本番1と本番8における計40試行（本番両者宣言）、ペアのいずれかが宣言を行った本番2と本番3と本番6と本番7における計40試行（本番片側宣言）について、被宣言者による予測を集計した。次に、宣言者による実際の出し手についても同様に集計した。以上について、回数と割合を表4に示す。

表4 宣言者の出し手の種類に関する被宣言者による予測と実際

宣言者の宣言と 出し手との対応	練習両者宣言		本番両者宣言		本番片側宣言	
	予測	実際	予測	実際	予測	実際
宣言に勝つ手	6(30%)	0(0%)	12(30%)	9(23%)	6(15%)	8(20%)
宣言どおりの手	12(60%)	14(70%)	20(50%)	18(45%)	22(55%)	13(33%)
宣言に負ける手	2(10%)	6(30%)	8(20%)	13(33%)	12(30%)	19(48%)

宣言者の出し手の種類のうち、いずれかに偏りがみられるかどうかを検討するため、表4の列ごとに、 χ^2 検定を行った。その結果、練習両者宣言における予測 ($\chi^2 < 7.60$, $p < .05$)、練習両者宣言における実際 ($\chi^2 < 14.80$, $p < .01$)、本番両者宣言における予測 ($\chi^2 < 5.60$, $p < .10$)、本番両者宣言における実際 ($\chi^2 < 3.05$, n.s.)、本番片側宣言における予測 ($\chi^2 < 9.80$, $p < .01$)、本番片側宣言における実際となり ($\chi^2 < 4.55$, n.s.)、有意に近い偏り、または有意な偏りが一部にみられた。宣言に勝つ手や宣言に負ける手が少なく、宣言どおりの手が多い傾向がみられたのは、練習両者宣言における予測、練習両者宣言における実際、本番両者宣言における予測、本番片側宣言における予測であった。すなわち、被宣言者による予測においては実験1を追認する結果であったが、宣言者の実際の出し手においては練習両者宣言のみ実験1を追認した。

3.3 考察

本研究は、事前の宣言による被宣言者への影響について明らかにすることを目的として行った。実験1と共通して、予測でも実際でも、出し手が特定の種類（グー、チョキ、パー）に偏ることはなかった。ただし、研究1とは異なり一部であったが、宣言と出し手との対応に偏りがあった。

宣言と出し手との対応について考察する。被宣言者による予測については、宣言に勝

つ手や負ける手が少なく、宣言どおりの手になると推測されていた。実験1と同様に、宣言によって被宣言者の推測が三択ではなく、「宣言どおりか、宣言と違うのか」という二択を判断させるような効果があると推察される。

以上のような、宣言どおりの手がくると被宣言者が予測する傾向を利用するならば、宣言者は宣言した手に負ける手を出すことによって、勝率が上がるであろう。

4. 総合的考察

本研究は、事前の宣言による被宣言者への影響について明らかにすることを目的として行った。2つの実験に共通して、宣言を聞いた被宣言者が、宣言どおりの手が出されるという予測をする傾向がみられた。このことから、被宣言者は宣言どおりの手に勝つような手を出す可能性が高まる。このことを利用して、宣言者は自分が宣言した手に負けるような手を出すことにより、勝率が高まるであろう。また、本研究の結果を、じゃんけん以外の三つ巴の意思決定においても拡張するならば、人は三つ巴のうち一つを宣言されることで、「宣言どおりか、宣言と違うのか」という二択に思考を制限される可能性がある。そのような思考を誘発するという意味で、宣言は有効といえるであろう。本研究の意義について述べる。本研究は片側が宣言、両者が宣言という異なる条件を検討する、実験的なアプローチを用いた。じゃんけんやじゃんけんにおける宣言は日常に浸透しているものではあるが、そのじゃんけんについて科学的なアプローチによって傾向を明らかにすることができた。

今回の実験では相手の手を予測して回答するという、思考内容を直接反映させるような手続きを用いた。その際、思考時間を統制するため、20秒間の回答時間を設定した。しかし、20秒間の思考時間がどれほど妥当であるのか、思考時間を設けること自体が実際のじゃんけんに影響を与えた可能性はないのかなど、検討すべき点も残されている。じゃんけんは集団での役割や順番を決める社会文化的な意義をもち、習熟度の高い行動だと思われる。その点をふまえると、20秒の思考時間によって現実のじゃんけんでは起こりえないような複雑な思考が行われた可能性があり、さらなる実験が必要であろう。

引用文献

- 赤穂敏也 (2021) じゃんけんのすべて —ルーツ・語源・世界のじゃんけん— pp.217-240.
- Dyson, B. J., Sundvall, J., Forder, L., & Douglas, S. (2018) Failure generates impulsivity only when outcomes cannot be controlled. *Journal of Experimental Psychology: Human Perception and Performance*, 44 (10), 1483-1487. DOI: 10.1037/xhp0000557
- Dyson, B. J., Wilbiks, J. M. P., Sandhu, R., Papanicolaou, G. & Lintag, J. (2016) Negative outcomes evoke cyclic irrational decisions in Rock, Paper, Scissors. *Scientific Reports*, 6, 20479.
- Forder, L. & Dyson, B. J. (2016) Behavioural and neural modulation of win-stay but not lose-shift strategies as a

- function of outcome value in Rock, Paper, Scissors. *Scientific Reports*, 6, 33809. DOI: 10.1038/srep33809
- 福田市朗 (1999) 意思決定における思考作業の実験的検証 経営情報研究 (摂南大学経営情報学部論集), 7, pp. 75-98.
- 長谷実李・青山和裕 (2019) じゃんけんの強さとその人の性格特性の相関性 日本科学教育学会研究会研究報告, 34, pp. 53-58.
- 早川昇太・豊田規人 (2003) 空間構造を持った一般化されたじゃんけんゲームの戦略進化の特徴 電子情報通信学会技術研究報告: 信学技報, 103, pp. 1-6.
- 平野勝臣・安芸重雄 (2003) ジャンケンの厳密な待ち時間分布と性質 統計数理, pp. 167-172.
- 稲葉茂勝 (2015) じゃんけん学 一起源から勝ち方・世界のじゃんけんまで— 今人舎, pp. 36-55.
- 加古里子 (2008) 伝承遊び考 4 じゃんけん遊び考 小峰書店
- Lee, D., McGreevy, B. P., & Barraclough, D. J. (2005) Learning and decision making in monkeys during a rock-paper-scissors game. *Cognitive Brain Research*, 25, pp. 416-430.
- 中 俊博・小西光子 (1994) 和歌山大学教育学部教育実践研究指導センター紀要, 3, pp. 75-84.
- 柴田 遥・外山紀子 (2018) 友人・初対面の相手との共食場面における料理の取り分け行動 日本食生活学会誌, 29, pp. 111-118.
- 高野愛子 (2021) じゃんけんの手に対する勝敗判断行動の変容の試み: 文脈手がかりと強制選択試行を用いた制御変数の探索, pp. 13-29.
- Walker, D. & Walker, G. (2004) *The official rock paper scissors strategy guide*. FIRESIDE: New York
- 吉川直志 (2012) 「じゃんけん」模擬実験による文系学生の実験レポート練習 名古屋女子大学紀要 (家・自), 58, pp. 61-67.

〔研究ノート〕

大学生の散文理解における知識利用

— 誤信念理解検査における後知恵効果 —

光 田 基 郎

はじめに

(1) 4歳から7歳までの幼児期から成人期まで、人は他人と交流する過程で自分と他人の心情、意図や信念内容を推理する技能（心の理論）に習熟して社会人となる。本報告は、大学生が絵本に描かれた欺きと誤解とを理解する過程で示された上記の「心の理論」の活用、特にその下位技能の協応過程の基礎実験の一環である。この能力の検査法の代表例として、下記の様に対象の予期しない移動への対処を描いた漫画や動画の主人公であるサリーの行動を幼児に予測させたサリーアン課題が挙げられよう。この検査を受ける幼児は「サリーがボールを籠に入れて退室した後に妹のアンが姉に無断でこのボールを籠から箱に移して退室した。後でサリーが戻った時にこのボールを取り出そうとして自分が最初に入れた籠と、アンが勝手に移し替えた箱の何れを探すか」と質問されるが、ここで幼児が「サリーは、アンがボールを勝手に移し替えた事もその移動先も知らないから、『サリーはボールが最初にボールを置いた籠にある』と思って籠の中を探す」と答えれば正解となる。以上のように、サリーが真実でない誤った信念に従って行動する事態を予測する能力である誤信念理解の発達を上記の心の理論の研究の焦点と言えよう。8歳児以上なら上記の下線を付した一次的誤信念理解以上の二次的又はそれ以上の誤信念理解が可能であり、「誰もが、『サリーはボールが籠にあると思う』と思って『籠の中を探す』と答える」と文の入れ子構造も意味も理解して、上記の文の入れ子構造の理解と同様に関係代名詞句の構造的な理解や非現実的な比喩や冗談での想像にも習熟し、青年期までに他人の心情を理解して自分の対人態度に自信を得る。青年期までの誤信念理解の発達とその情報処理過程の作業台となる記憶の負荷の実験的研究例では、Valleなど(2015)が平均年齢が14歳、17歳と22歳の参加者群別に上記の誤信念課題と構造的に類似した1次的再帰性思考課題から3次以上の再帰性の思考成績、逆再生課題での作業記憶成績、言語理解検査と計器読み取り成績での実行機能検査成績の各々の相関を求めた

実験が挙げられよう。結果から作業記憶成績と再帰的思考課題の相関関係、3次的再帰性思考課題と言語能力の相関及び、高次の再帰性思考成績の年齢差を指摘したが、上記のサリーアン課題の場合と同様の2次的誤信念理解課題を避けた点及び再帰的思考と誤信念理解における類推の寄与に論及しない点を指摘し得よう。以下ではこの点の情報収集を意図した実験で、誤信念理解と類推の関係付けを試みた。

(2) 上記の誤信念理解の発達の基本としてHoyosなど(2019)は知識表象自体の構造化・抽象化とその類推を実行する機能の発達(SimmsとRichland、2019)に裏付けられた真実と誤信念内容との対比を挙げて、さらにこの対比の基本を知識の構造化及び情報処理の巧緻化に求め、その作業台となる作業記憶容量の発達と現在の主観的な意識内容からの類推、いわば真実の表象を抑制しても現在の関心事である主観的な誤信念内容を受容しては類推を働かせ、さらにその成果を用いて既得の知識表象の抽象化と構造化を促進する過程とその実行機能の促進に求めている。

本報告は上記の誤信念内容と真実との対比並びに類推過程での問題点の検討であり、筆者がこれまでに3-5歳児に電算画面で絵本を読み聞かせて上記の誤信念理解と類推とが絵本の内容理解に寄与する程度の年齢差を検討した一連の報告(光田、2005、2006、2008、2009、2010、2011、2014、2015、2016A、2016B、2017、2020、2021と2022)の補足の試みである。下記の第1章では上記の誤信念理解の結果として幼児に洞察され得る多様な誤信念内容と真実との対比の作業台となる作業記憶容量の負荷軽減を促進する類推機能の基礎的な文献の展望を試み、上記のサリーアン課題で派生する後知恵への対処に必要な作業負荷に関する問題提起を試みる。第2章ではこの「誤信念理解検査での後知恵効果」を焦点とした実験報告とその総括が基本的課題となる。

第1章 誤信念理解における真実の抑制と類推

1-1. 本章では、上記の誤信念理解の展開を示す若干の雑誌論文の展望を試み、誤信念理解の研究で多用された上記のサリーアン課題における後知恵効果の問題を指摘し、誤信念の作業台となる作業記憶の負荷への対処の必要性を強調して次章での基礎実験の問題提起を試みる事が課題となる。

本節では、上記のHoyosなど(2020)が心の理論と誤信念理解の巧緻化の基本を類推と抽象化に求めた経験・学習重視の誤信念理解観の特徴を概観する。Hoyosなどの視点は「青虫のチョウに対する関係は種子の花に対する関係を示す」などの対応付け課題の達成には対象相互間の見かけの類似性でなく「成長」を述べた抽象的な構造や機能の共通性に注目した対応付けとその成果からの類推の必要性を述べた上記のSimmsとRicklandなど(2019)と類似の視点であっても、Hoyosの言語観と統語観は言語と文章

で表現された主観的表象相互間の比較、その成果からの類推とその抽象化を強調した学習経験依存の視点であり、Simmsなどの様に信念内容の統語的構造的習熟と意味内容の類推の電算モデル化には至っていない。Hoyosの指摘の基調は4 - 5歳児に誤信念理解課題達成を反復させた際の転移効果であり、作業記憶の負荷の変動や誤信念内容の表現に必要な統語構造の習熟過程よりも心情表現を促進する動詞の使用経験による誤信念理解とその図式化を強調した点が特徴となる。以上の様に主観的表象間での対比とその成果の類推によってより抽象的な関連性や規則性の図式の形成と適用とが反復され、より構造的なカテゴリーや主観的な図式が形成されて最終的には真実と誤信念内容の表象とが区別された結果からは真実と主観的な意識内容とが峻別されて誤信念理解も可能となる過程が上記のHoyosなどの提言での5歳児の誤信念理解とその転移実験の基調となる。この類推観では上記の統語構造の習得過程も、二次的な誤信念内容の理解成立等の巧緻化された言語処理とその際の作業記憶での容量への負荷の軽減も具体的には説明し得ない危惧も指摘し得よう。この点の対処が次章で述べる筆者による後知恵の実験の課題となる。

1-2. 上記のSimmsとRickland (2019) 及びMorrisonとRickland (2011) の類推研究は類推の基本として上記の青虫とチョウの関係や、樹木の幹も飲料のストローも共に液体を吸い上げる機能を示すなどの関係性の理解を可能にする領域知識とその判断の実行機能を重視して年少幼児にも上記の例の様なプライミング教示による関係性の理解促進を求めたほか、MorrisonとRickland (2011) の先行研究では実行機能の内容として作業記憶容量と反応抑制とを挙げて、作業記憶の負荷による上記の関係性の表象の制御の阻害と未発達な処理である類似性を抑止し切れない制御機能低下 (p518) を指摘したが、誤信念理解における真実の抑制に関する直接の論究は行っていない。この点は次項及び次章で後述するサリーアン課題での「ボールの予期しない移動を述べた後知恵」への抑制の課題となる。

上記のRicklandの類推モデルは知識利用の一般的な図式を示すマインドセットの視点から類推とその文章表現過程での統語機能を図式で示した電算モデルを活用した点が特徴的である。ここでは「ネコがネズミを追い、そのネコをイヌが見る」状態を図示して、その文の述語と目的語の関係を図式化して作業記憶で構造化する際には無関係のイヌは作業記憶での処理は不要と判断されて抑制される過程をLISA (図式=schemaと類推=analogyによる学習=learningと推論=inference) モデルで表現し、そのネコとネズミの意味的特性をモデルに取り入れてモデルの適合性も算出した点が特徴的であるが、誤信念理解における真実の抑制過程で「サリーはボールが最初に自分がボールを入れた籠にあると思っている」などの心的状態を示す補語句を備えたモデル化のLISAモデルに

関する論及も示唆も見出せず、さらに次項で述べる様な「息子たちが父にアメの壺に猛毒在中と欺かれたが偽りと分って欺かれた振りで報復する」などの複雑な構文で再帰的な二次的誤信念内容の理解が必要な文の読解における作業記憶負荷に論及せず、上記の心の理論の検査法であるサリーアン課題にも触れていない。特にサリーのボールの予期しない移動とその移動先を教示された際の後知恵を抑制する必要がある場合、その対処では作業記憶の負荷が増加する事態に関する検討も必要となる。誤信念理解における作業記憶負荷に関しては、これらの「サリーアン課題での後知恵」に関する問題提起が次項の課題となる。

1-3. 誤信念理解における真実と誤信念内容の各々の主観的表象の対比の作業台となる作業記憶容量が散文理解に与える効果として、Birch (2020) が上記のサリーアン型誤信念理解検査における後知恵効果とその抑制の問題提起を試みた。この報告の要点は、情報の乏しい知識領域では年少児が新たな知識情報に影響されやすい一般的な傾向と、戦禍やスポーツ試合の結果が知らされた際には、大多数の他人がこの結果を予測していたと過大に評価される後知恵の傾向がサリーアン課題でも示されるかを検討であり、サリーアン課題でも対象の予期しない移動先を4肢選択にして、さらに移動させた先が不明にした条件も設定した際は後知恵効果が得られない結果を強調して、従来の2肢選択のサリーアン課題は後知恵に規定された結果であるとの提言である。ここでは図1に示す様に4肢選択課題としてBirch & Bloom (2007) に準拠して、「姉がバイオリン演奏を中断して青のケースに入れて外出中に妹がこのバイオリンを赤ケースに移して、さらに容器その位置も変えて退室した。姉が戻る時に最初にどのケースを開けてバイオリンを探すか？」について下記の3群別に主観的なケースの選好確率を記入させた。参加者はほぼ等数毎に、(I) 妹がどれかの容器に移し替えたが、いずれの容器に移すか不明条件、(II) 赤容器に移して容器の位置も入れ替えた（現在の所在プラス容器の位置情報付加）条件、(III) 紫又は緑の容器に入れた（情報無効）条件の3群の何れかに割り当

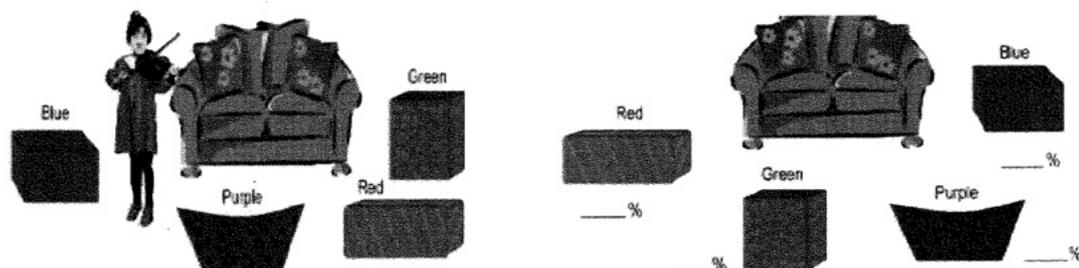


図1 実験に用いた画像 (Birchなど2007の一部を改変)

てられた。

昨年の報告（光田、2022）に引き続き、本報告では上記の4肢選択の誤信念理解課題での後知恵による作業負荷の増大に注目し、その誤信念課題も単なる誤解と、欺かれた振りでの報復に際しての二次的な誤信念理解を求めた場合の差を想定して、対象の予期しない移動での移動先を上記の様に容器の位置も変化させた際の作業記憶負荷の増加による絵本の内容理解成績の低下の指摘が以下での課題となる。

第2章 「後知恵」による誤信念理解及び絵本内容の理解成績の低下

2-1. 本章では上記の誤信念理解に関して下記の3点の検討が課題となる。

1. 絵本に描かれた欺きの理解における2次的な誤信念内容、息子たちを欺いて上記の誤信念内容に従わせる意図及び欺かれた振りの理解での再帰的な文の理解、その誤信念内容の理解、真実の抑制及びその際の反応制御など下位技能相互間の相関関係を共分散分析で検討。

2. 別の絵本に描かれた「トラが干柿を怖がる」誤解の理解に必要な上記の文法理解、誤信念内容の理解と正反応の抑制に至る反応制御などの下位技能の関連を共分散分析して上記の2次的誤信念理解を想定した「欺かれた振り」の場合と対比する。

3. 欺きと誤解の理解に必要な下位技能の統合的な活性化の作業台となる作業記憶負荷について、サリーアン型4肢選択の誤信念理解課題（図1）では（1）の何れか群以外では実験参加者に「アンがサリーの不在中に楽器を無断で移動させ、さらに容器の位置も入れ替えた」との情報を与える後知恵効果とその対処に処理負荷を要する課題から再認成績低下を仮定し、その検討を試みた。

2-2. 方法

（イ）材料・参加者：（a）人を欺いて誤信念内容に従わせ、さらに欺かれた振りでの報復意図を述べた2次的な誤信念理解が表現する再帰構造の理解を求めた課題である「欺き文」として、ささめやゆき著「附子」（講談社）より父が息子二人を欺いてアメの壺を猛毒在中と偽り、「開ければ毒の風が吹くから開けるな」と教えて外出中に息子2人は扇子で壺を煽いでは恐々接近して壺を開け、中身がアメと分かって2人で食べる。次にわざと大切な茶器や掛軸を壊して「兄弟で相撲を取って誤って茶器と掛軸を壊した。叱られる前に壺の毒を飲んで死ぬ気だったが、中身がアメ」と言い訳する筋立て14画面と、（b）単なる誤解内容の理解を求めた誤解文として、「トラと干し柿」（藤巻愛著、福音館）より、母親が泣き止まない子に「泣けばトラが来る、オオカミも来る」と宥めても泣き止まないが、干し柿を与えられて泣き止んだ。トラが外でこの様子を聞いてい

て、「自分が来ても泣き止まない子が干し柿と聞いてすぐに泣き止んだから、干柿は自分より強い猛獣だ」と誤解して逃げる筋立ての12画面の読み聞かせを電算に録音・録画して大学1年生27名（M；24，F；3）にこの絵本2点を大画面で読み聞かせた後、下記の検査項に選択反応させた。（ロ）検査項：(a) 上記の絵本毎に内容の逐語・推理再認、(b) 絵本と無関係の図形の類推、(c) 反応抑制：車の絵に触れる前に時計と花の絵を指さす課題など4件、(d) 文法理解（タクシーがトラックを牽く絵、兎が狸を押す絵など選択2件、(e) 幼児用誤信念理解検査で対象物の予期しない移動先を問う2肢選択のサリーとアン課題、(f) 4肢選択の誤信念検査（女の子が左端の青容器にヴァイオリンを入れた後、彼女の不在中に妹がこれを赤または紫の容器に移し、赤容器の位置も元は青容器のあった左端の位置に並べ替えたほか紫と緑容器の位置も変えて退室した。姉が戻った時には4個の容器の何れを最初に開くかを参加者に質問し、上記の容器1点毎にその比率を記載させた（Birchなど'07の手続きに準拠）、(g) 別の物語記憶（留守番中のエピソード3件の順序構成）。（ハ）デザイン：上記（ロ）-（f）の誤信念理解課題で妹が（I）どの容器にヴァイオリンを移し替えたか不明の「何れか不明」条件、（II）赤容器に移し替え、位置も姉が最初に楽器を入れた青容器の位置に並べ替えた「情報追加」条件と（III）紫容器に移した「情報無効」条件間では与えられた「後知恵」による誤信念理解への干渉と処理負荷の増加（Birich,2021）を想定し得よう。本報告は上記（I）-（III）の後知恵に関する情報不明、情報追加と無関連情報の3条件を級間変動因、上記の絵本毎の再認成績、その下位技能のいずれか又は、姉が戻って最初に開く青、赤、紫と緑容器毎に選択の主観的確率のいずれかの組み合わせを級内変動因とした2要因共分散分析で、上記（II）情報追加条件での処理負荷増と再認低下を仮説した。

2-3. 結果

（a）上記の方法（イ-a）の欺き文の推理再認と2肢選択サリーアン型誤信念課題の相関係数は無関連群（ $r = .531$ ）>何れか群（ $r = .368$ ）>追加群（ $r = -.138$ 、5%水準）、推理再認と反応抑制の相関も同様に無関連群（ $r = .260$ ）>何れか群（ $r = .093$ ）>追加群（ $r = -.260$ 、5%水準）、推理再認と作業記憶成績（別のエピソードの順序記憶）の相関も無関連群（ $r = .473$ ）>何れか群（ $r = .297$ ）>追加群（ $r = -.218$ 、5%水準）、類推とサリーアン型誤信念課題の相関は無関連群（ $r = .610$ ）>何れか群（ $r = -.260$ ）>追加群（ $r = -.295$ 、5%水準に近い）、次に逐語再認と反応抑制の相関も無関連群（ $r = .391$ ）>何れか群（ $r = .282$ ）>追加群（ $r = 0.189$ 、5%水準に近い）。以上より、欺き文では4肢選択のサリーアン型誤信念課題における情報追加条件下で与えられた後知恵に対処・抑制して「欺かれた振り」の理解に必要な二次的誤信念理解での処理負荷増加を指摘し得る。誤解文は、推理再認と反応抑制の相関のみ、欺き文の理解と同様に

無関連群 ($r = .618$) > 何れか群 ($r = .004$) > 追加群 ($r = -.110$, 5%水準) の結果を示した。以上より後知恵の干渉を示唆し得よう。上記以外には「誤解文」で有意な相関係数値は得られない。

(b) Birchは誤信念理解に関して上記の処理資源以上に知識の社会的側面をも重視し、流暢性の寄与を強調する。この点に関する本実験の結果として「欺き文」の誤信念理解に関して、息子たちが意図的に茶器を壊したのは父の欺きへの報復と理解した程度の5段階評定値と方法の項(ロ-f)の4肢選択誤信念理解課題での青容器選択(誤信念理解)の相関は、無関連群 ($r = .326$) > 何れか群 ($r = .429$) > 追加群 ($r = .079$, 5%水準) 及び誤解文では誤解への共感性と方法の項(ロ-f)の4肢選択誤信念理解課題での青容器選択(誤信念理解)の相関は無関連群 ($r = .656$) > 何れか群 ($r = .256$) > 追加群 ($r = -.165$, 5%水準) の結果を指摘し得よう。以上、容器の情報追加による後知恵に由来する処理負荷増と処理技能の統合的な活性化への干渉を指摘し得る。以上より、年少児の誤信念理解の規定因に処理容量と社会的知識を挙げた上記の先行研究とは対照的に、成人では上記の類推とその写像可能性の寄与も表象の再帰性を基本とした2次的誤信念理解の規定要因となる。

(c) 「誤解文」の絵本推理再認成績は何れか > 赤(位置も変化) > 紫(無関連)(5%水準)と昨年筆者の結果との対応を示す。2次的誤信念内容とその再帰構造の理解(欺き文)よりも筋立てが簡素な「誤解文」では処理負荷の差が顕在化しやすい傾向を示唆し得よう。さらに4肢選択誤信念課題で楽器の移動先についての後知恵のない「何れか不明」条件下では他条件より後知恵の対処に費やす処理負荷の削減も想定可能で、この結果を上記の再認成績差と対応付ける可能性も指摘し得よう。

2肢選択のサリーアン課題(全員に実施)と絵本の推理再認との負相関は赤容器への移動群のみ(共分散分析して5%水準。誤解文では負相関は得ないが他2条件より赤への移動群は低い相関係数値を示す)である。以上並びに、赤容器への移動条件下では誤信念課題と無関係のエピソードの順序記憶と2選択サリーアン課題との負相関係数値が得られた結果からも、上記(ロ)の後知恵への対処での負荷を示唆し得よう。

(d) 文の推理再認成績は(a)上記の欺き文で方法(ハ)の何れか条件 = 赤条件 > 紫条件となる(分散分析で5%水準)結果は昨年度発表と同様である。(b)上記の推理再認を従属変数とした重回帰分析の結果並びに主成分分析と判別分析結果の概略として、(a)上記の方法(ハ)のIの「移動先がいずれか不明群」での誤解内容)理解の正の第1-2主成分は逐語再認と類推で、サリーアン型2肢選択誤信念理解、推理再認と制御が負主成分、欺き文の第1-2主成分はサリーアン課題と文法の β 係数値が大きいほか、青容器選択以外の色彩手掛かりは全て負の主成分となる。(b)上記の方法(ハ)IIの情報追加条件(赤容器)では逐語再認と青ケースが正主成分又は推理成績の説明変数となる。

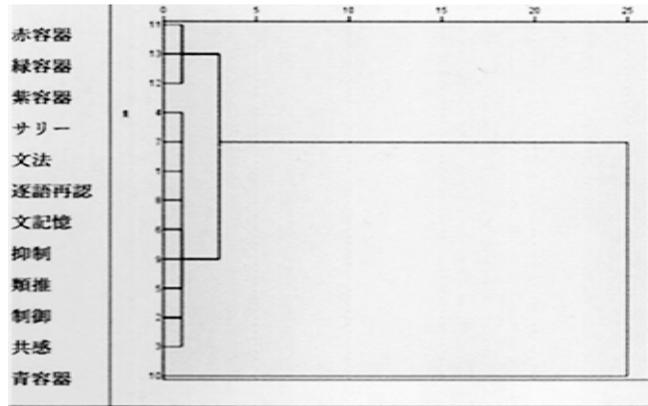


図2 欺き文の再認（何れか条件）技能のクラスタ分析

第2主成分ではサリーアン型誤信念理解課題と抑制のみが正主成分と推理再認の説明変数となるほか、欺き文の理解で文法と制御も正の主成分となる。

(c) 上記の方法（ハ）のIIIの無関連情報条件（紫容器）では「誤解」文の理解では2肢選択のサリーアン課題と真実の抑制が主成分、逐語再認と紫容器の選択が負主成分となる。

「欺き」文では抑制が正の主成分、紫容器と類推が負の主成分となる。以上並びに上記の方法（ハ）のIの「移動先が不明群」では、誤信念理解に関連した変数以外の逐語再認と他の文記銘（エピソードの順序構成）など文の表層的理解と作業記憶からの想起数が正の主成分となる結果をも併せて考えた場合、サリーアン型の誤信念理解課題の成績が後知恵に左右される危惧への対処（Birch等、2021）の必要性をも指摘し得よう。

(e) 上記の（I）妹がどのケースに移し替えたか不明条件、（II）妹が「赤ケースに移し替え、位置も姉が最初に楽器を入れた青ケースの位置に並べ替えた「情報追加」条件と（III）紫のケースに移した「情報無効」条件間で上記の推理再認成績または逐語再認成績と上記の方法（ロ-e）のサリーアン型の2肢選択誤信念課題との相関係数値を比較する意図で共分散分析を試みた結果、上記の方法（ロ-f）IIの赤容器に移し替えてその位置も変化させた条件では誤解文と欺き文のいずれの推理再認成績と逐語再認成績の一部も2肢選択のサリーアン型誤信念理解課題との負相関係数値または他の移し替え条件以下の低い相関係数値（5%水準）を示した。この結果は上記の結果（ハ）の情報処理負荷の視点以外に、Birchなど'21が後知恵と批判する様にサリーアン型誤信念課題で3-6歳児の特徴とされた後知恵への抑止と葛藤（姉の不在中に妹が対象を入れ替えた事実の過大評価への抑制とナイーブな視点への注目）に費やす処理負荷との関連も想定し得よう。この点は上記の反応抑制と推理再認成績の相関関係並びに絵本理解における

類推過程での真実の表象と誤信念内容の対比並びに真実の抑止に至る誤信念理解の関係と対応させ得よう。

次に絵本内容の再認成績の判別分析の結果から2肢選択誤信念課題と反応抑制及び、欺きの理解と他人を誤信念内容に従わせる意図の理解に必要な文法理解が絵本の推理再認に対する寄与を指摘し得るが、4肢選択の誤信念課題の寄与は見られない点も筆者の先行研究(光田, 2021)と同様である。上記の二次的誤信念内容並びに基本的な誤解過程での誤信念内容の理解を促進する下位技能の階層的構造的性及び、下記のクラスター分析が示す様な言語表象と空間表象の操作過程の検討も課題となる。

(f) 図2はクラスター分析を用いて上記の方法(ローf)の4肢選択での誤信念理解成績と絵本の内容理解、文法理解または類推との関係付けを検討した結果である。筆者の上記の先行研究の場合と同様に、4肢選択の誤信念課題は空間表象の同時提示且つ視覚(色と位置)手掛かり依存の体制化に関する独立のクラスターに終始して、二次的な誤信念理解における反応抑制や類推と、その不成立を強調した皮肉の理解におけるエピソード間の対比を規定する結果は得られない。以上より、多肢選択の誤信念課題による処理資源の規定から生じた作業記憶の制約、特に言語と図式的表象の操作手続きによる類推と概念的理解への制約の指標の選択が検討課題となる。

結論に代えて：

絵本の読み聞かせにおける2次的誤信念理解とその際の真実の表象への抑止に際しては、作業記憶の負荷への対処と言語の発達過程の寄与が強調された現状(例えばArslanなど(2017)以外にも、「基本的検査法であるサリーアン課題における後知恵への対処」とその年齢差への注目が研究の課題となり、この点は成人の参加者による基礎実験を通じて誤信念理解における社会的知識の操作に寄与する諸変数の発達研究と、それらが作業記憶容量の負荷として抑制又は促進される過程に関する基礎的研究、特に誤信念理解の下位技能の構造的性の再検討の必要性を指摘し得よう。

文献

- Arslan, B., Hohenberger, A., & Verbrugge, A. 2017. Syntactic Recursion Facilitates and Working Memory Predicts Recursive Theory of Mind. *PLoS ONE* 12(1):e0169510. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0169510>
- Burch, S. A., & Bloom, P. 2007. The curse of knowledge in reasoning about false belief. *Psychological Science*, 18, 382-386. 90-99.
- Birch S. A. J., Ghrear, S., Baime, A., Haddock, T. 2021, Are the classic false belief tasks cursed? Young children are just as likely as older children to pass a false belief task when they are not required to overcome the curse of knowledge. *PLOS ONE* | <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0244141> February 19, 2021.
- Hoyos, C., Horton, W. S., Simms, N. K., & Gentner, D. 2020, Analogical Comparison Promotes Theory-of-Mind

Development. *Cognitive Science*, 44 (9) [http://dx. doi. org/10.1111/cogs.12891](http://dx.doi.org/10.1111/cogs.12891)

- 光田基郎 2005. 電算画面上で読み聞かせた絵本の理解に関する4歳児と5歳児の差異. 大阪経大論集 第56巻2号 85-96.
- 光田基郎 2006. 4-5歳児に電算画面で読み聞かせた絵本の理解における類推の寄与. 大阪経大論集 第57巻6号 97-112.
- 光田基郎 2008. 4-5歳児に電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解における類推の寄与. 大阪経大論集 第58巻7号 7-26.
- 光田基郎 2009. 類推と統語機能の発達が電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解に与える効果. 大阪経大論集 第59巻6号 7-20.
- 光田基郎 2010. 類推と誤信念理解の発達が電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解に与える効果. 大阪経大論集 第60巻6号 1-16.
- 光田基郎 2011. 4-5歳児の誤信念理解の差異と類推が電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解に与える効果. 大阪経大論集 第61巻6号 7-23.
- 光田基郎 2014. 電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解における誤信念理解と類推の効果. ノースアジア大学総合研究. 第2号. 159-172.
- 光田基郎 2015. 電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解における誤信念理解と類推. 聖霊女子短期大学紀要 第43号, 25-36.
- 光田基郎 2016a. 5-6歳児に画面で読み聞かせた絵本の内容理解—誤信念理解・類推と教示の効果—聖霊女子短期大学紀要 第44号 25-36.
- 光田基郎 2016b. 絵本の内容理解における誤信念理解と類推 矢野喜夫, 岩田純一, 落合正行(編) 認知発達研究の理論と方法: 「私」の研究テーマとそのデザイン. 東京: 金子書房. 第5章. pp:75-88.
- 光田基郎 2017. 電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解における意味的作業記憶. 大阪聖徳保育・福祉論叢 第22号 23-33.
- 光田基郎 2020. 大学生に電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解: 誤信念理解・類推を規定する作業記憶の効果. ノースアジア大学総合研究. 第8号. 141-155.
- 光田基郎 2021. 大学生の散文理解における知識利用—誤信念理解と類推を規定する作業記憶—. ノースアジア大学総合研究第9号. 95-104.
- 光田基郎 2022. 大学生の散文理解による再帰性の理解- 2次的誤信念理解と類推を規定する作業記憶. ノースアジア大学総合研究第10号. 90-99.
- Morrison, R.G., Leonidas A. A. Doumas & Richland, L. E. 2011. A computational account of children's analogical reasoning : balancing inhibitory control in working memory and relational representation. *Developmental Science* 14:3, 516-522.
- Simms, N. K., & Richland, L. E. 2019. Generating Relations Elicits a Relational Mindset in Children. *Cognitive Science*, 43 (10), [http://dx. doi. org/10.1111/cogs.12795](http://dx.doi.org/10.1111/cogs.12795).
- Valle, A., Massaro, D., Castelli, I. L., & Marchetti, A. 2015. Theory of Mind Development in Adolescence and Early Adulthood : The Growing Complexity of Recursive Thinking Ability. *Europe's Journal of Psychology* 2015, Vol. 11(1), 112-124. doi : 10. 5964/ejop. v11i1.829.

〔研究ノート〕

メッシュ別将来推計人口データを用いた 秋田県人口の空間分布に関する考察

越 智 士 郎

1. はじめに

我が国の総人口は2008年の1億2800万人をピークに減少を続けている⁽¹⁾。2020年国勢調査では1億2600万人となり、2015年に実施された同調査からの5年間で約86万人減少した⁽²⁾。国立社会保障・人口問題研究所（社人研）は、2045年の総人口を1億6百万人（2015年比で84%）と試算し、都道府県の中では秋田県が全国で最も減少率が高く、2045年の県人口を60万2千人（2015年比で59%）と試算している⁽³⁾。

国土交通省は、将来人口を町丁字区分よりさらに空間解像度が細かい500m四方の地域メッシュによる将来推計人口データを作成し公開している⁽⁴⁾。人口の分布をメッシュ化し可視化することにより政策における意思決定や事業戦略の策定に効果的な情報源となりうる。国土交通省では、人口減少、少子高齢化、経済成長力の弱化、財政余力の低下といった状況の中で、経済・財政資源を有意義に配分・配置するための政策決定や、既存のインフラを活用しつつ「コンパクト+ネットワーク」と表現される機能的かつ効率的なまちづくり・地域づくりのための基盤情報としての活用例を紹介している⁽⁵⁾⁽⁶⁾⁽⁷⁾。

本稿ではメッシュ別将来人口データが今後の施策や企業の事業戦略に資する情報となることを期待し、秋田県における人口分布の特徴を500mメッシュ別将来人口推計値を使い分析・考察した。

2. データおよび分析方法

2.1 将来推計人口データ

2050年までの将来人口推計値として、国土交通省による「500mメッシュ別将来推計人口（H30国政局推計）(shape形式版)」を国土数値情報ダウンロードサービスサイトよりダウンロードして使用した⁽⁴⁾。shape形式とは地理情報システム（GIS）の分野で広

く普及しているデータフォーマットの一つで、地図情報を、図形（ポイント、ライン、ポリゴンなど）の座標、図形に付随する属性情報（データベース）、地図座標の定義など地図情報に付帯するさまざまな情報を数種類のファイルで管理するデータ形式で、一般に「シェープファイル」と呼ばれている⁽⁸⁾。

500mメッシュ別将来推計人口（H30国政局推定）データは県別に提供されている。全国を500m四方のメッシュで分割し、2015年調査値（国勢調査）に基づき、人口が存在するメッシュのみがデータ（シェープファイル）として登録されている。地域メッシュ統計作成方法については「総務省統計局における地域メッシュ統計の作成」で詳細が説明されている⁽⁹⁾。2015年調査値において無人のメッシュはデータとして登録されていない。図1にシェープファイルが含むデータベース（テーブル）の一例を示す。各行（レコード）がひとつのメッシュの情報を示し、各レコードには複数のフィールド（列）が設定されている。フィールドには、各メッシュを特定する「メッシュID」、メッシュが属する「市町村コード」、2015年国勢調査値に基づくメッシュ内の人口（「2015年調査値」）、2020年から2050年までの5年毎の推定人口（男女の合計）と5歳級毎の推定人口、生産人口（15-65歳）などいくつかの年齢区分で集計された推計人口が含まれる。本稿では年齢階級別人口に関する分析は行わず、総人口（男女合計）のみを分析の対象とした。

図1に示されるように、各メッシュの人口は小数点を含む実数値で示している。これは国勢調査小地域（町丁字別）人口（整数値）を、土地利用分類図を使い各町丁字内の住居地に割り当て、さらに500mメッシュに分割して算出されているためである⁽⁵⁾。

図2は500mメッシュ別将来推計人口データのうち、2015年国勢調査値人口（これ以

メッシュID	市町村コード	2015年調査値	男女計(2020)	計0-4歳(2020)	計5-9歳(2020)	計10-14歳(2020)
594040261	5201	1561.2	1550.0	61.6	56.1	
594040262	5201	1096.2	1050.6	35.8	33.8	
594040263	5201	623.6	604.4	19.1	17.5	
594040264	5201	688.2	653.7	17.2	20.5	
594040271	5201	607.7	594.4	25.1	15.7	
594040272	5201	115.2	114.2	4.0	3.0	
594040273	5201	276.0	254.0	9.4	6.0	
594040274	5201	93.2	89.5	2.6	2.0	
594040281	5201	782.8	770.0	24.9	22.0	
594040282	5201	867.0	855.8	25.5	25.5	
594040283	5201	1613.5	1566.7	46.8	59.3	

図1 メッシュ推計人口データのサンプル
(1行目のフィールド名称は筆者が加筆)

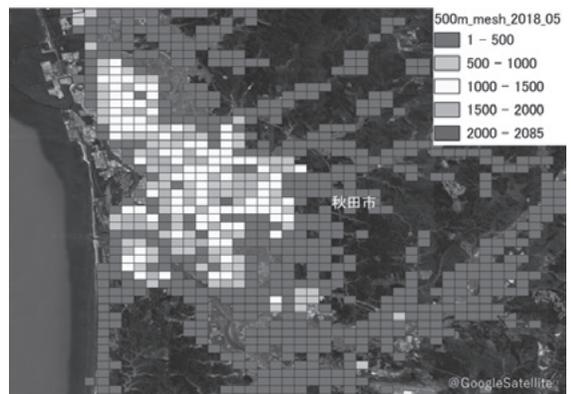


図2 500mメッシュ別将来推計人口サンプル
(2015年統計値、秋田市中心部周辺)
(背景はGoogle Satellite Hybrid画像)

降「2015年調査値人口」と呼ぶ)を地理情報システムソフト(後述)でマップ化し秋田市周辺域を表示したものである。メッシュの人口を5階級([1] $0 < \leq 500$ 人、[2] $500 < \leq 1000$ 人、[3] $1000 < \leq 1500$ 人、[4] $1500 < \leq 2000$ 人、[5] $2000 < \leq 2085$ 人(最大値))に分類し色分けして表示した。背景(GoogleSatellite画像)が見える部分は、2015年調査値が無人のメッシュ領域でデータは存在しない。ひとつのメッシュの大きさは500m四方(0.25km²)で、メッシュ人口が200人の場合、1km²あたりの人口密度に換算すると800人/km²となる。また、1メッシュは500m四方の正方形であるが、ソフトウェアの仕様上、緯度経度座標系でデータを表示するため、画面上では横長の長方形で表示されている。

2.2 行政界データ

市町村行政界データは国土交通省の国土数値情報「行政界(世界測地系・平成31年版)」(シェープファイル)⁽¹⁰⁾を利用した。本データに含まれる各市町村のコード番号は、メッシュ別将来人口データの各メッシュに付されている市町村コードと対応する。

2.3 市区町村役場位置データ

本稿では、人口の空間分布を市民サービスへのアクセスビリティの観点から評価する事例をとりあげ、市町村役場及びその関連事業所への空間距離マップを作成した。市町村役場及び関連事業所の位置情報は、国土交通省の国土数値情報「市区町村役場データ」(シェープファイル)⁽¹¹⁾を利用した。

2.4 分析方法および手順

データ分析には主としてエクセル(マイクロソフト社)を利用した。また、空間データの可視化には地理情報システムの分野で広く普及しているフリーソフトのQGIS(バージョン3.22.10)⁽¹²⁾を用いた。空間分析(空間距離マップの作成)にはTerrSet(クラークラボ社製)⁽¹³⁾を用いた。

データ分析は以下の順序で行った。

- (1) 東北6県における将来推計人口と推計精度に関する評価
- (2) 秋田県各市町村の2015年調査値人口の分布に関する分析
- (3) 秋田県各市町村の将来推計人口の推移と空間分布に関する分析
- (4) 秋田県将来人口分布の空間的特徴の分析

3. 結果と考察

3.1 東北6県における将来推計人口と推計精度

秋田県市町村の分析に先立ち、東北6県における将来推計人口の推移を概観した。また、県毎のデータを使って将来推計人口の推計精度について吟味した。

表1は、東北6県（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）について、2015年調査値人口の少ない順に示したものである。秋田県の2050年将来推計人口は53万5千人であり、2015年調査値人口比52%となる。上で記したように、2045年には全国総人口が2015年比で84%に減少する状況の中、宮城県を含め東北6県で全国平均を上回る速度で人口減少が進むことが予想される。

図3は、将来推計人口データのうち2015年調査値について北東北3県と宮城と山形の一部をマップ化したものである。図から、各県とも県庁所在地に人口密度が高いメッシュが集まっていることが確認できる。また、仙台から盛岡にかけての東北新幹線沿い、青森県では弘前、八戸で比較的人口密度の高いメッシュが集まっていることなどが読み取れる。秋田県は他県に比べ県庁所在地以外の地方都市で人口の多いメッシュが少ないことがわかる。

続いて、推計値の精度について吟味した。「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」⁽⁴⁾では、予測のシナリオを低位、中位、高位で設定しているものの、推計値の精度については確かめることができなかったため、東北6県の県別データで凡その推計精度を確認した。目安として、2020年推計人口と2020年調査値人口を比較した。表1には、調査値人口として、2020年実施の国勢調査値人口を含めた。秋田県の場合、2020年調査値人口（96万人）は2020年推計値（95万6千人）より4千人（0.4%）多い。つまり、わずかではあるが実際の人口は予想より多かった（人口減少が過大評価された）。一方

表1 東北6県の将来推計人口

	国勢調査値(千人)			推計値(千人)							
	2015年	2020年	※1	2020年	※2	2030年	※2	2040年	※2	2050年	※2
秋田県	1,023	960 [0.4%]		956 (93%)		814 (80%)		673 (66%)		535 (52%)	
山形県	1,124	1,068 [-0.4%]		1,072 (95%)		957 (85%)		834 (74%)		706 (63%)	
岩手県	1,280	1,211 [-1.1%]		1,224 (96%)		1,096 (86%)		958 (75%)		813 (64%)	
青森県	1,308	1,238 [0.2%]		1,236 (94%)		1,076 (82%)		909 (69%)		741 (57%)	
福島県	1,914	1,833 [0.3%]		1,827 (95%)		1,635 (85%)		1,426 (75%)		1,205 (63%)	
宮城県	2,334	2,302 [0.3%]		2,296 (98%)		2,144 (92%)		1,933 (83%)		1,686 (72%)	

※1 2020年推計値と2020年国勢調査の差を推計値に対する割合で示したものの。

※2 2015年国勢調査値に対する割合。

岩手県の場合、調査値人口（121万1千人）は推計人口（122万4千人）より1万3千人（1.1%）少なく、実際の人口は予想より少なかった（人口減少が過小評価された）。2015年調査値データを元にした5年先の推計では6県で-1.1%～+0.4%の精度の幅であった。推計の期間が長くなれば誤差も拡がるが、35年先（2050年）の推計値の精度の目安とした。

3.2 2015年総人口のマップ化と市町毎の特徴

図4はメッシュ別将来推計人口データに含まれる2015年調査値（国勢調査）を秋田県全体でマップ化したものである。人口が存在するメッシュが色づけされており、人口を含まない部分にはデータがなく、白抜きで表示されている。人口が1,500人（/0.25km²）以上の人口密度の高いメッシュは、秋田市周辺に集中している。メッシュ人口500人未満が県全体に分布しているが、大仙市東南部から美郷町、横手市にかけて平野部（横手盆地）で面的に広く分布している。先に示した図2は秋田市中心部を拡大したものである。中心部に人口密度の高いメッシュが集中し、河川あるいは幹線道路に沿って比較的人口の少ないメッシュが分布している。

表2に県内25市町村における2015年調査値人口のメッシュ数、総人口、メッシュ人口の平均値、最大値、最小値、第1～第3四分位値、箱ひげ図における上限の外れ値、箱の幅（第3四分位－第1四分位）を示す。県内市町村人口1位の秋田市の人口



図3 北東北における人口分布
(2015年調査値をQGISを使ってマップ化)

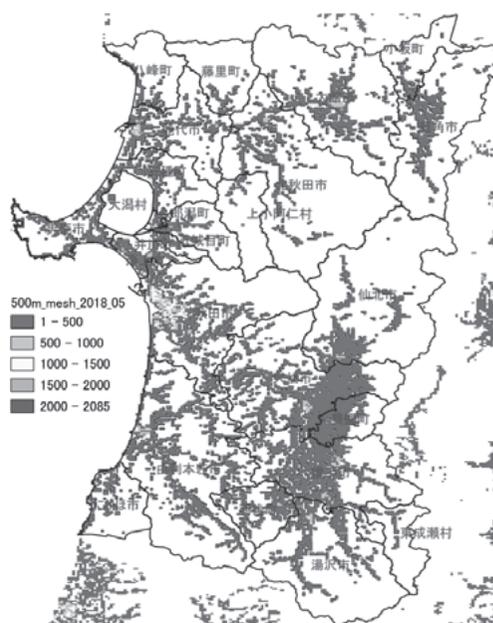


図4 メッシュ別人口
(2015年統計値) 秋田県全体

表2 市町村別メッシュ人口の分布

	秋田市	能代市	横手市	大館市	男鹿市	湯沢市	鹿角市	由利本 荘市	潟上市	大仙市	北秋田 市	にかほ 市	仙北市	小坂町	上小阿 仁村	藤里町	三穂町	八峰町	五城目 町	八郎潟 町	井川町	大潟村	美郷町	羽後町	東成瀬 村
メッシュ数	1028	415	1041	603	327	563	437	1173	212	1292	473	201	545	93	49	76	262	106	127	36	62	13	373	319	66
総人口(千人)	316	55	92	74	28	47	32	80	33	83	33	25	28	5	2	3	17	7	9	6	5	3	20	15	3
平均	307	132	89	123	87	83	73	68	156	64	70	126	51	57	49	44	65	69	75	169	80	239	54	48	40
最大値	2085	1418	1206	1238	728	1089	812	1373	1189	1136	916	1023	731	476	346	318	533	361	612	794	549	450	601	754	264
最小値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	1	11	1	1	1
第1四分位	13	12	16	13	16	10	10	7	23	13	10	16	9	6	11	9	11	14	12	24	15	212	16	8	9
第2四分位	56	38	39	49	47	36	30	21	77	31	28	55	26	20	34	19	29	45	34	88	47	253	37	19	26
第3四分位	331	134	95	130	108	92	79	55	206	63	77	142	54	62	63	47	91	100	76	222	97	303	62	46	44
外れ値上限	807	317	214	305	245	215	182	127	479	138	178	331	122	146	142	105	210	230	173	520	220	439	131	104	96
幅	318	122	79	117	92	82	69	48	182	50	67	126	45	56	52	39	80	86	65	199	82	91	46	38	35

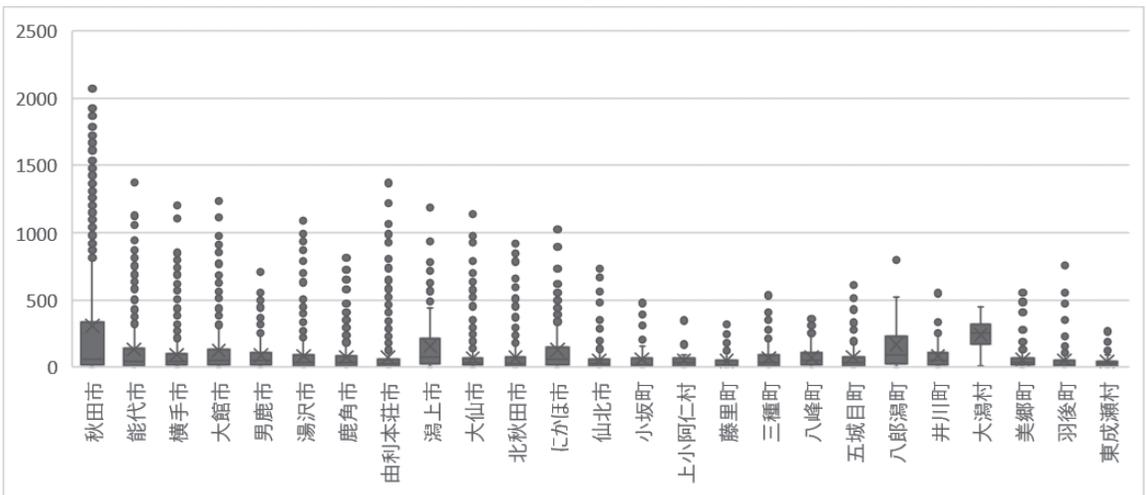


図5 市町村毎のメッシュ人口の分布

は31万6千人で、2位の横手市（9万2千人）の3.4倍で、県内での人口の一極集中が見られる。しかし、人口を有するメッシュ数では大仙市（1,292個）、由利本荘市（1,173個）が秋田市（1,028個）より多い。メッシュ数の多さは人口の居住地域の面積に関係し、防災や道路や水道施設などインフラのメンテナンスの負担につながると考えられる⁽¹⁴⁾⁽¹⁵⁾。

図5は各市町村のメッシュ人口の分布を箱ひげ図（BoxPlot）で表したものである。箱ひげ図では、各市町村の全メッシュに対して、第1四分位と第3四分位の間を箱で囲み、箱の上端および下端から最大値および最小値まで線で著し、箱の幅の1.5倍を超える値が外れ値としてドットで示される。大潟村以外は上限を超える外れ値を持つメッシュがあり、各市町村に比較的人口が集中している地区（メッシュ）があることがわかる。こうした地区に地区センターや病院など住民に必要なサービスを提供する施設が配

置されていると思われる。大潟村については、「総合中心地」と呼ばれる地区に人口が集中しており、他とは異なる人口分分布を示す。由利本荘市と大仙市はメッシュ数は多いものの第3四分位（下位から75%）がそれぞれ55(人)、63(人)であることから、市の大半は人口の少ないメッシュで占められている。

3.3 市町村ごとの将来推計人口の特徴

表3に秋田県および県内25市町村別の2020年統計値（2020年国勢調査値）と2030年、2040年、2050年の将来推計人口と2020年値に対する比率を示す。県全体では2050年推計値は2020年調査値の56%となるが、秋田市（同67%）以外の市町村を平均すれば50%となる（秋田市以外の2020年人口は65万2千人で2050年推計人口は32万8千人）。中でも男鹿市は2050年推計人口が8千人で2020年調査人口（2万5千人）の33%と最も減少率が高い。全体的な傾向として、人口の少ない市町村で人口減少率が高くなっている。過疎化によって高齢化が進みさらに過疎化が加速する「負のスパイラル」の状態にあると考えられる。

図6は25市町村について、将来人口の推移を表4に示す8項目で分類し、その割合をグラフ化したものである。図6より、小坂町、藤里町で2050年までに約20%のメッシュが無人口化する。また、男鹿市、上小阿仁村、五城目町を加えた5市町で、約40%のメッシュが2015年調査人口の25%以下になり、過疎化が急速に進むことが予想される。

表3 市町村別将来人口の推移

	秋田県	秋田市	能代市	横手市	大館市	男鹿市	湯沢市	鹿角市	鷹巣市	潟上市	大仙市	北秋田市	にかほ市	仙北市	小坂町	上小阿仁村	藤里町	三ツ橋町	八幡町	五城目町	八幡海町	井川町	大潟村	美郷町	羽後町	東成瀬村
2020年	960	308	50	86	69	25	42	29	75	32	78	30	23	25	5	2	3	15	7	9	6	5	3	19	14	3
2030年	814	278	41	72	58	18	34	24	63	27	65	24	18	21	3	2	2	12	5	6	4	4	2	16	11	2
(対2020年比)	85%	90%	81%	84%	84%	73%	82%	83%	84%	86%	84%	79%	79%	84%	72%	73%	74%	78%	73%	76%	80%	80%	82%	84%	80%	69%
2040年	673	245	32	59	48	13	27	19	52	23	54	18	14	16	2	1	1	9	3	5	3	3	2	13	9	1
(対2020年比)	70%	80%	64%	69%	69%	51%	64%	67%	69%	72%	69%	61%	60%	66%	51%	53%	51%	58%	53%	56%	61%	62%	69%	67%	62%	54%
2050年	535	207	24	46	38	8	20	15	41	18	43	14	10	12	2	1	1	6	2	3	2	2	2	10	6	1
(対2020年比)	56%	67%	48%	54%	55%	33%	48%	52%	54%	58%	55%	45%	44%	50%	35%	36%	34%	40%	35%	39%	44%	46%	57%	52%	45%	40%

表4 メッシュの将来推計人口の分類に用いた8分類

番号	分類内容
1	2030年推計人口で無人化するメッシュ
2	2040年推計人口で無人化するメッシュ
3	2050年推計人口で無人化するメッシュ
4	2050年推計人口で2015年調査値人口の0～25%に減少するメッシュ
5	2050年推計人口で2015年調査値人口の25～50%に減少するメッシュ
6	2050年推計人口で2015年調査値人口の50～75%に減少するメッシュ
7	2050年推計人口で2015年調査値人口の75～100%未満に減少するメッシュ
8	2050年推計人口で2015年調査値人口を維持・人口が増加するメッシュ

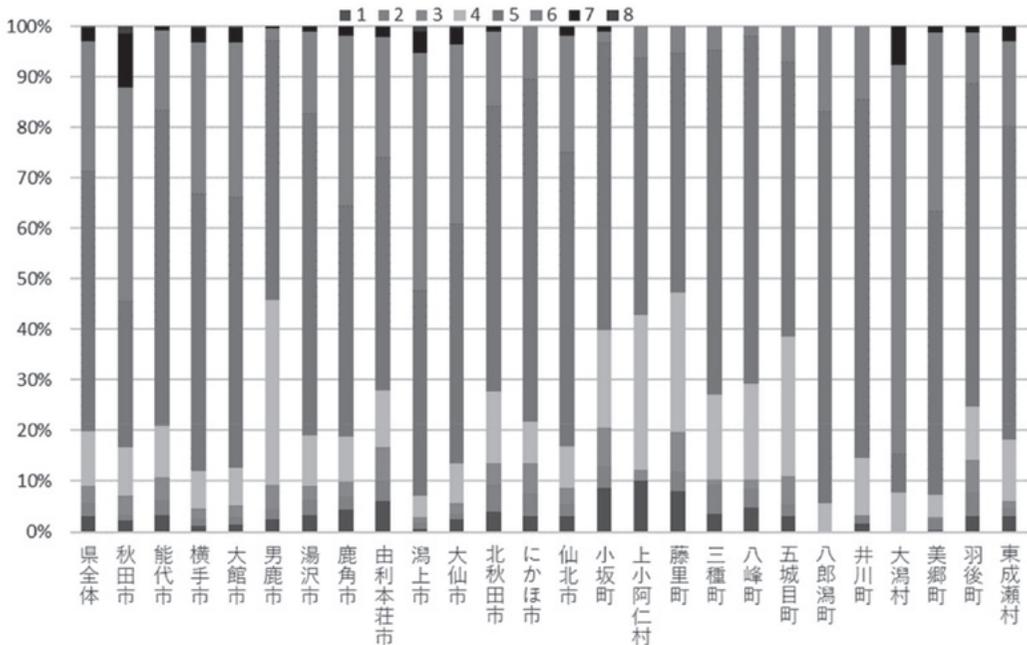


図6 各市町村の将来人口推移8分類の構成割合

3.4 将来人口分布の空間的特徴

前節で8種類の分類されたメッシュの空間分布を示し、公的施設へのアクセスのしやすさの観点から将来人口分布の特徴について考察する。本稿では公的施設の例として市町村役場及び関連する事業所をとりあげた。国土数値情報の「市町村役場データ（秋田県）」には、秋田県内の市役所、役場、支所、出張所等の位置情報が115カ所のポイントデータ（シェープファイル）で提供されている。地理情報システムの空間分析機能⁽¹³⁾を使って、115カ所からの距離マップを作成した。図7は、施設からの距離の目安として5段階（1km未満、5km未満、10km未満、20km未満、20km以上）に色分けして表示したものである。図8は距離マップ(図7)上に8クラスの分類した将来人口メッシュを重ねたものである。ただし、図は空間的距離（最も近い施設までの高低差を無視した直線距離）を示す。現実的には、より遠くても居住地のある市町村役場・事業所を利用する必要があったり、利用する道路によってより長い道のりを移動する必要がある。

図8より、人口の大半は施設からおよそ10km以内に居住するが、鹿角市、仙北市、湯沢市では施設から10km以上離れた位置にも人口メッシュがあり、その多くは2050年にはメッシュ人口が50%以下に減少することが予想されている。

今後急速に人口減少が予想される中で、人口が集中する地域から遠く離れた住民への

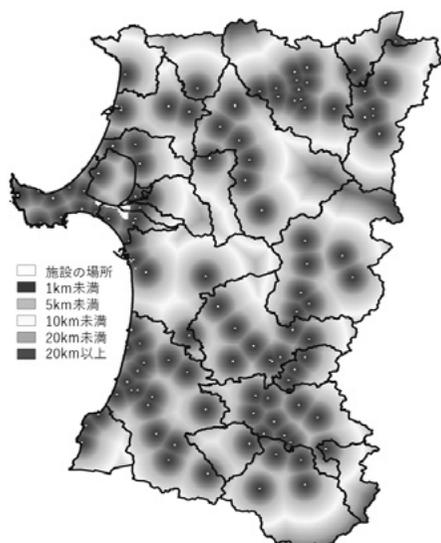


図7 施設

(市町村役場及び関連事業所からの距離マップ)

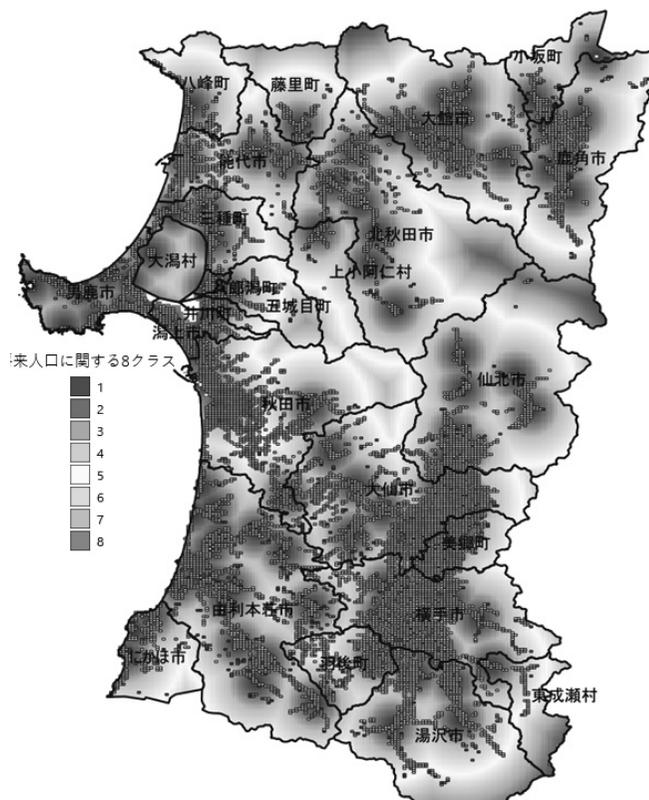


図8 人口分布と施設からの距離

サービスや道路や水道施設など公共施設のメンテナンスなどはますます困難となる。また、災害時に孤立するリスクも高まる。今回は施設の例として市町村役場・支所等を取り上げたが、病院や避難所、スーパーなど商業施設へのアクセスビリティなどさまざまな観点から人口減少、過疎化に対する対策を考える上で、マップ化された将来推計人口データの利用は有効な情報となる。

4. まとめ

国土交通省が作成しオープンデータとなっているメッシュ別将来推計人口データ(シェープファイル)を用い、秋田県全域を対象に2015年統計値人口の分布と2050年までの将来人口空間分の推移について分析し考察を行った。2045年の日本の総人口が2015年比で86%に減少すると予想される中、秋田県の2045年人口は2015年比で59%、60万2千人に減少すると推計されており、減少率は日本で最も高い。東北6県の中で

も秋田県の人口減少率が高くなる理由として、人口が秋田市に一極集中しており、一方で、人口の少ないメッシュが横手盆地を中心に広い地域に分布し、過疎化と高齢化の相乗効果で人口減少が加速していることが考えられた。

県内25市町村の将来人口推移では、秋田市で人口減少率は最も低く抑えられるものの、2050年人口は2020年比67%で、秋田市を除いた24市町村合計では、2050年人口は2020年比で50%となっており、今後30年で人口は半減する。中でも、男鹿市、小坂町、藤里町、五城目町、上小阿仁村では、地域の40%のメッシュで2050年人口が2020年比で25%となって深刻な過疎地域が広がり、男鹿市、小坂町、藤里町の2050年推計人口は2020年人口の33～35%となる。

人口分布の空間分析を利用したサービス拠点へのアクセスビリティの評価の一例として、市町村役場とその関連事務所（県内115カ所）へのアクセスビリティについて分析した。大半の人口は役場・関連事務所から10km県内に居住するが、10km以上離れた場所に居住する人口（メッシュ）も少なくない。行政の事業拠点から遠く離れる地域では、医療・介護のサービスや防災面での安全確保、道路や水道などインフラのメンテナンスにコストが生じ、人口減少により維持することが困難となり、行政、住民双方にデメリットは多い。

本稿ではメッシュ別将来推計人口データを用いて秋田県の2015年総人口の統計値と2050年までの推計人口値の空間分布の特徴を分析・考察した。政策の意思決定や事業・サービスの戦略策定を行う上で有効な情報として期待できる。

【参考文献】

- (1) 総務省統計局, 「統計トピックスNo.119統計が語る平成のあゆみ」(1. 人口 人口減少社会 少子高齢化), 2019年4月26日, <https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1191.html>, (2022年12月7日取得)
- (2) 総務省統計局, 「令和2年国勢調査 人口速報集計結果 全国・都道府県・市町村別人口及び世帯数結果の概要」, 2021年6月25日, <https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka/pdf/outline.pdf>, (2022年12月7日取得)
- (3) 国立社会保障・人口問題研究所, 「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」, 2018-12-25, <https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/6houkoku/houkoku.pdf>, (2022年12月7日取得)
- (4) 国土交通省, 「500mメッシュ別将来推計人口(H30国政局推計)(shape形式版)」, <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-mesh500h30.html>, (2022年12月7日取得)
- (5) 国土交通省国土政策局, 「メッシュ別将来人口推計を活用した分析の展開—地域における生活関連サービス利用可能性の分析—」, 2016年6月, <https://www.mlit.go.jp/common/001144843.pdf>, (2022年12月7日取得)
- (6) 国土交通省国土政策局, 「メッシュ別将来人口推計のさらなる充実と活用の展開」, 2017年7月, <https://www.mlit.go.jp/common/001194056.pdf>, (2022年12月7日取得)
- (7) 国土交通省国土政策局, 「メッシュ別将来人口分布と施設立地等を踏まえた地域分析に関する調査」, 2018年7月, <https://www.mlit.go.jp/common/001245611.pdf>, (2022年12月7日取得)
- (8) esriジャパン, 「GIS基礎解説 シェープファイル」, <https://www.esri.com/gis-guide/esri-dataformat/shapefile/>, (2022年12月7日取得)

- (9) 総務省統計局, 「地域メッシュ統計の概要・第2章 総務省統計局における地域メッシュ統計の作成」, 掲載日不詳, <https://www.stat.go.jp/data/mesh/pdf/gaiyo2.pdf>, (2022年12月7日取得)
- (10) 国土交通省, 「国土数値情報ダウンロード 行政区域 第3.1版・行政界 (世界測地系・平成31年版)」 (https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-v3_1.html), (2022年12月7日取得)
- (11) 国土交通省, 「国土数値情報ダウンロード 市町村役場データ・市町村役場・第1.0版」 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P34.html>, (2022年12月7日取得)
- (12) QGIS, <https://qgis.org/ja/site/about/index.html>, (2022年12月7日取得)
- (13) Terr Set, <https://clarklabs.org/terrset/>, (2022年12月7日取得)
- (14) 内閣府, 「防災情報のページ (3) 地域を取り巻く状況」, https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/h22/bousai2010/html/honbun/0b_toku_03.htm, (2022年12月7日取得)
- (15) 厚生労働省, 「最近の水道行政の動向について」 (水道の基盤強化のための地域懇談会 第4回:平成29年9月12日), <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000203990.pdf>, (2022年12月7日取得)

執筆者紹介（掲載順）

- 福岡政行 ノースアジア大学総合研究センター 客員教授
- 内館牧子 ノースアジア大学総合研究センター 客員教授
- 橋本五郎 ノースアジア大学 客員教授
- 橋元志保 ノースアジア大学法学部 教授
- 瀧澤 純 ノースアジア大学法学部 准教授
- 光田基郎 ノースアジア大学経済学部 教授
- 越智士郎 ノースアジア大学経済学部 准教授

総合研究 第11号

2023年（令和5年）3月31日発行

編集・発行 ノースアジア大学総合研究センター
秋田市下北手桜守沢46-1
TEL 018-836-6592 FAX 018-836-6530
URL <http://www.nau-grc.jp>

印刷 秋田活版印刷株式会社
秋田市寺内字三千刈110-1
電話 018-888-3500

General Research

The 11th issue

March, 2023

CONTENTS

Lectures

Japan will go to somewhere at 2022 year!

— The structure of Japan will be absolutely changing! — Fukuoka Masayuki

New Japan New Akita New Life Style

— Coronas change Japan! We do anything! — Fukuoka Masayuki

Kishida prime minister and Election House of Councillors

— three big crises in Japan — Fukuoka Masayuki

Festival of the Little Gods — 12 years after the Great East Japan

Earthquake (a drama produced by Tohoku Broadcasting Co.) Uchidate Makiko

Politics, Economy and Diplomacy after

House of Councillors Election Fukuoka Masayuki

What will happen to the Kishida administration ? Hashimoto Goro

Articles

An Essay of *Kimetsu no Yaiba* from the Viewpoint of the Life Hashimoto Shiho

The effect of hearing announcement on inferring opponent's throw

in rock-paper-scissors game. Takizawa Jun

Notes

The curse of knowledge in story comprehension on tasks Mitsuda Motoo

Geo-spatial analysis using mesh-based population

projection data of Akita Prefecture Ochi Shiro

North Asia University General Research Institute

Akita, Japan